



一般社団法人

大学IRコンソーシアム

The Institutional Research Consortium of Japanese Universities

2020年度 学生調査結果

～コロナ禍の学生生活や習得能力への影響～

一般社団法人 大学IRコンソーシアム

2021年9月

はじめに

- 大学IRコンソーシアムは、60大学で共同運用されている、学習状況調査の全国組織です。
- およそ10万人が参加するアンケート調査では、日本の大学生の平均的な学習状況や、能力獲得の様子を把握することができます。科目の成績で把握できないリーダーシップなどの能力も調査しています。
- 今回の報告では、コロナ禍により大学生の生活や能力が、どう変化したかをまとめました。

目次

1.	<u>大学IRコンソーシアムの学生調査について</u>	4
2.	<u>2020年までの5か年の学生調査結果比較</u>	8
	(1) 調査参加数など	9
	(2) データの見方	10
	(3) 居住形態・充実度	11
	(4) 授業での経験	16
	(5) 学習に関する経験	27
	(6) 時間の使い方（週）	43
	(7) 大学生活	56
	(8) 教育への満足度	61
	(9) 設備・制度への満足度	70
	(10) 能力の変化（教育成果の自己評価に関する比較）	79
	(11) クロス集計（共通調査データと学生データ(教務情報等)）	92
3.	<u>コロナ禍における教育成果の考察</u>	100
4.	<u>大学IRコンソーシアムについて</u>	102

1.大学IRコンソーシアムの学生調査について

- (1) 概要
- (2) 調査項目・学生データ項目
- (3) 学生調査活用のイメージ

(1) 概要

対象学年	一年生調査：1年生のみ 上級生調査：2～6年生（全学年実施は必須としていない）
対象範囲	全学/学部単位/学科など会員が任意で設定 対象学生も悉皆・標本など会員が任意で設定
実施時期	基本原則は10月～12月までの約3か月間。
実施方法	マークシート・冊子・Webなど会員が任意で設定 2019年度まではマークシートが約6割であったが、 2020年度は多くがWeb調査で実施
調査票の配布 回収方法	<ul style="list-style-type: none">・授業中に回答を求める集合調査・授業中に回答依頼し、提出は後日や授業外・学務システム等を通じてアンケートに誘導 等

(2) 調査項目・学生データ項目

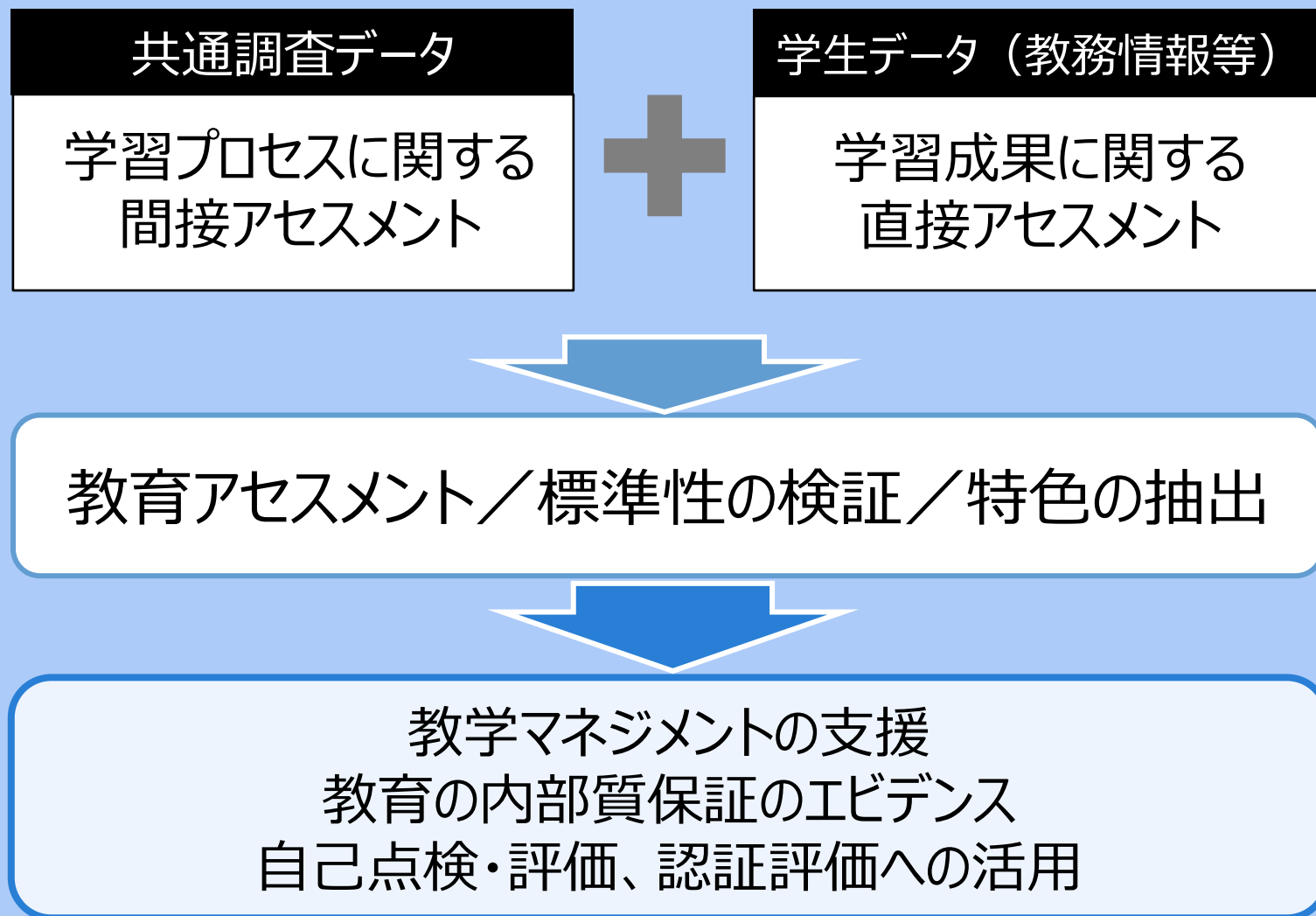
○ 学生調査の調査項目

調査名	一年生調査	上級生調査
対象学年	1年生	2～4年生（5、6年生）
主要調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学籍番号、プロフィール ・ 学習行動、受講態度 ・ 知識・能力の獲得状況 ・ 大学生活、大学教育に対する満足感 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業経験 ・ 正課内外の活動時間 ・ 英語運用能力のレベル ・ 将来イメージ
学年別調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学前の学習経験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在学中に経験したこと

○ 学生データ項目（教務情報：2020年度分は2021年6月集約）

GPA、取得単位数、英語科目の履修、外部英語試験の成績、高校卒業年
高校所在地、入試制度といった個人データ

(3) 学生調査活用のイメージ

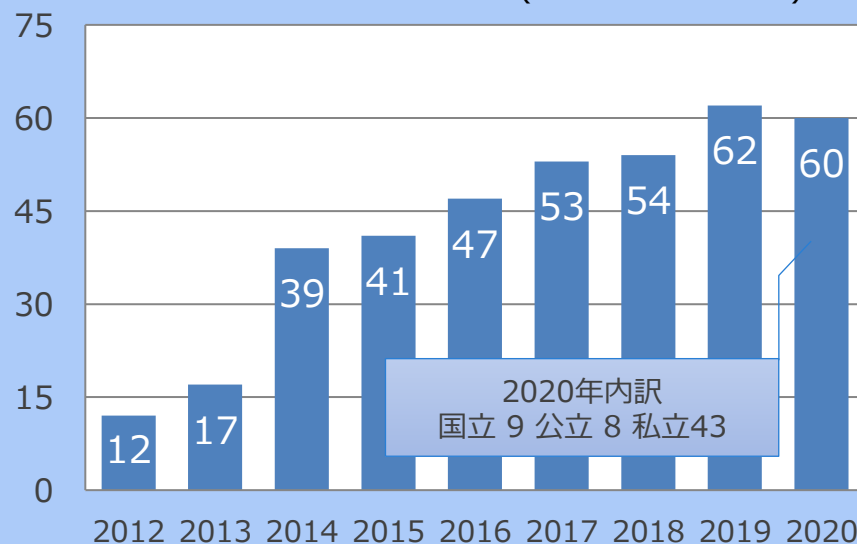


2. 2020年までの5か年の学生調査結果比較

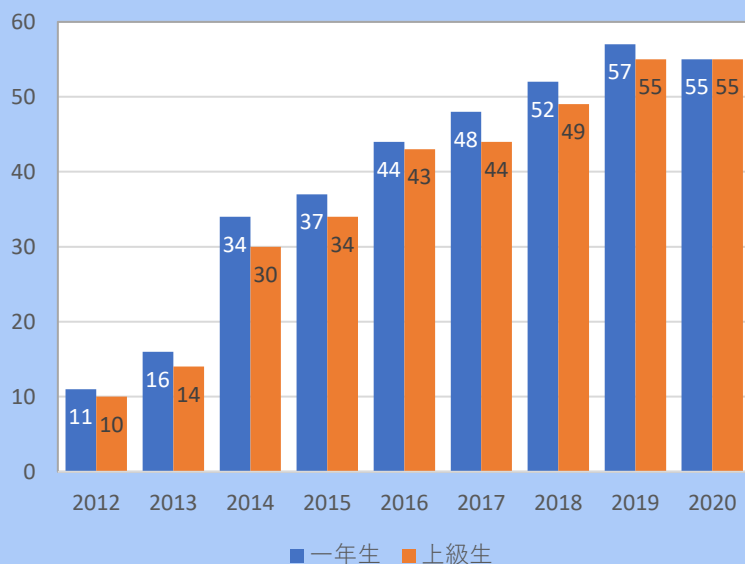
- (1) 調査参加数など
- (2) データの見方
- (3) 居住形態・充実度
- (4) 授業での経験
- (5) 学習に関する経験
- (6) 時間の使い方（週）
- (7) 大学生活
- (8) 教育への満足度
- (9) 設備・制度への満足度
- (10) 能力の変化（教育成果の自己評価に関する比較）
- (11) クロス集計（共通調査データと学生データ(教務情報等)）

(1) 調査参加数など

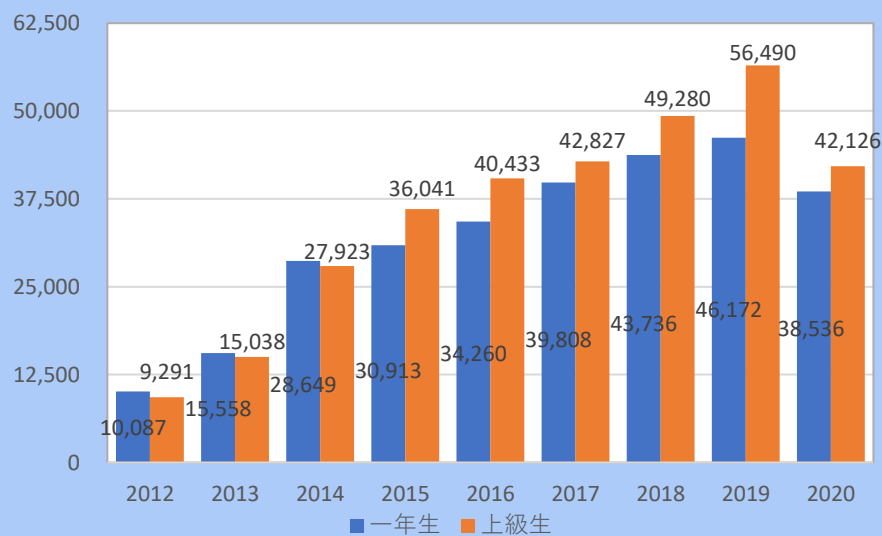
コンソーシアム参加校数(各年10月現在の値)



学生調査参加校数



学生調査参加者数



(2) データの見方

- 各節ごとに、最初のページに質問項目と【まとめ】があります。およそその変化を把握したい場合、このページだけで概要がわかります。
- 【まとめ】のリストでは、例年の値に比べて変化がみられた項目を、上昇は『↑』、下降は『↓』で表します。空欄は大きな変化がなかったことを表します。
- 以降に、詳しいグラフを項目ごとに掲載しています。

(3) 居住形態・充実度

【質問項目】

- あなたの現在の居住形態は次のうちどれですか。
 - 1.家族または親戚と暮らしている
 - 2.アパート・学生マンションで一人暮らし
 - 3.大学寮や合宿所
 - 4.その他
- あなたの学生生活は充実していますか。

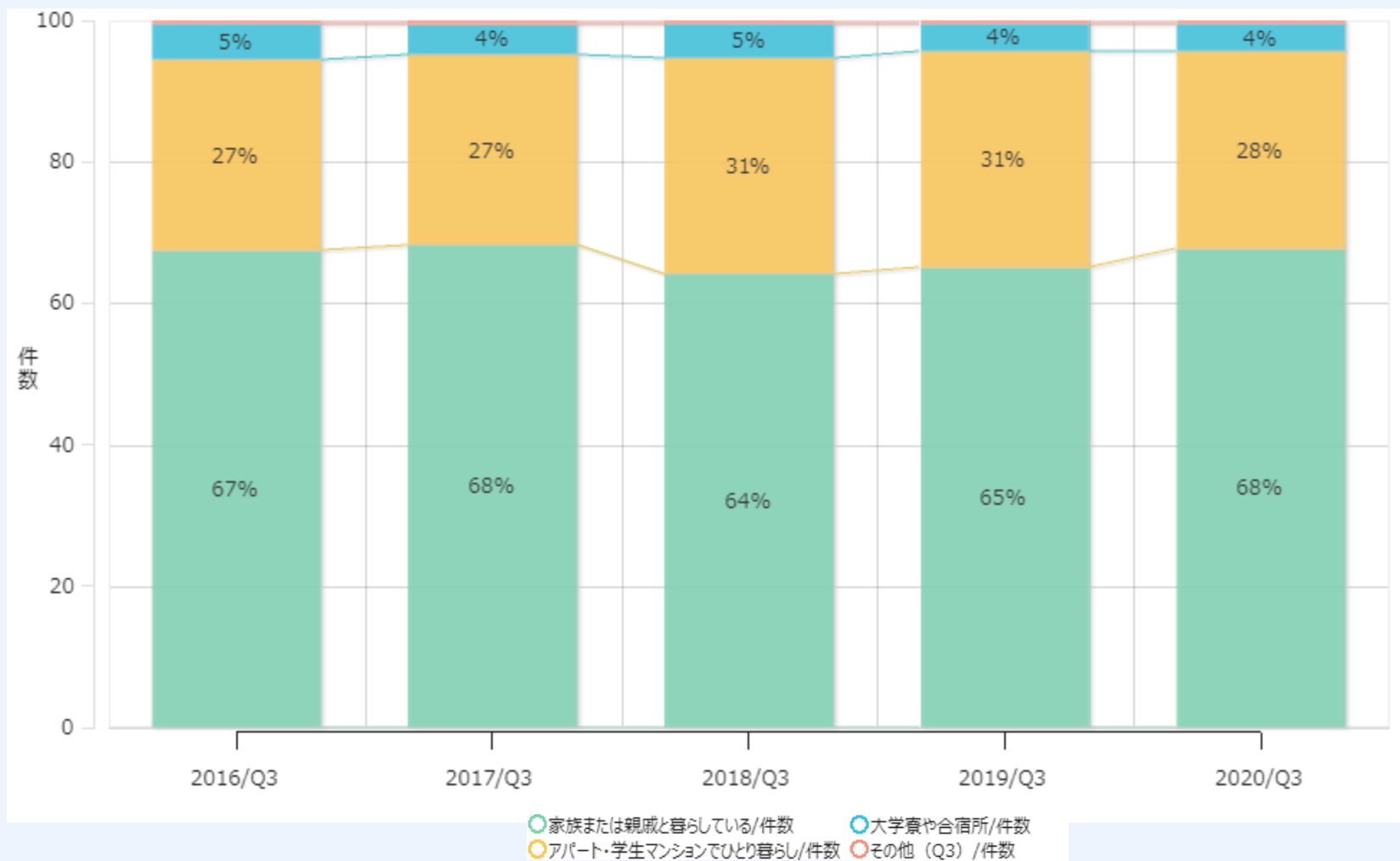
【まとめ】

	一年生	上級生
あなたの現在の居住形態は次のうちどれですか。		
あなたの学生生活は充実していますか。	↓	

1年生の居住形態に変化は少ないが、学生生活の充実度は低下した。上級生では居住形態や充実度に大きな変化はない。

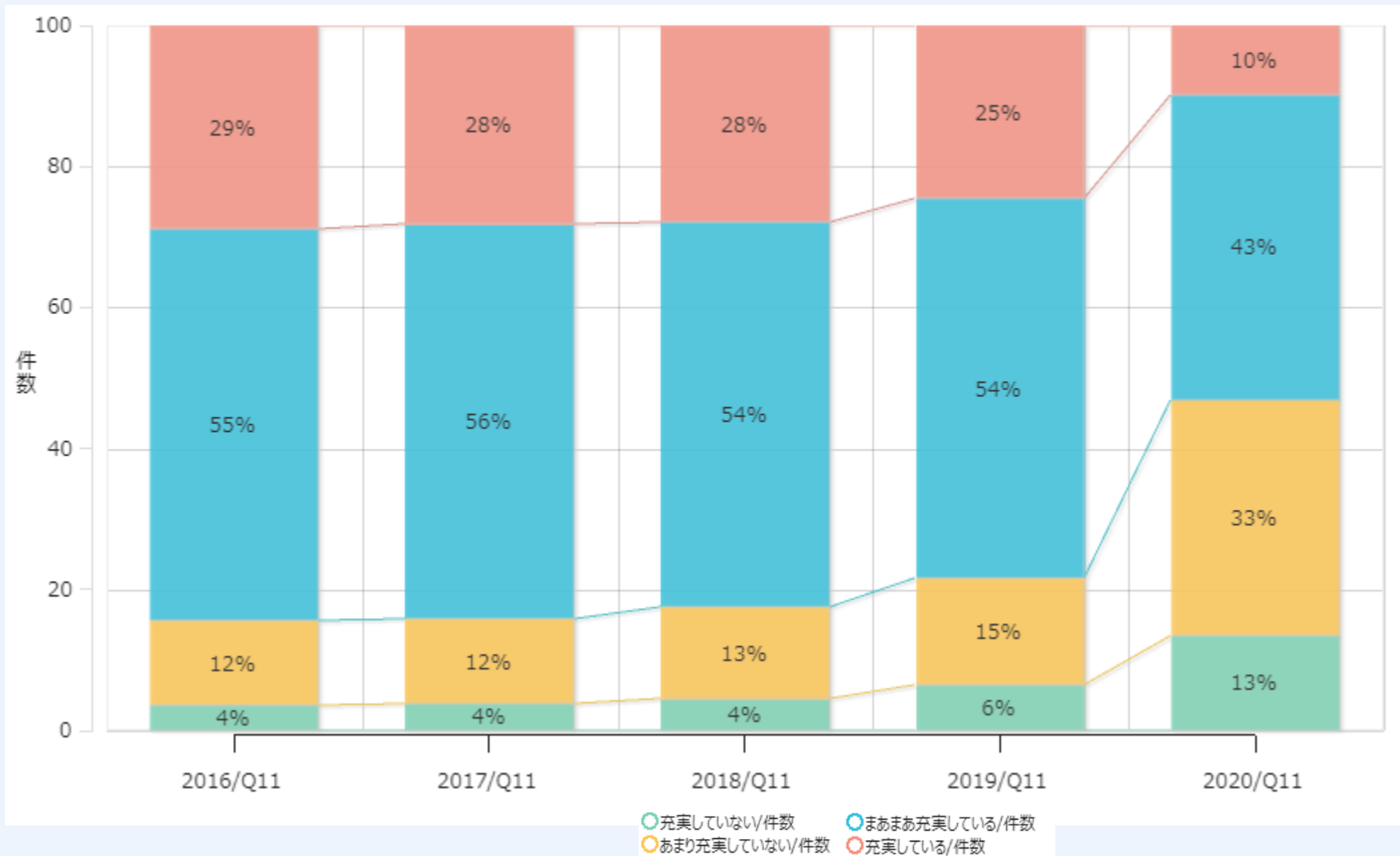
現在の居住形態（一年生）

◦ 秋の調査実施のためか、大きな変化はない



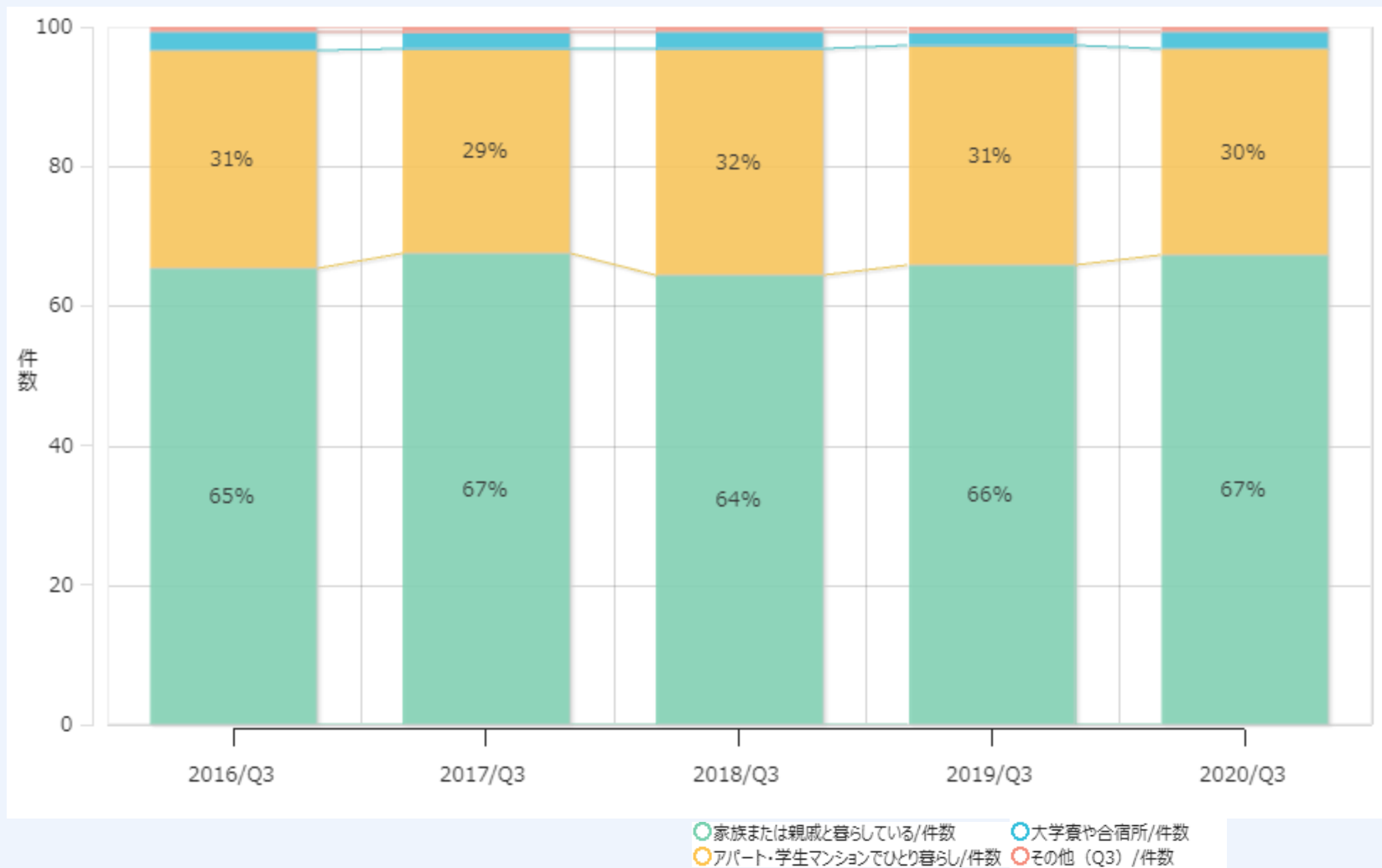
学生生活の充実度（一年生）

。昨年度までに比して大きく変化している



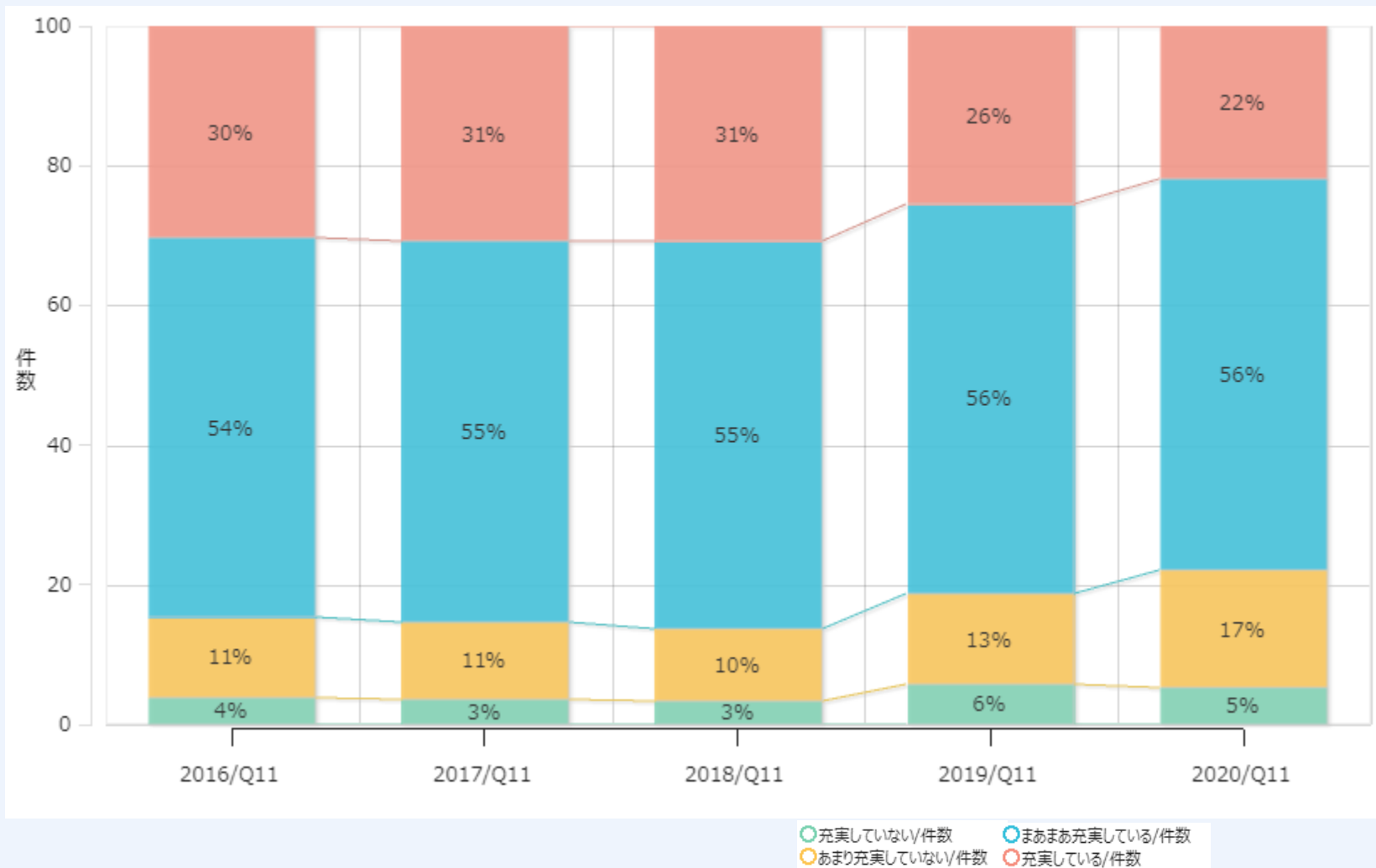
現在の居住形態（上級生）

- 1年生同様、大きな変化はない



学生生活の充実度（上級生）

○ 1年生ほどの変化は見られない



(4) 授業での経験

【質問項目】

- あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会は何のくらいありましたか。（14項目の質問）

【まとめ】

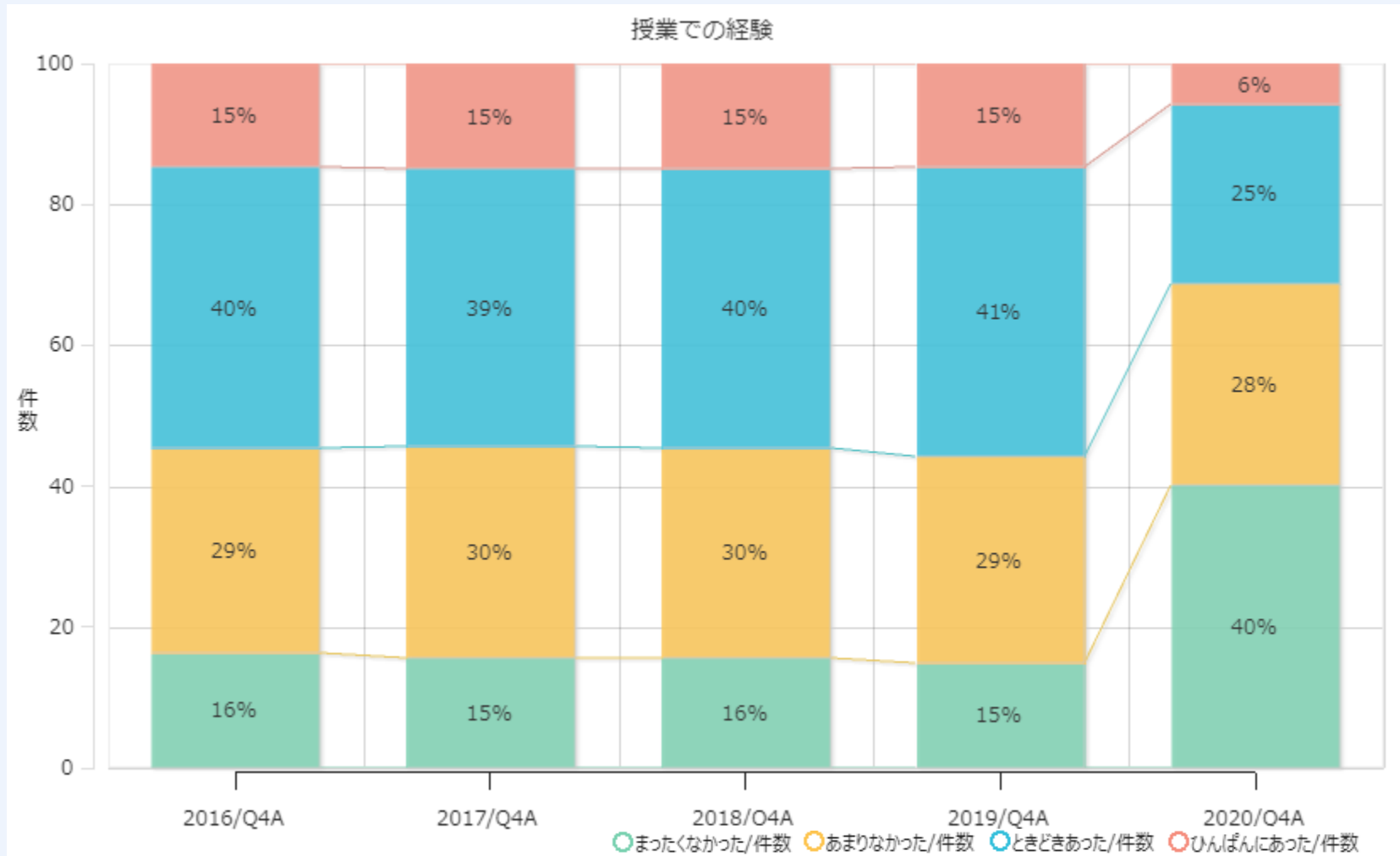
	1年生	上級生
実験、実習、フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ	↓	↓
授業中に学生同士が議論をする	↓	
取りたい授業を履修登録できなかった	↓	
出席することが重視される	↓	
TAやSAなどの授業補助者から補助を受ける（学習支援）	↓	↓
定期的に小テストやレポートが課される	↑	
授業の一環でボランティア活動をする		↓

1年生の授業の経験では体験型授業が減少し、学生同士の議論の機会が減り、取りたい授業が履修できなかったが減り、学習支援が低下し、小テストやレポートの頻度が上昇した。上級生でも同様な傾向が見られた。変化は少なめだが、ボランティア活動への参加が減少した。

授業での経験（一年生）

実験,実習,フィールドワークなどを実施し,学生が体験的に学ぶ

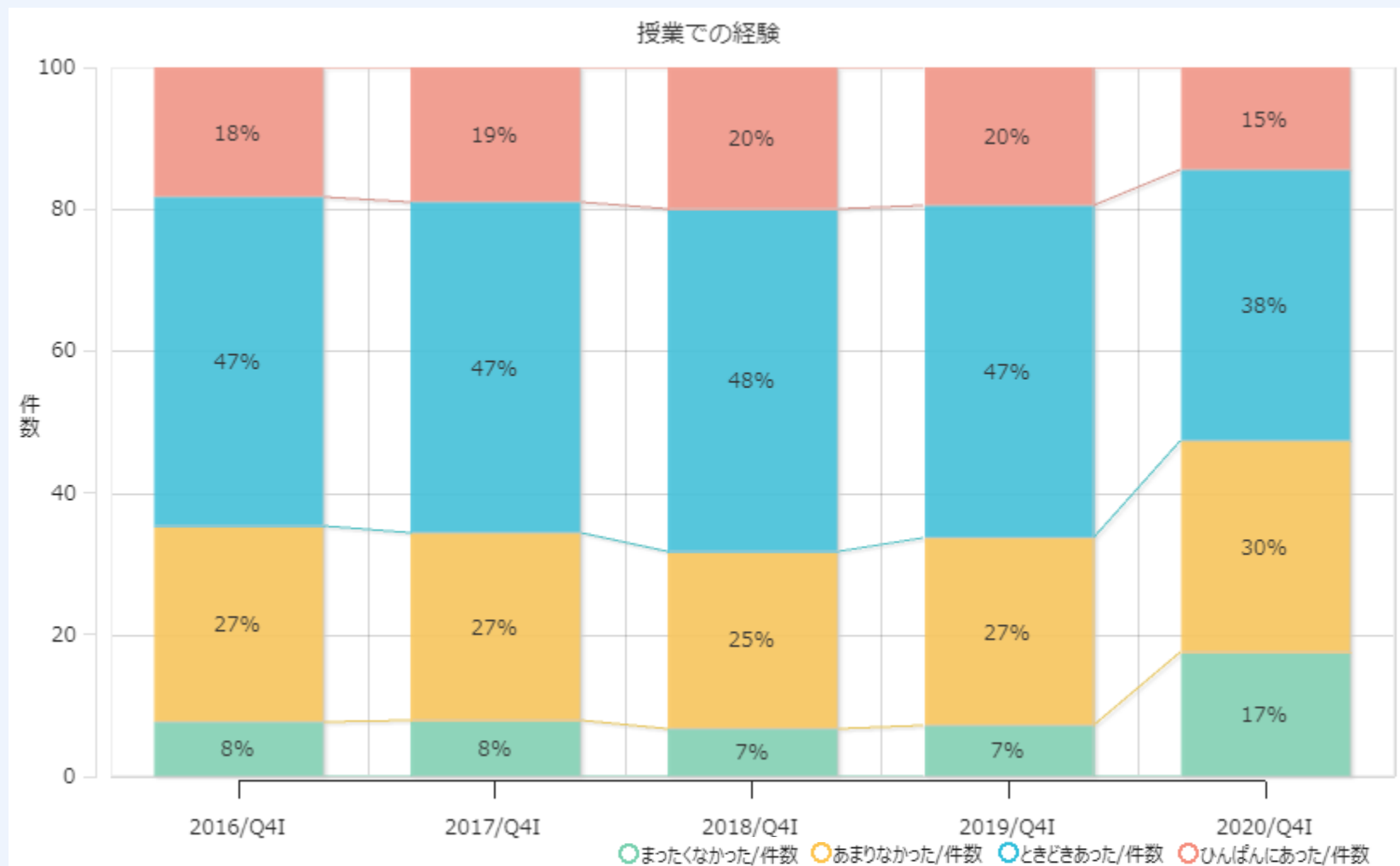
。オンライン授業のため、体験型学習の機会が減少



授業での経験（一年生）

授業中に学生同士が議論をする

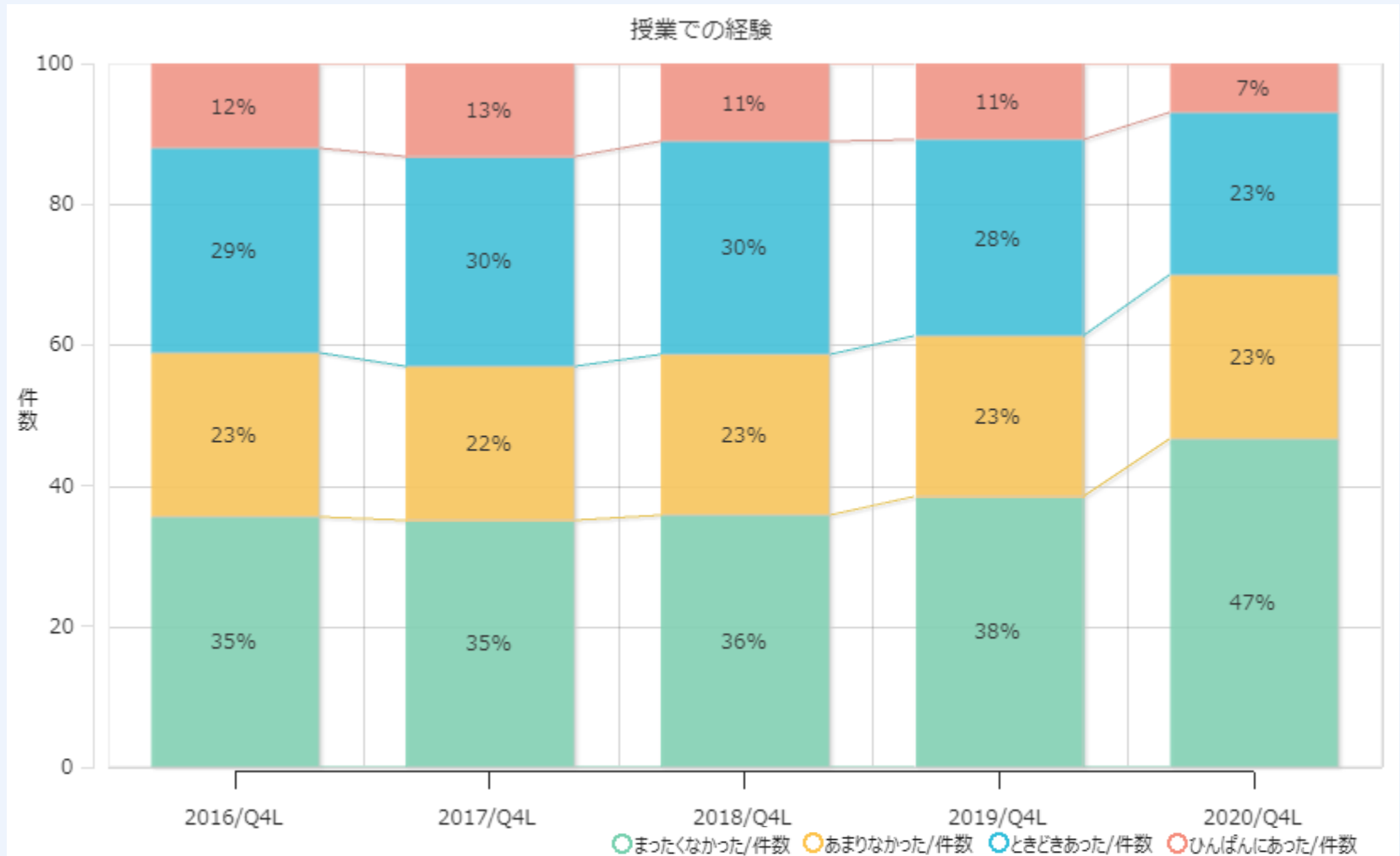
- オンライン授業により学生間のつながりが希薄



授業での経験（一年生）

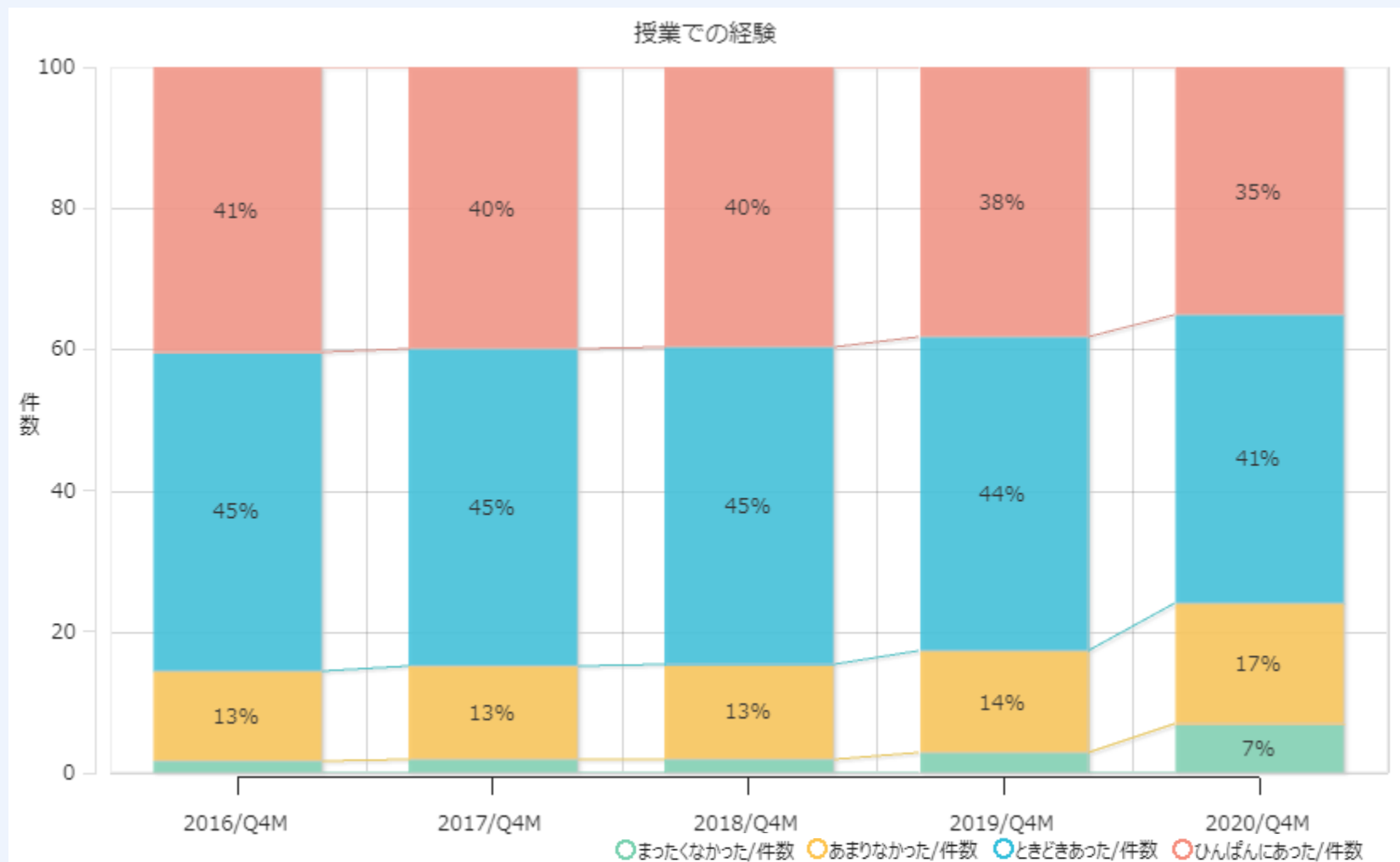
取りたい授業を履修登録できなかった

- 。オンライン授業のため履修者制限が緩和された？



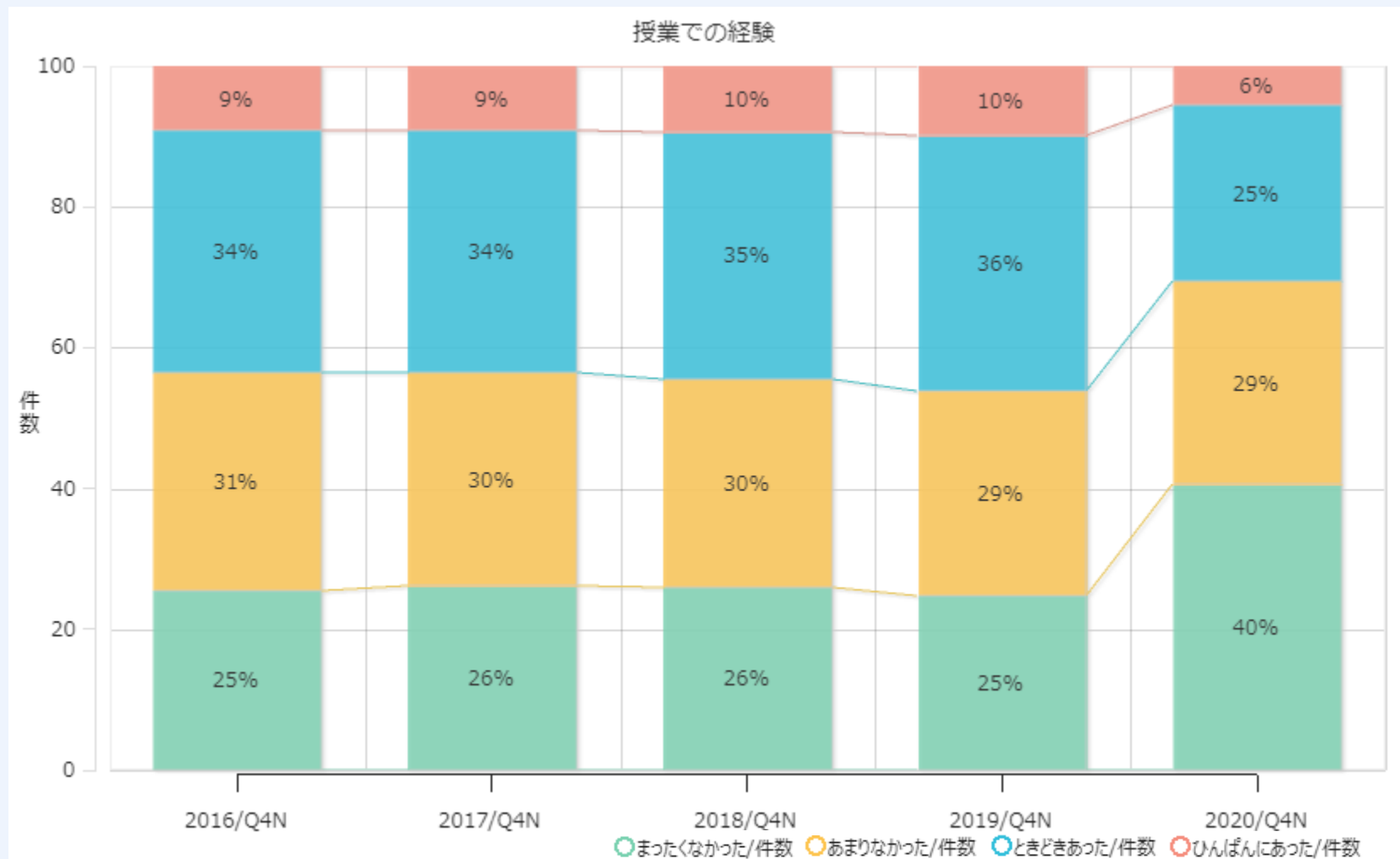
授業での経験（一年生） 出席することが重視される

- オンライン授業で「出席」という概念が変化？



授業での経験（一年生） TAやSAなどの授業補助者から補助を受ける

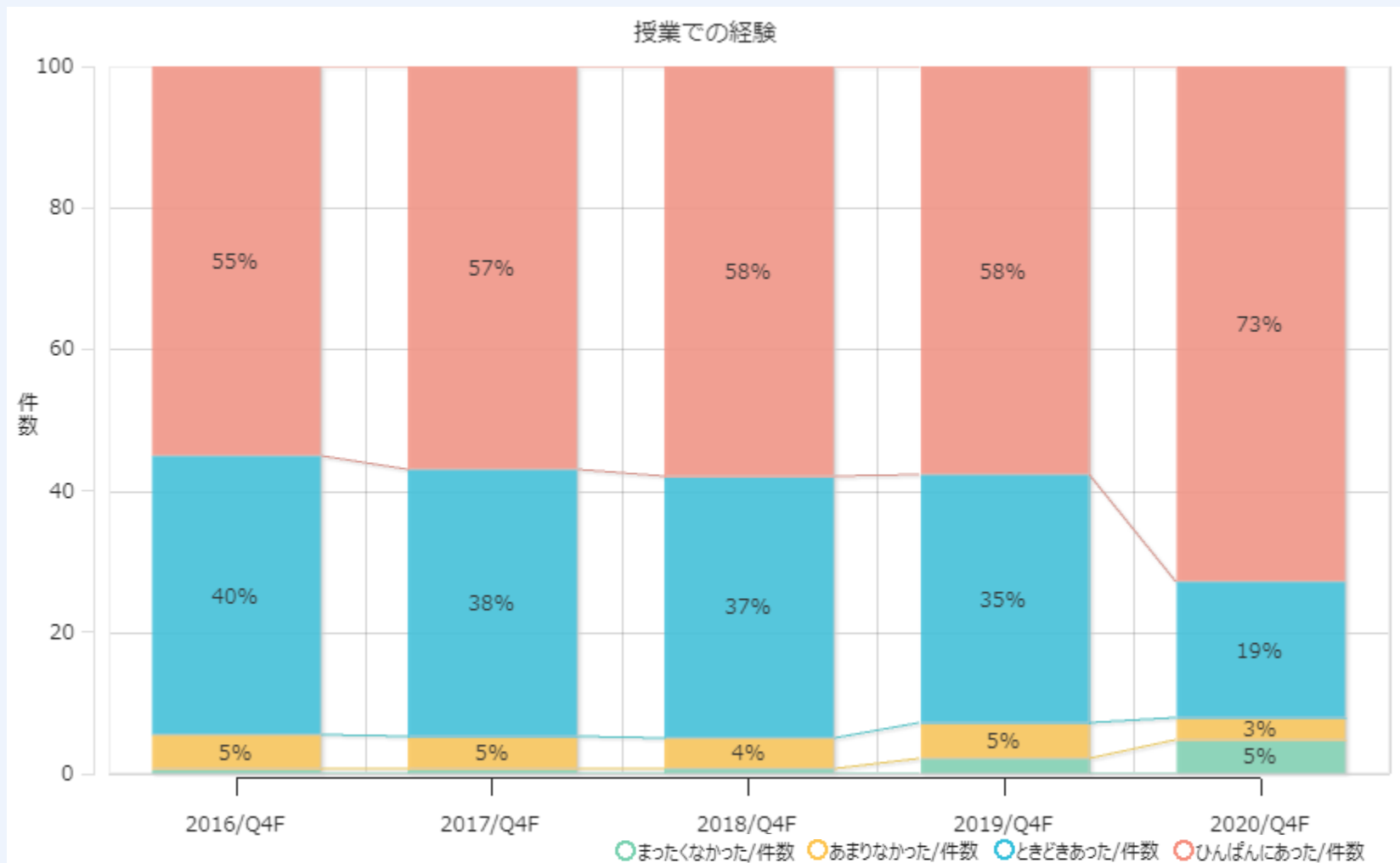
- オンライン授業で授業内での支援が希薄となっている



授業での経験（一年生）

定期的に小テストやレポートが課される

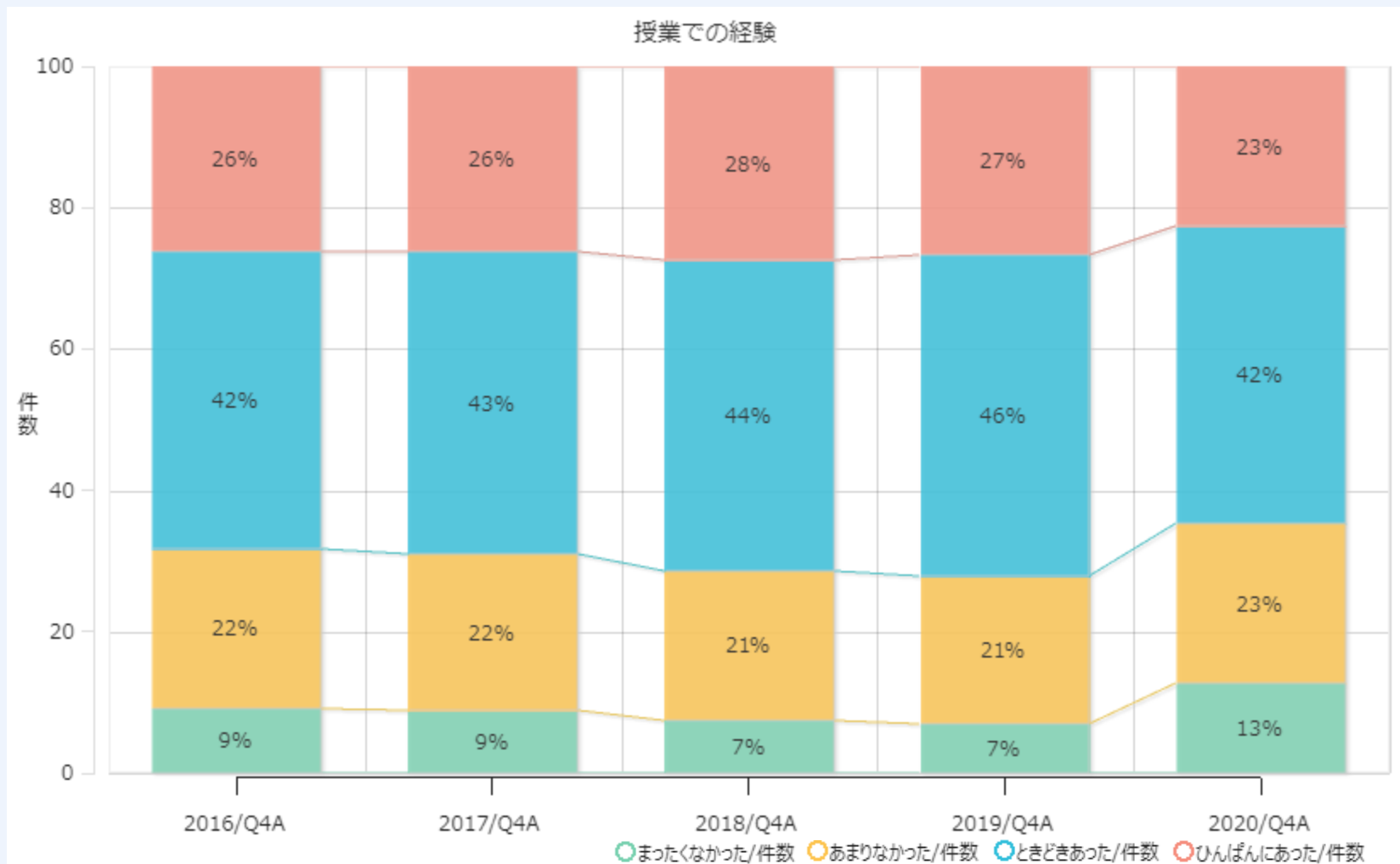
- オンライン授業で頻度が増した（なかった割合も増加）



授業での経験（上級生）

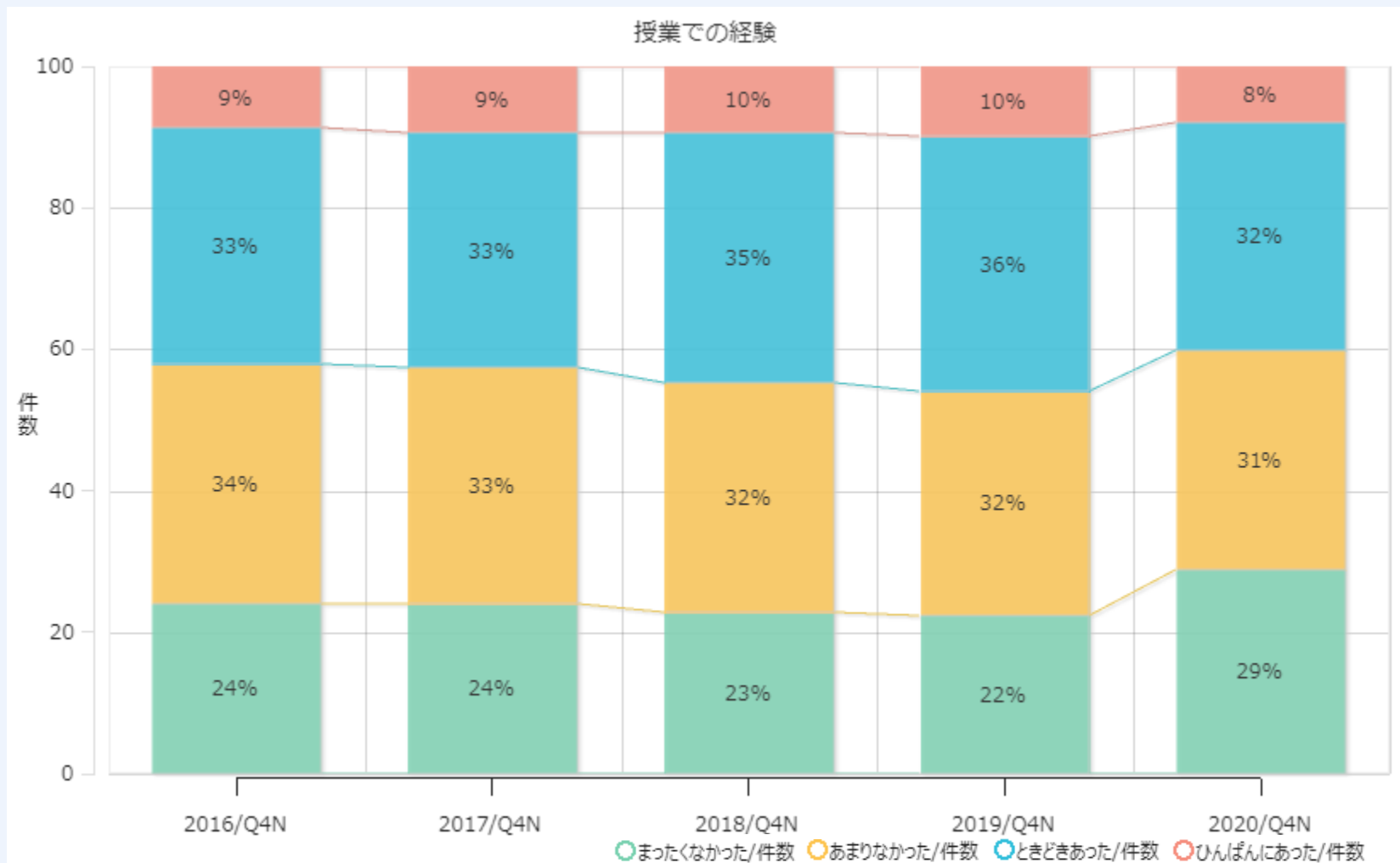
実験、実習、フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ

- 1年生ほどではないが体験型学習の機会が減少



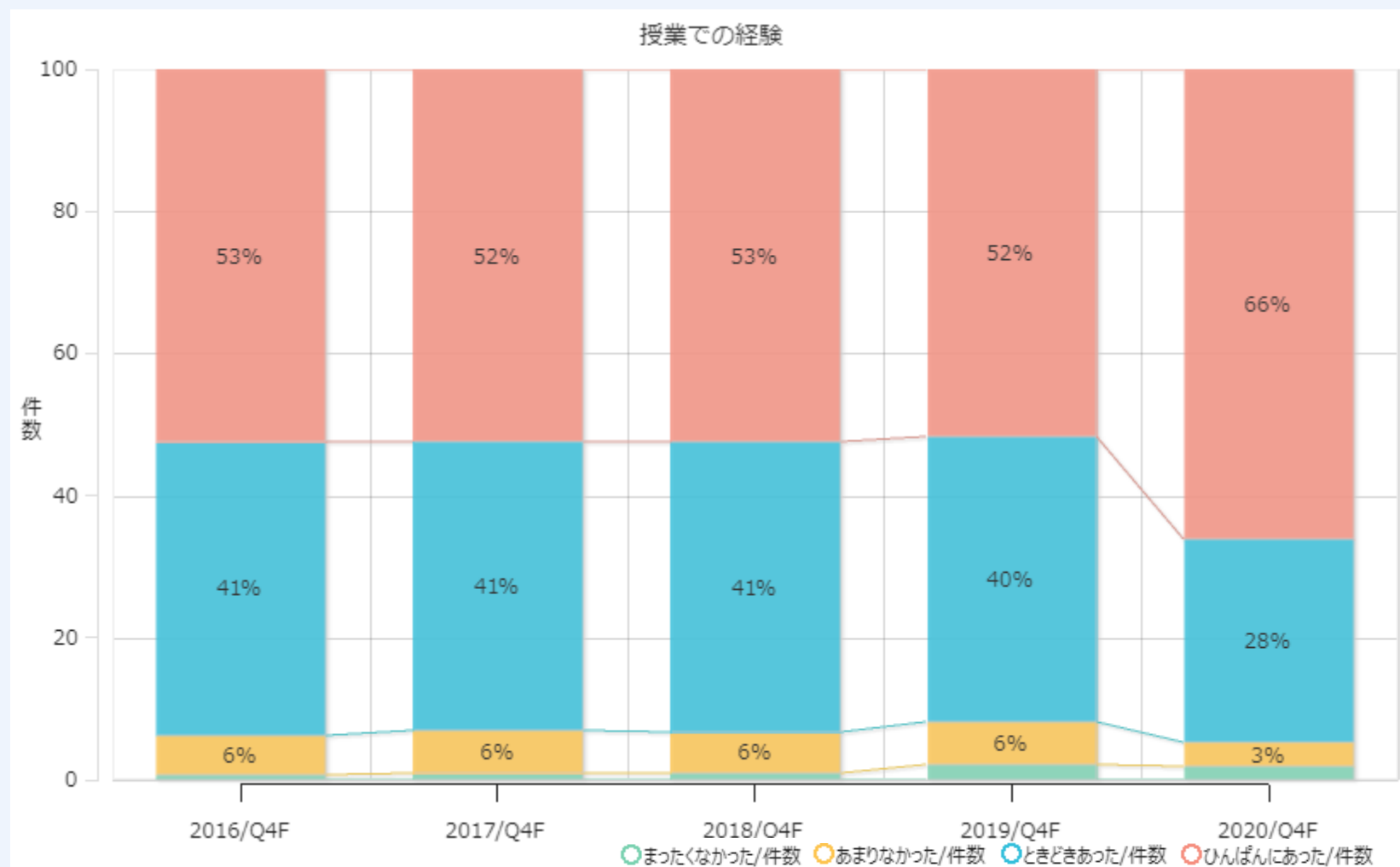
授業での経験（上級生） TAやSAなどの授業補助者から補助を受ける

- 1年生ほどではないが機会が減少（体験型学習減と関連）



授業での経験（上級生） 定期的に小テストやレポートが課される

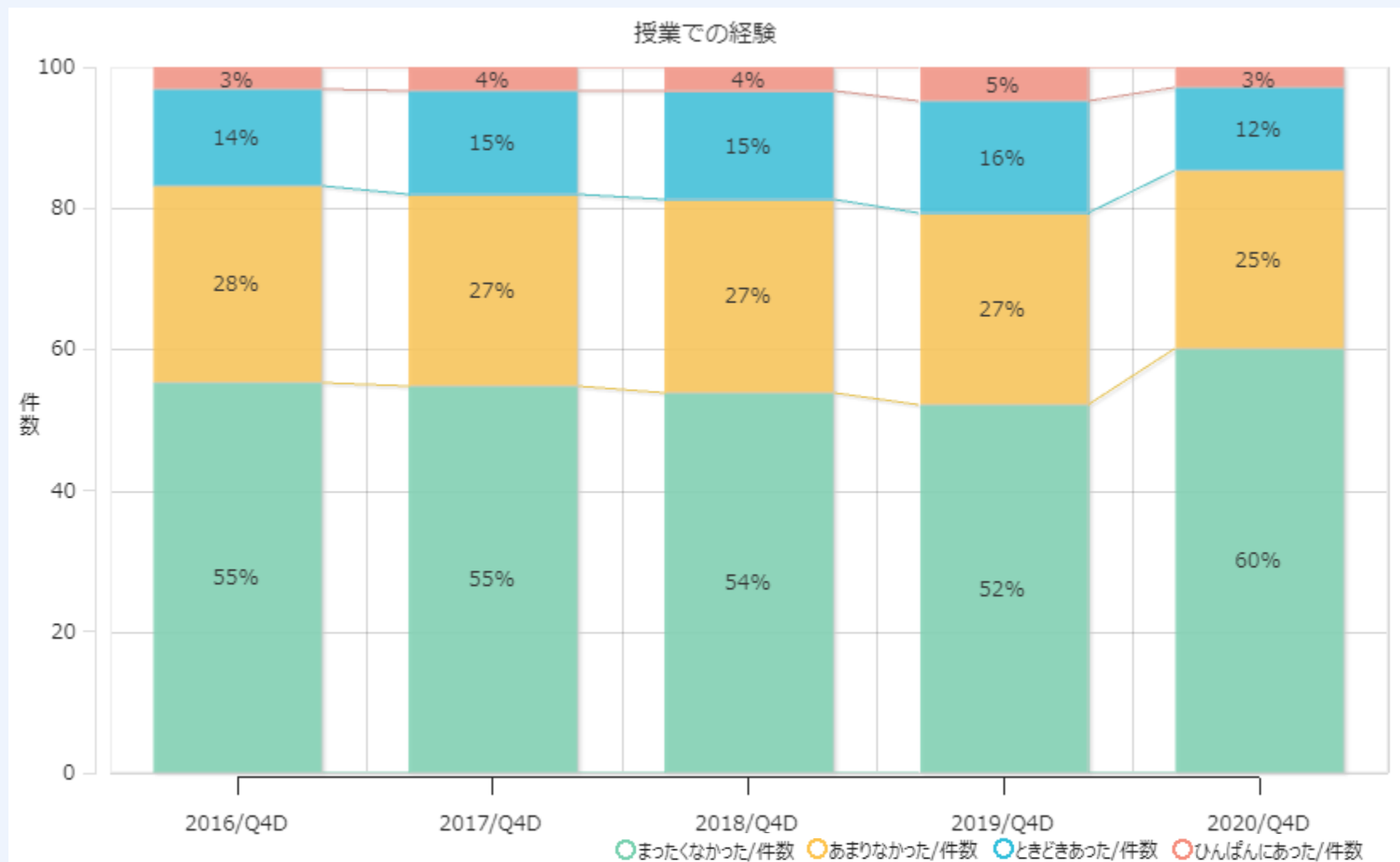
- 1年生と同様、オンライン授業で頻度が増した



授業での経験（上級生）

授業の一環でボランティア活動をする

- もともと経験が多い訳ではないが、機会が減少



(5) 学習に関する経験

【質問項目】

- 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらい経験しましたか。（14項目の質問）

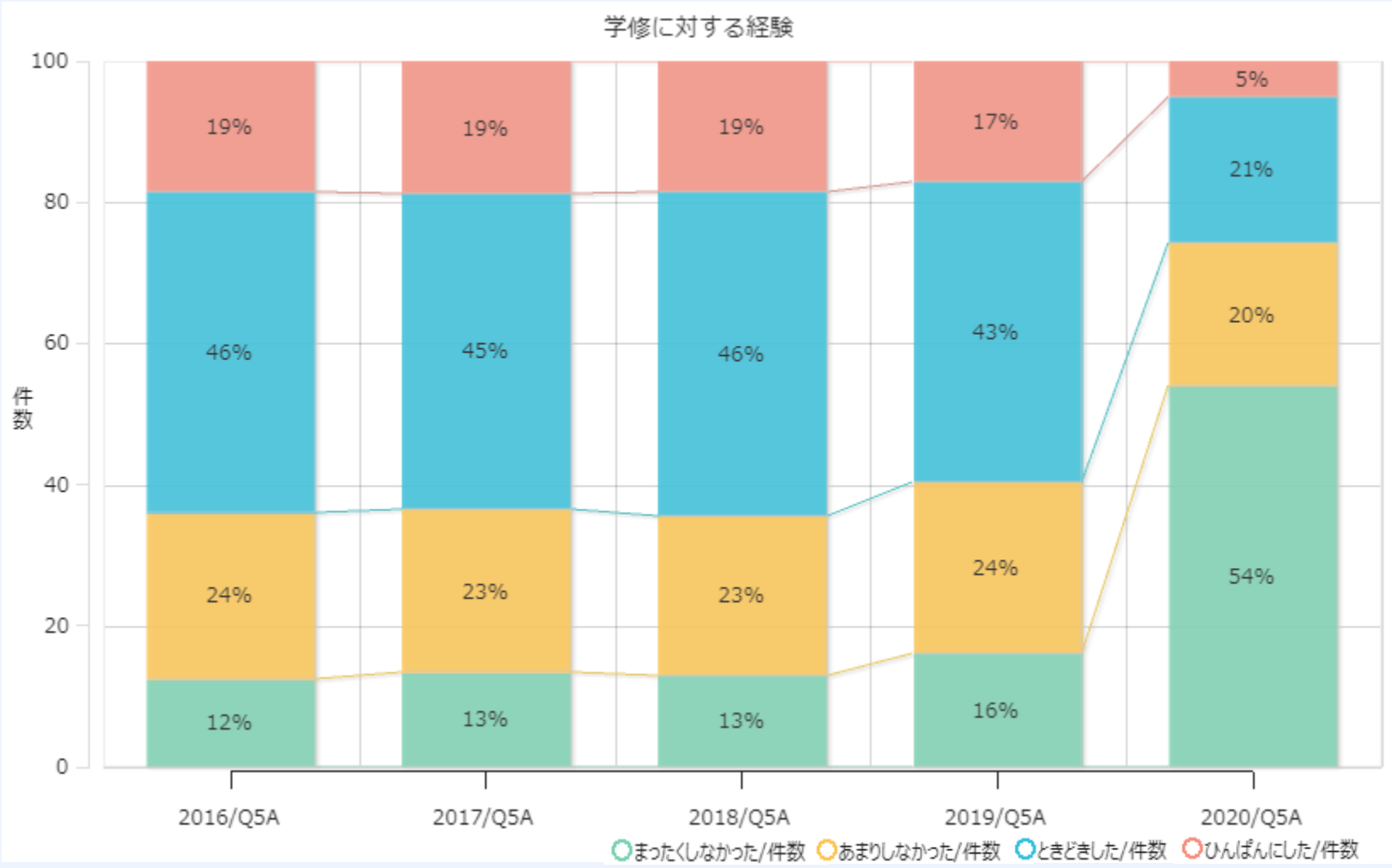
【まとめ】

	1年生	上級生
授業課題のために図書館の資料を利用した	↓	↓
インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした	↑	↑
提出期限までに授業課題を完成できなかった	↑	
授業時間外に他の学生と一緒に勉強したり授業内容を話したりした	↓	↓
授業を欠席した	↓	↓
授業に遅刻した	↓	↓
授業をつまらなく感じた	↓	
授業中に居眠りをした	↓	↓
学内での学習支援をうけた		↓

1年生の学習に関する経験では、図書館の利用、提出期限までに提出した、友人と一緒に勉強したが低下し、インターネットの利用が増加した。また、欠席、遅刻、授業をつまらなく感じる、の頻度が低下した。上級生もほぼ類似の傾向であった。

学習に関する経験（1年生） 授業課題のために図書館の資料を利用した

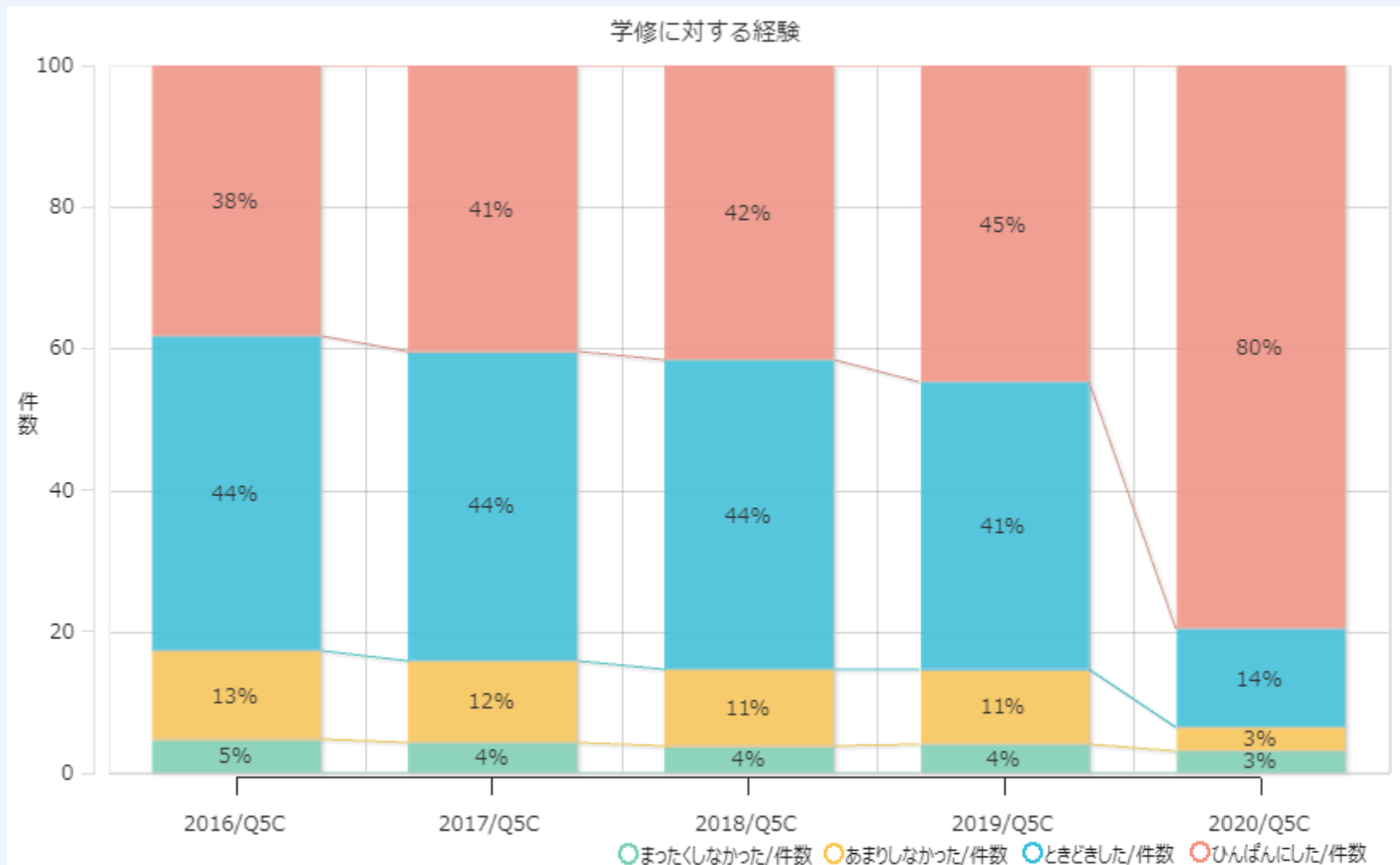
◦ キャンパスに通う機会が少なかったため大幅に減少



学習に関する経験（一年生）

インターネットを使って授業課題を受けたり,提出したりした

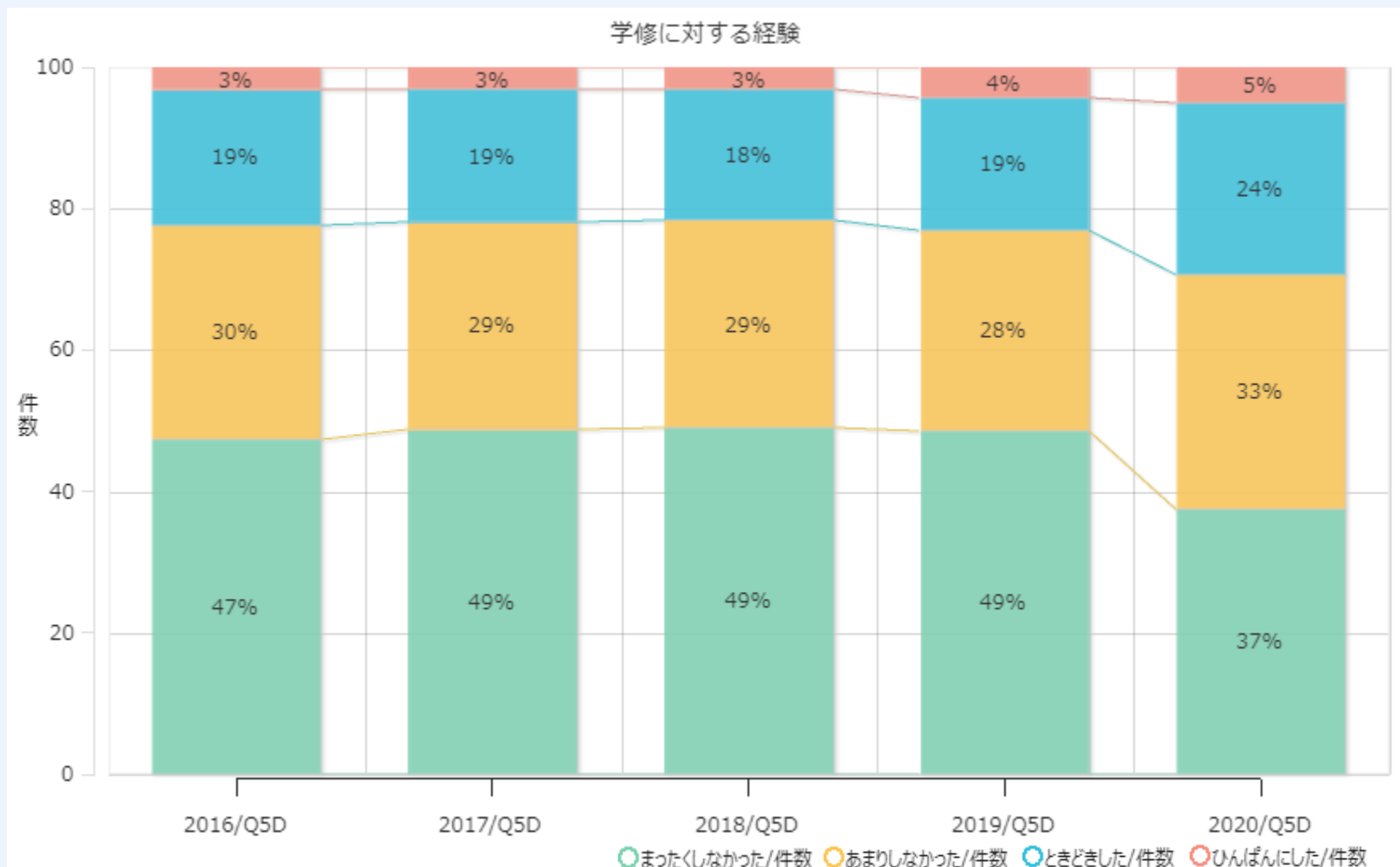
。オンライン授業全盛のため当然



学習に関する経験（一年生）

提出期限までに授業課題を完成できなかった

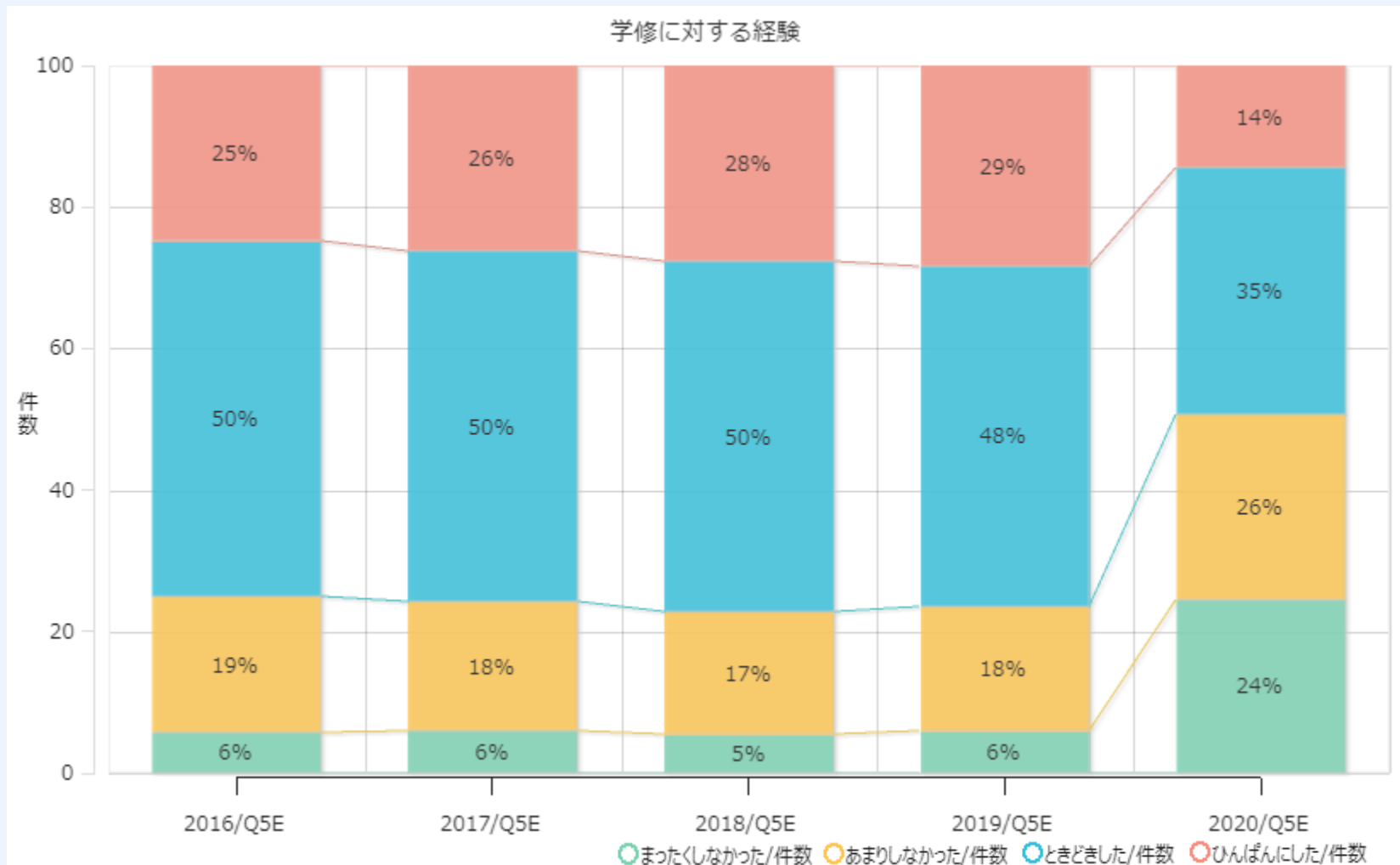
- 課題の多さを裏付けている



学習に関する経験（一年生）

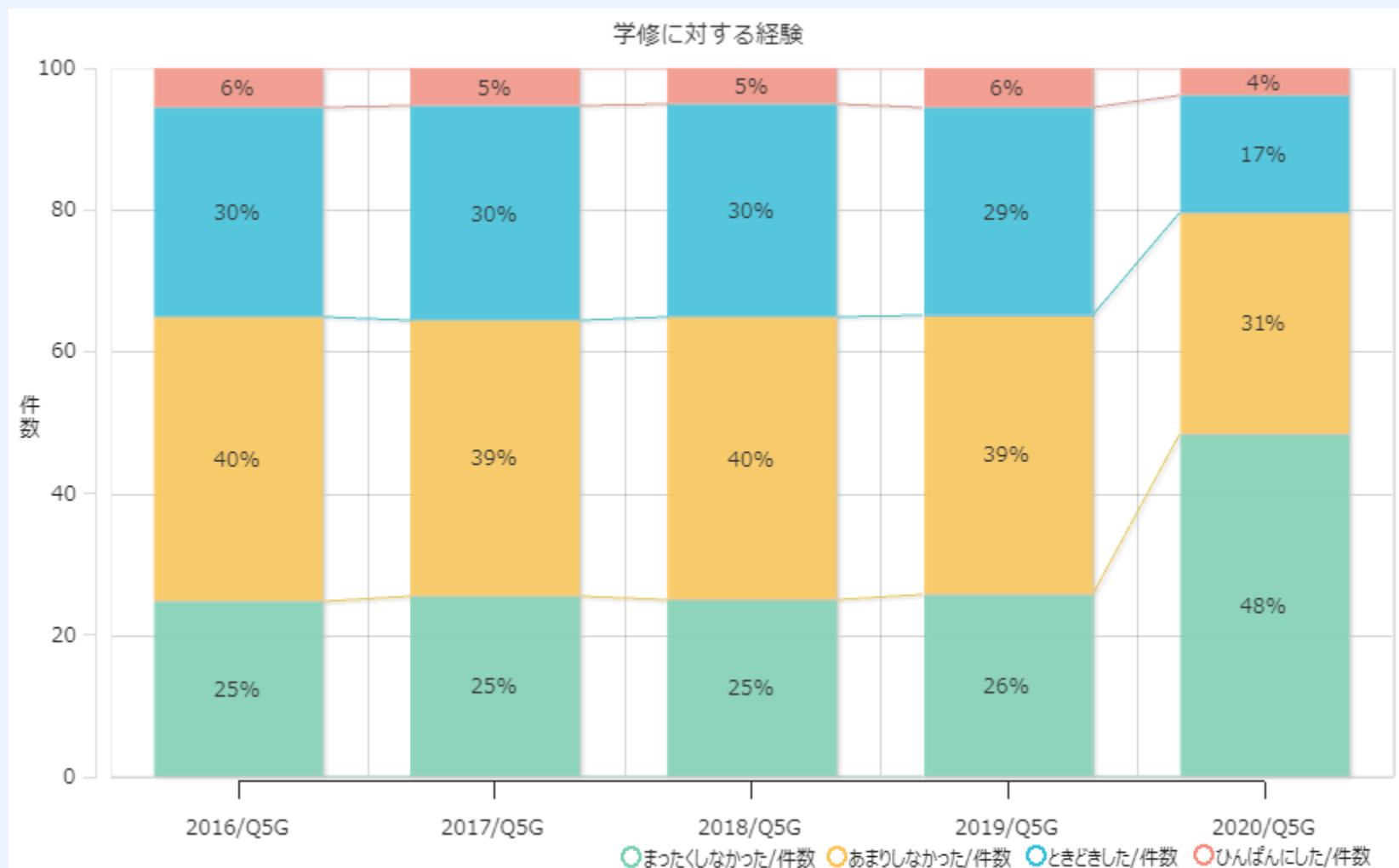
授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容を話したりした

。授業での経験と同様、学生間のつながりの構築に困難が



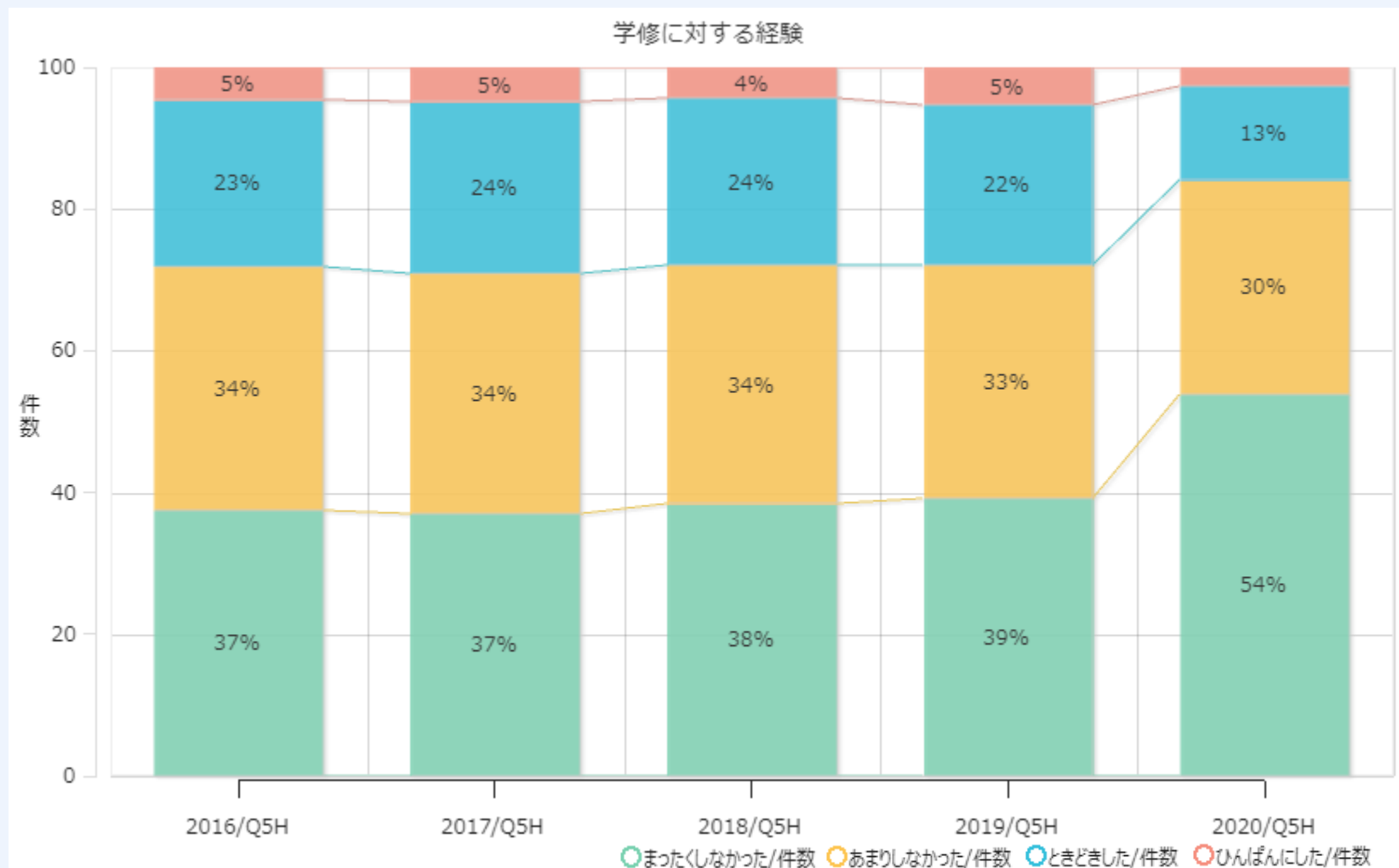
学習に関する経験（一年生） 授業を欠席した

- オンライン授業下では欠席という概念に変化が



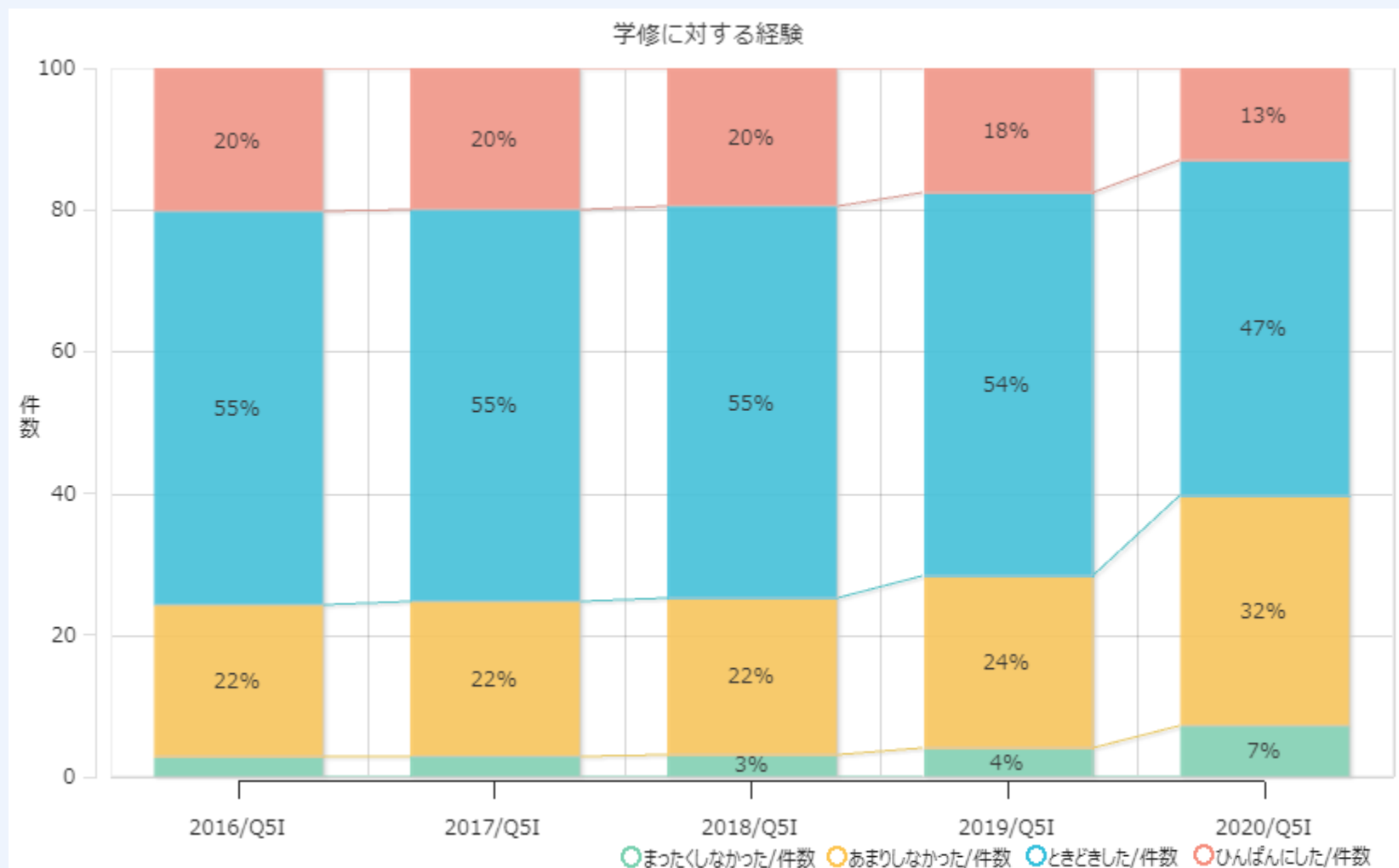
学習に関する経験（一年生） 授業に遅刻した

- オンライン授業下では遅刻という概念に変化が



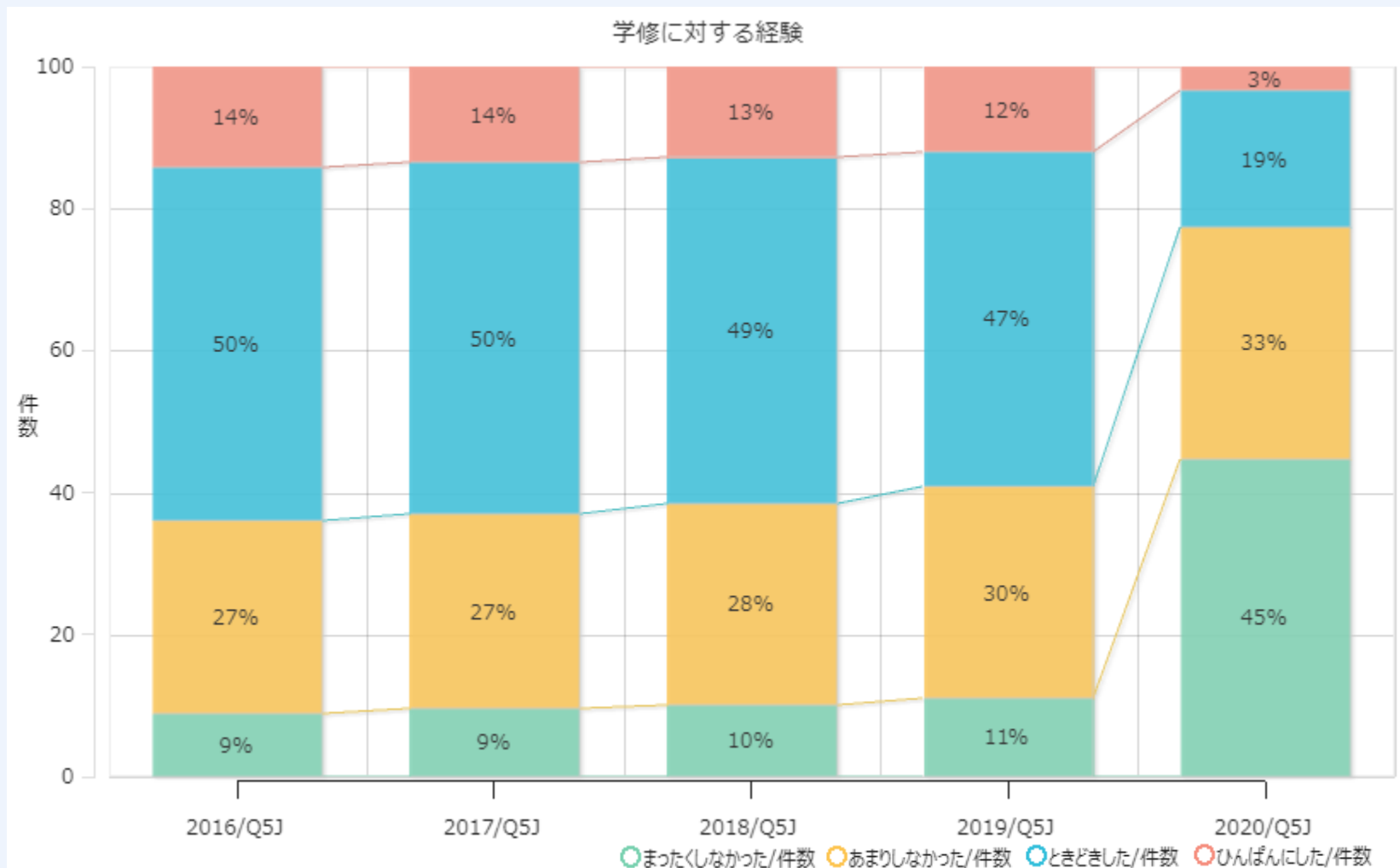
学習に関する経験（一年生） 授業をつまらなく感じた

- 授業そのものの満足度は増加（先生方の努力の賜物）



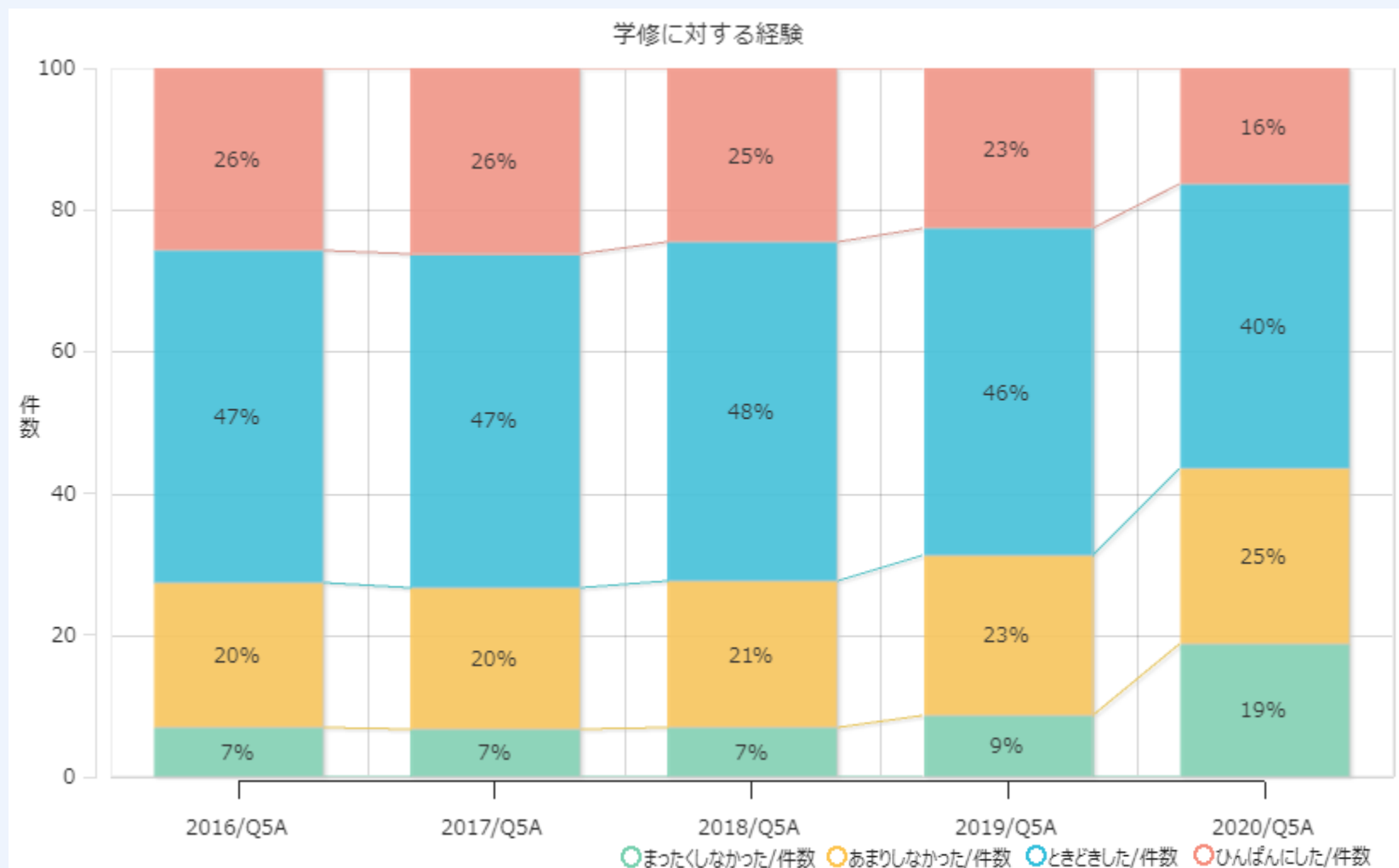
学習に関する経験（一年生） 授業中に居眠りをした

- オンライン授業下で授業中という概念に変化が



学習に関する経験（上級生） 授業課題のために図書館の資料を利用した

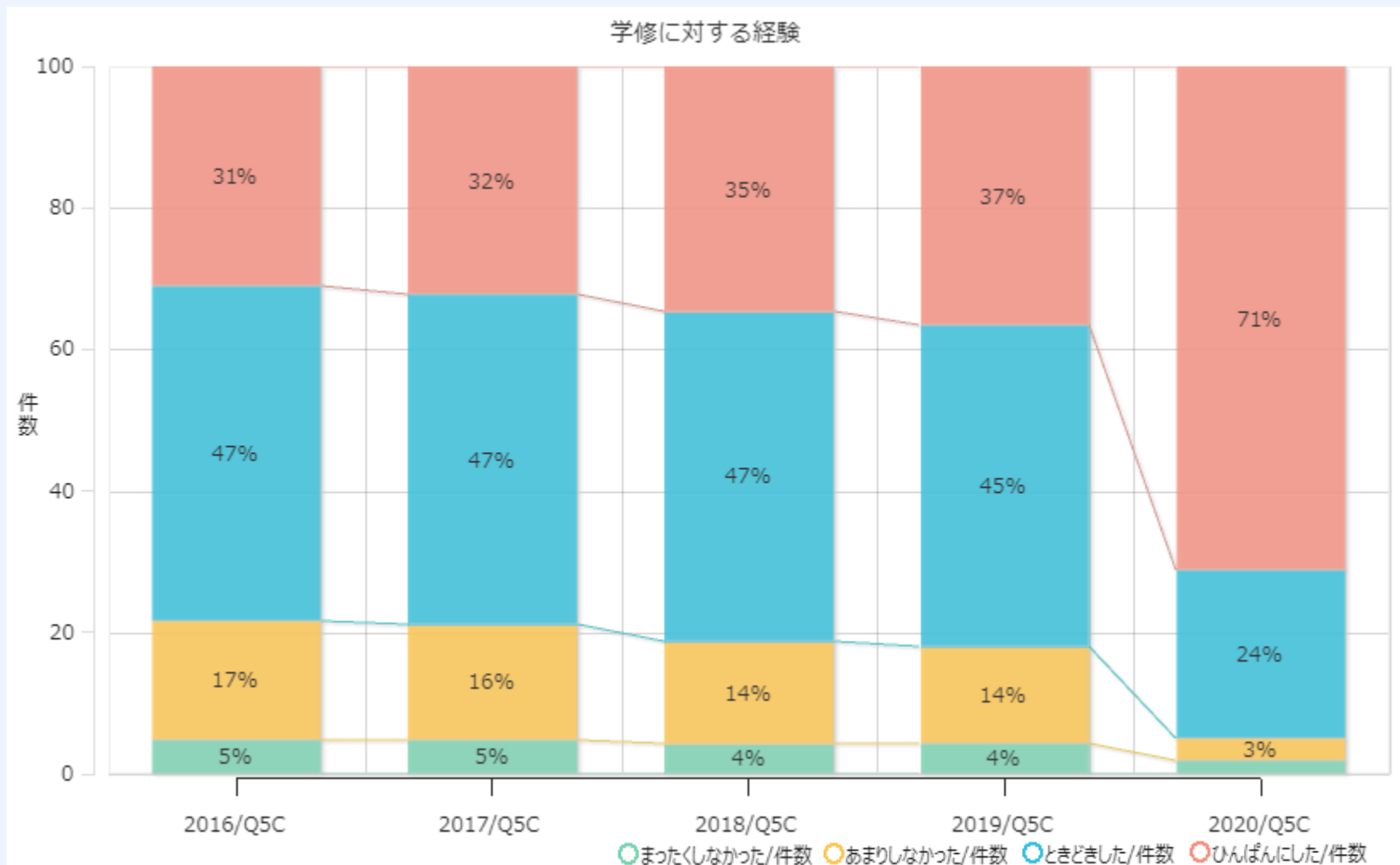
◦ 1年生ほどではないが減少



学習に関する経験（上級生）

インターネットを使って授業課題を受けたり,提出したりした

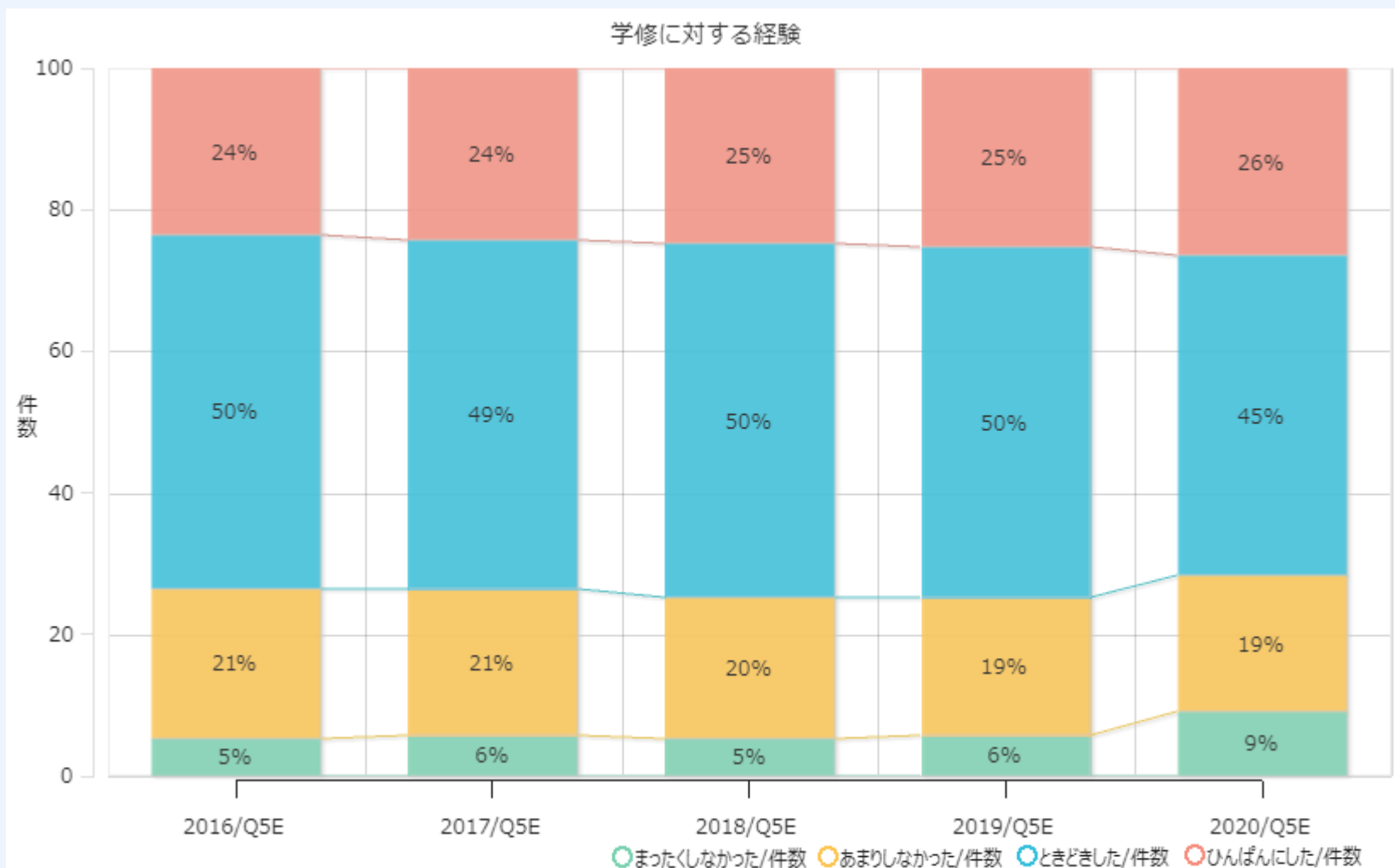
◦ 1年生と同様、大幅に増加



学習に関する経験（上級生）

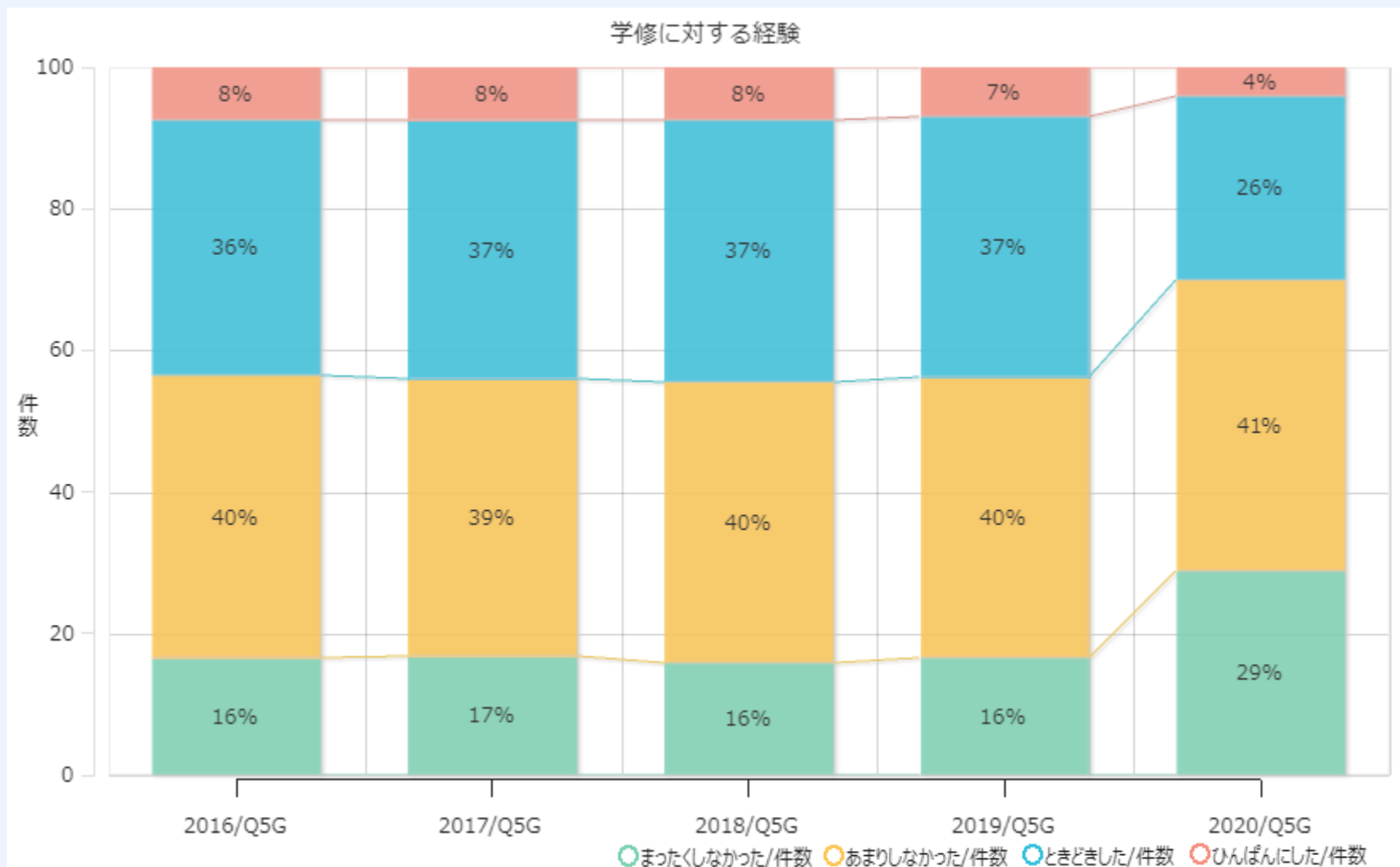
授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容を話したりした

◦ 1年生ほどではないが、緩やかに減少



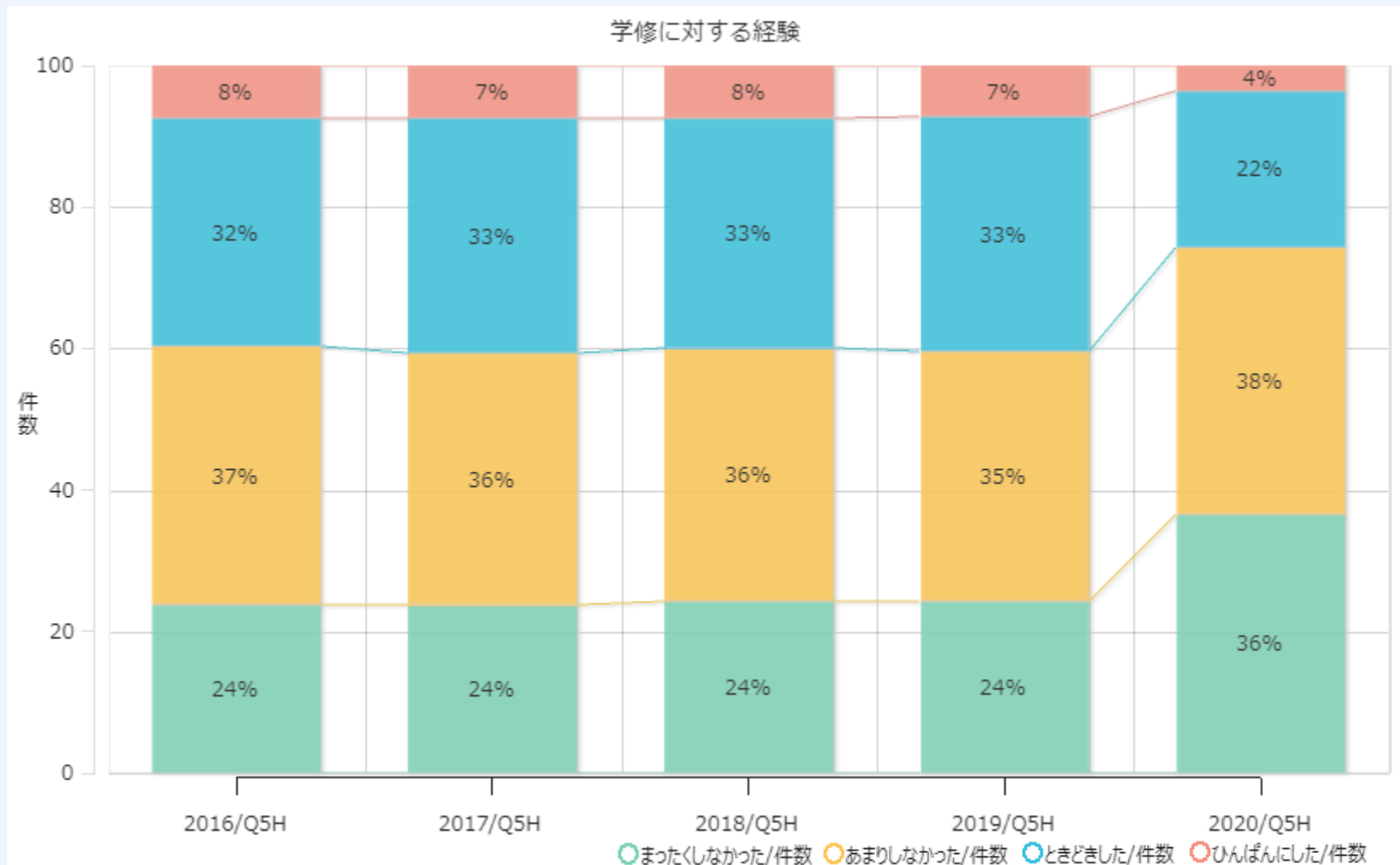
学習に関する経験（上級生） 授業を欠席した

- 1年生同様、オンライン授業では欠席の概念に変化が



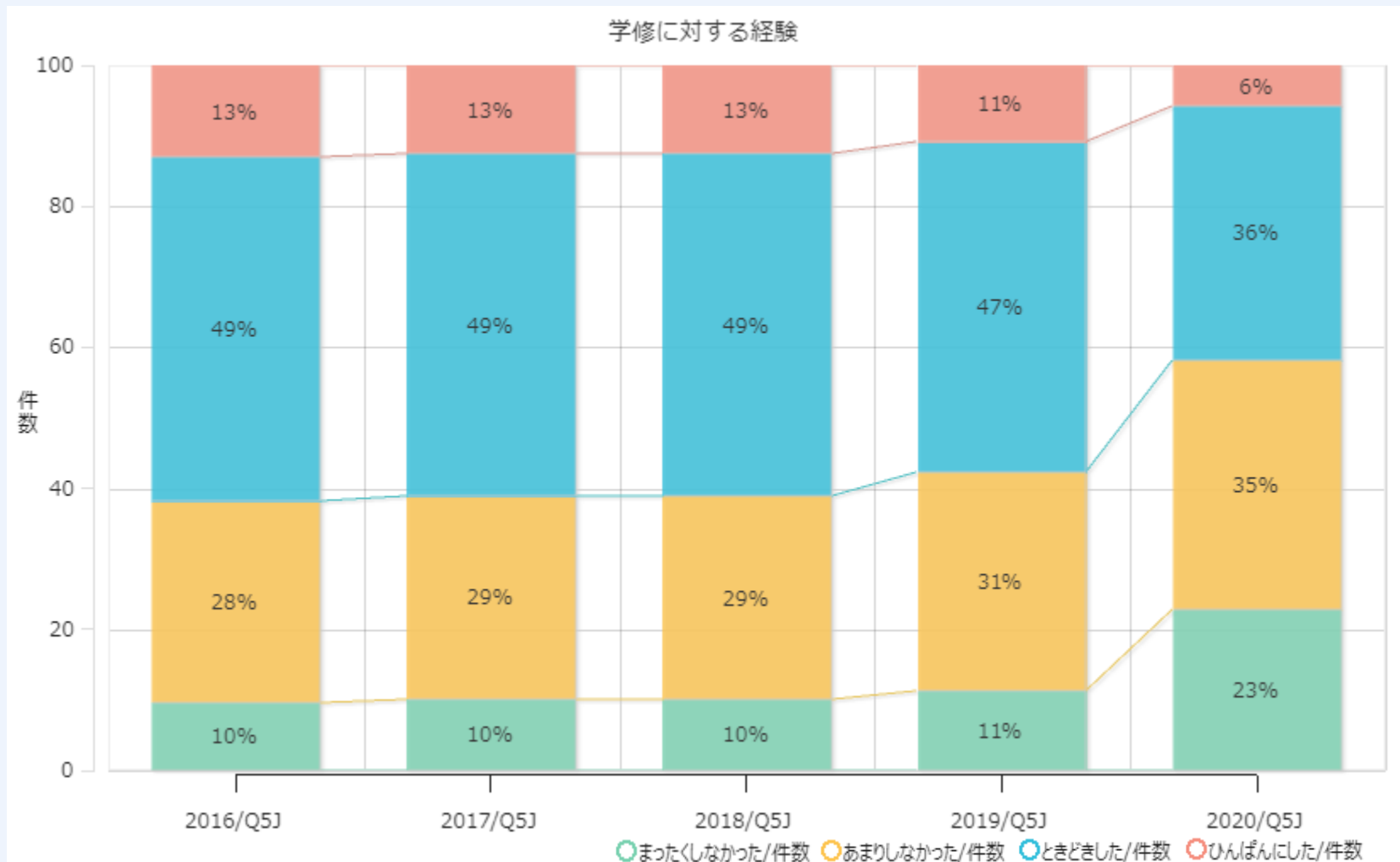
学習に関する経験（上級生） 授業に遅刻した

- 1年生同様、オンライン授業では遅刻の概念に変化が



学習に関する経験（上級生） 授業中に居眠りをした

- 1年生同様、オンライン授業では授業中の概念に変化が

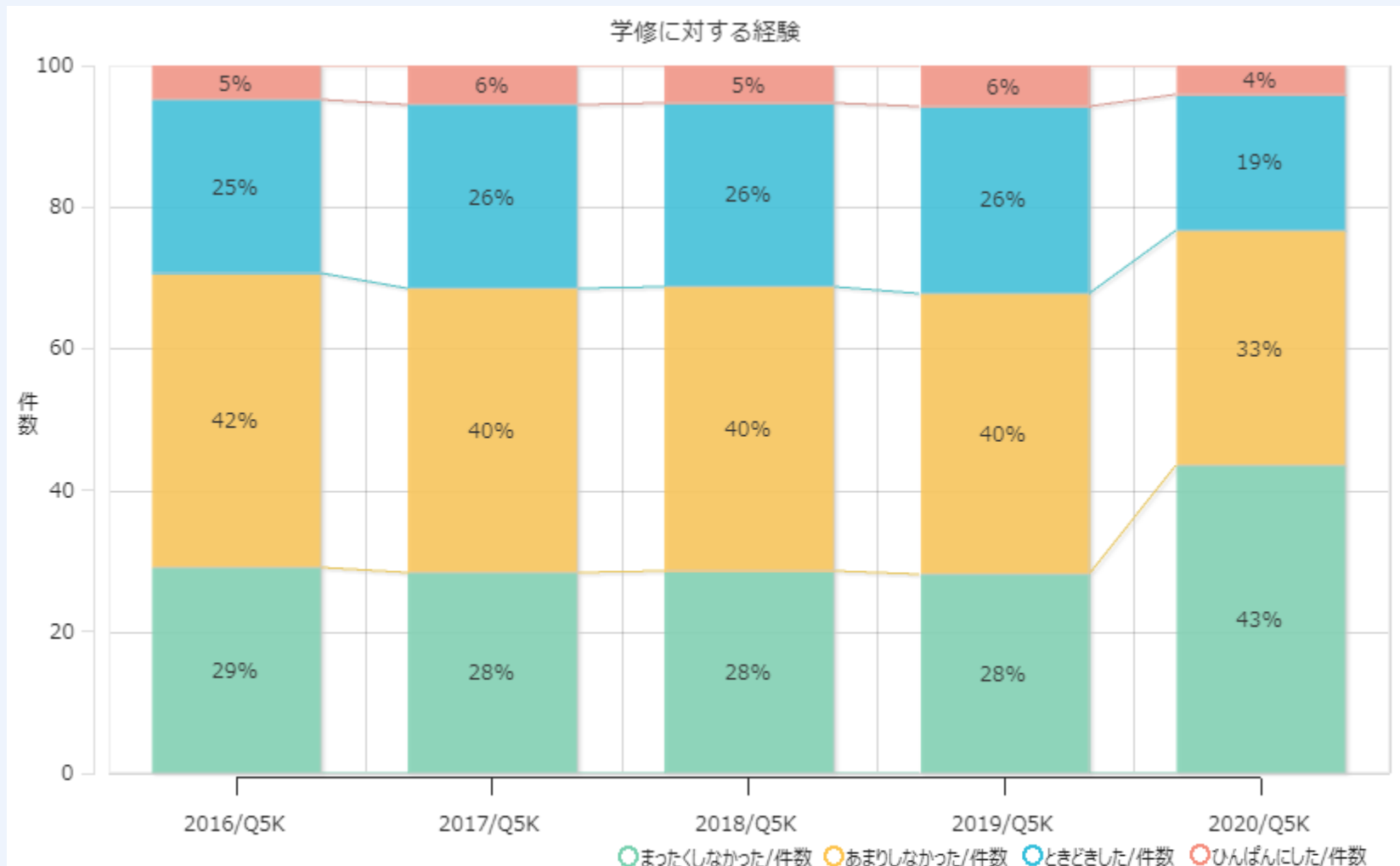


学習に関する経験（上級生）

学内での学習支援を受けた

(教職員に学習に関する相談をした、学内の学習支援室を利用した等)

。学内施設は当然、窓口関係は対面が前提



(6) 時間の使い方 (週)

【質問項目】

- 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。(8項目の質問)

【まとめ】

	1年生	上級生
授業や実験に出る	↓	↓
授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする	↑	↑
オフィスアワーなど、授業時間外に教員と面談する	↓	↓
部活動や同好会に参加する	↓	↓
大学外でアルバイトや仕事をする	↓	↓

1年生の時間の使い方では、準備学習が増加した反面、授業、教員との対話、部活動、アルバイトの時間が減少した。上級生もほぼ類似の傾向であった。

週当たりの活動時間（平均）（一年生）

設問	一年生2016	一年生2017	一年生2018	一年生2019	一年生2020
Q6A 授業や実験に出る	15.92	16.10	16.07	16.03	12.35
Q6B 授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする	4.15	4.31	4.47	4.48	7.00
Q6C 授業時間外に、授業に関連しない勉強をする	1.59	1.67	1.73	1.76	1.67
Q6D オフィスアワーなど、授業時間外に教員と面談する	0.35	0.39	0.42	0.40	0.22
Q6E 部活動や同好会に参加する	4.61	4.51	4.43	4.31	1.81
Q6F 大学外でアルバイトや仕事をする	8.68	8.92	8.91	8.94	7.01
Q6G 読書をする（マンガ・雑誌を除く）	1.67	1.71	1.68	1.58	1.46
Q6H 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）	7.63	7.89	7.85	8.27	8.40

表は「全然ない=0, 1時間未満=0.5, 1-2時間=1.5, 3-5時間=4, 6-10時間=8, 11-15時間=13, 16-20時間=18, 20時間以上=20」としたときの平均時間を示す。

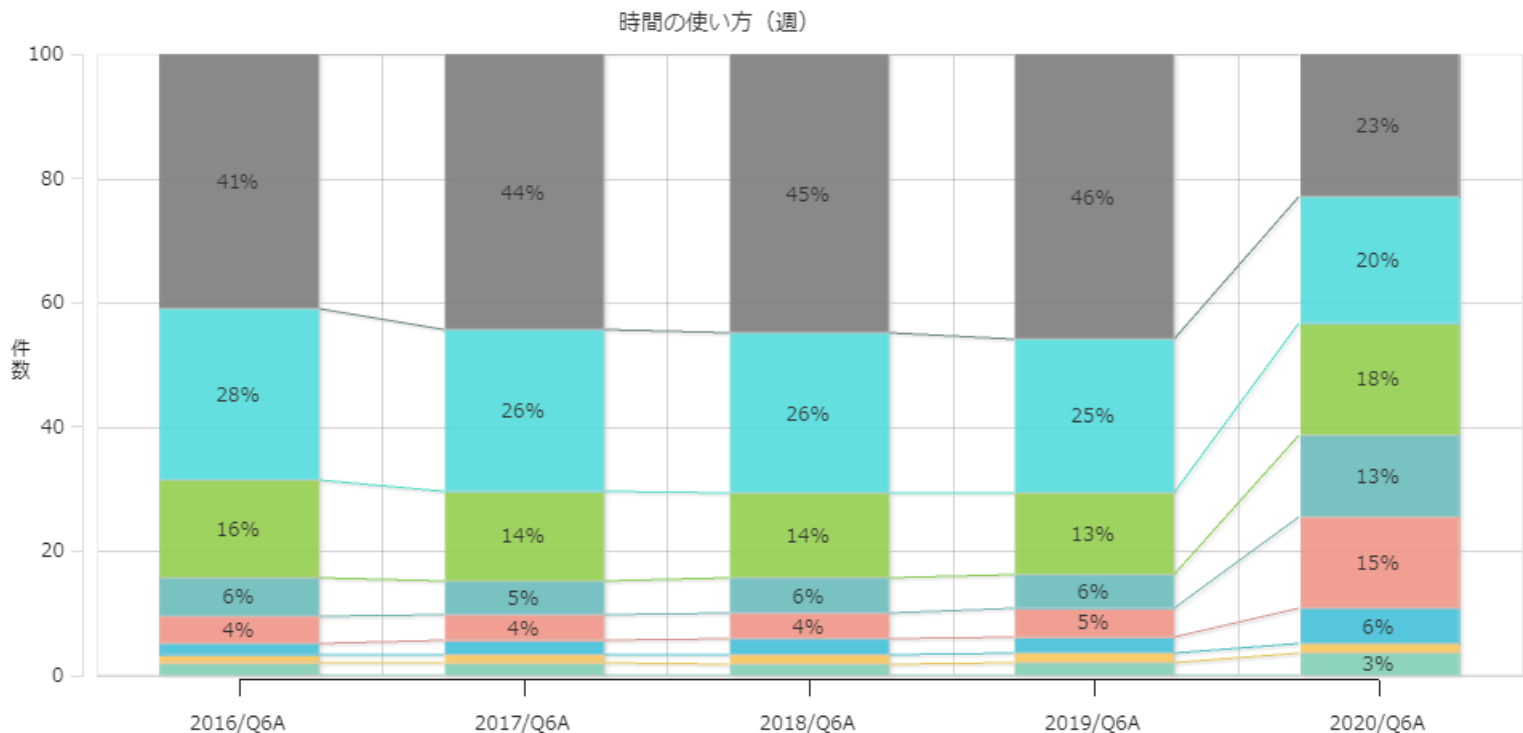
週当たりの活動時間（平均）（上級生）

設問	上級生2016	上級生2017	上級生2018	上級生2019	上級生2020
Q6A 授業や実験に出る	12.92	12.64	12.46	12.21	10.39
Q6B 授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする	4.20	4.22	4.31	4.19	5.70
Q6C 授業時間外に、授業に関連しない勉強をする	2.49	2.59	2.60	2.57	2.75
Q6D オフィスアワーなど、授業時間外に教員と面談する	0.52	0.60	0.59	0.55	0.52
Q6E 部活動や同好会に参加する	3.53	3.40	3.33	3.04	1.79
Q6F 大学外でアルバイトや仕事をする	10.07	10.42	10.55	10.51	8.75
Q6G 読書をする（マンガ・雑誌を除く）	1.86	1.88	1.79	1.70	1.71
Q6H 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）	7.77	8.02	7.96	8.16	8.38

表は「全然ない=0， 1時間未満=0.5， 1-2時間=1.5， 3-5時間=4， 6-10時間=8， 11-15時間=13， 16-20時間=18， 20時間以上=20」としたときの平均時間を示す。

時間の使い方（週）（一年生） 授業や実験に出る

- 20時間以上が減少 = 非同期型だと必要な部分だけ見るから？

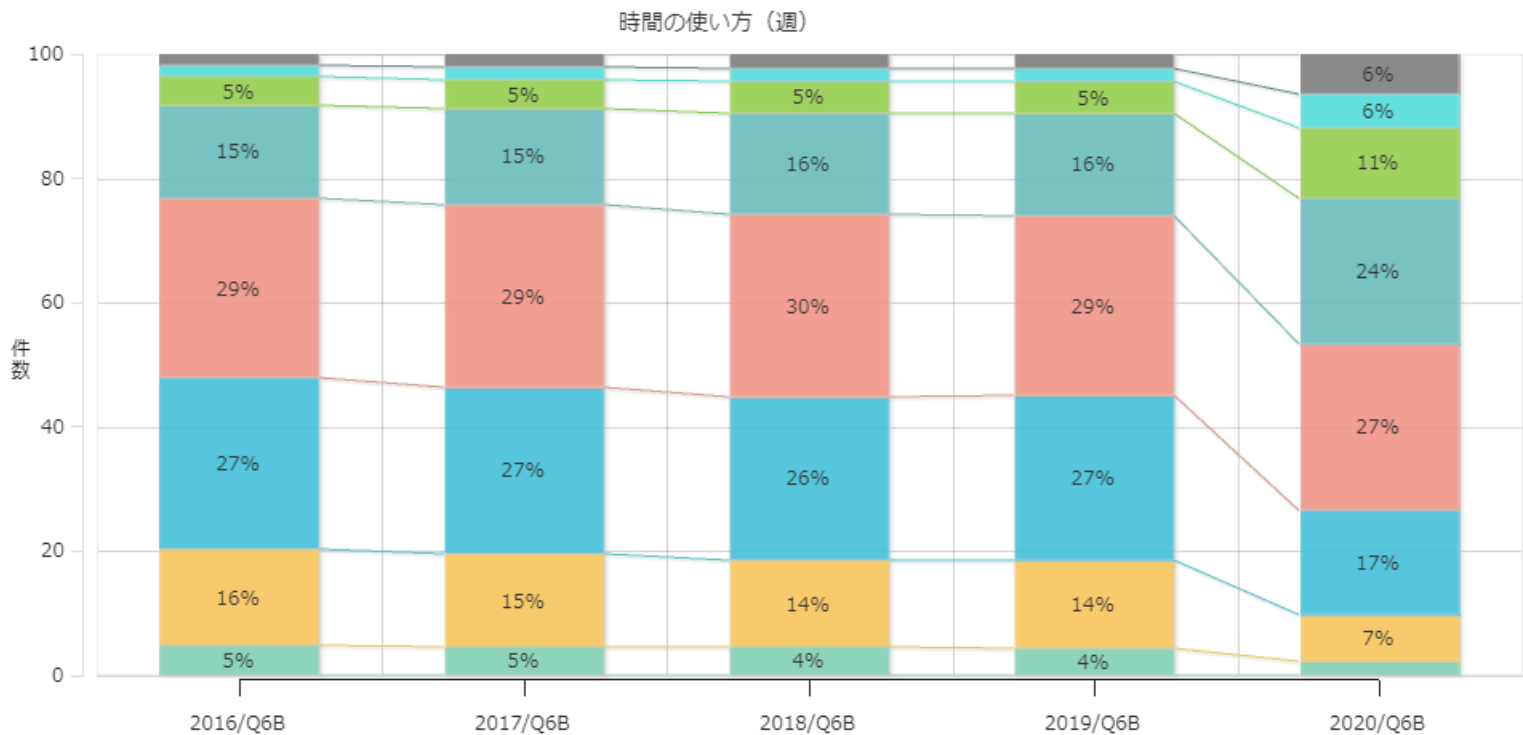


	調査年度	2016	2017	2018	2019	2020
20時間以上	● 件数	13,878	17,451	19,439	20,922	8,829
16~20時間	○ 件数	9,319	10,287	11,162	11,272	7,800
11~15時間	● 件数	5,342	5,618	5,869	6,047	6,832
6~10時間	○ 件数	2,076	2,159	2,468	2,515	5,009
3~5時間	● 件数	1,495	1,627	1,838	2,105	5,665
1~2時間	○ 件数	666	840	1,036	1,083	2,168
1時間未満	● 件数	442	583	673	759	599
全然ない	○ 件数	611	722	772	875	1,314

時間の使い方（週）（一年生）

授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする

- 10時間以上が増加 = 課題が増加した

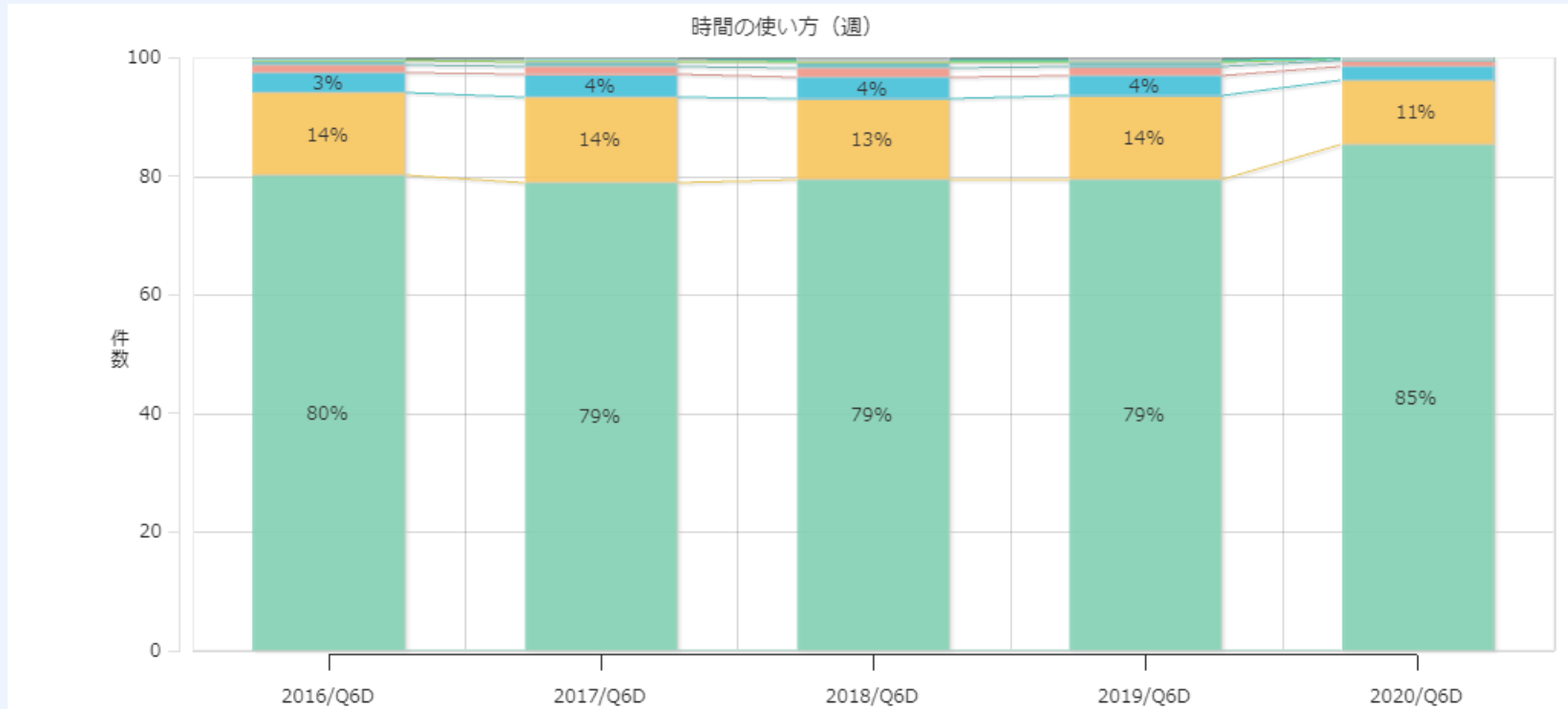


	調査年度	2016	2017	2018	2019	2020
20時間以上	● 件数	630	875	1,031	1,115	2,471
16~20時間	● 件数	607	768	929	968	2,121
11~15時間	● 件数	1,626	1,894	2,193	2,387	4,309
6~10時間	● 件数	4,995	6,034	7,021	7,434	9,019
3~5時間	● 件数	9,780	11,568	12,742	13,259	10,178
1~2時間	● 件数	9,269	10,427	11,263	12,123	6,487
1時間未満	● 件数	5,261	5,889	6,072	6,417	2,842
全然ない	● 件数	1,597	1,789	1,928	1,941	806

時間の使い方（週）（一年生）

オフィスアワーなど、授業時間外に教員と面談する

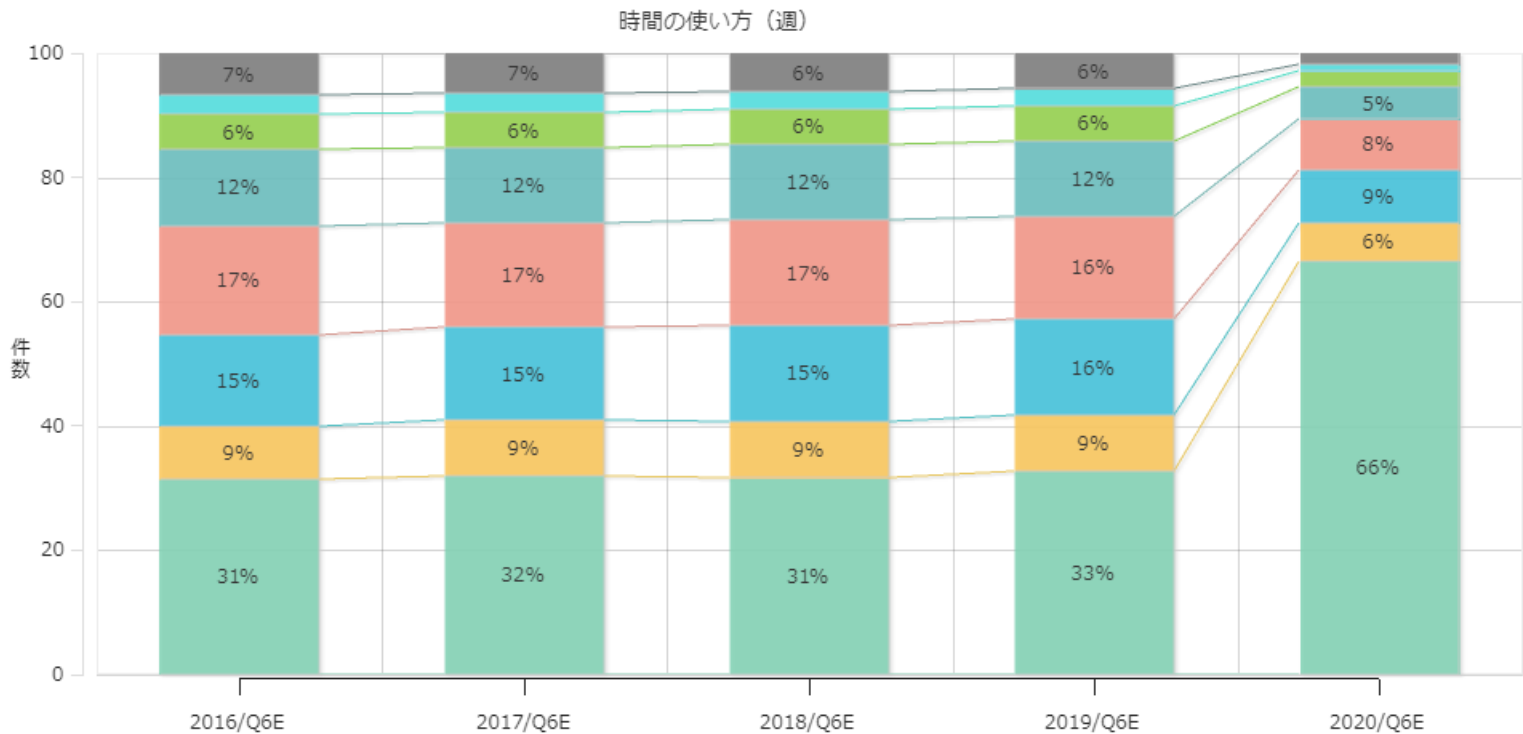
- 他の質問同様、コミュニケーション関係は減少



	調査年度	2016	2017	2018	2019	2020
20時間以上	○ 件数	99	124	153	163	60
16~20時間	○ 件数	54	60	89	85	46
11~15時間	○ 件数	104	147	192	156	52
6~10時間	○ 件数	203	301	355	394	134
3~5時間	○ 件数	473	585	674	639	324
1~2時間	○ 件数	1,088	1,439	1,639	1,615	916
1時間未満	○ 件数	4,719	5,663	5,833	6,380	4,139
全らない	○ 件数	27,096	31,043	34,378	36,247	32,599

時間の使い方（週）（一年生） 部活動や同好会に参加する

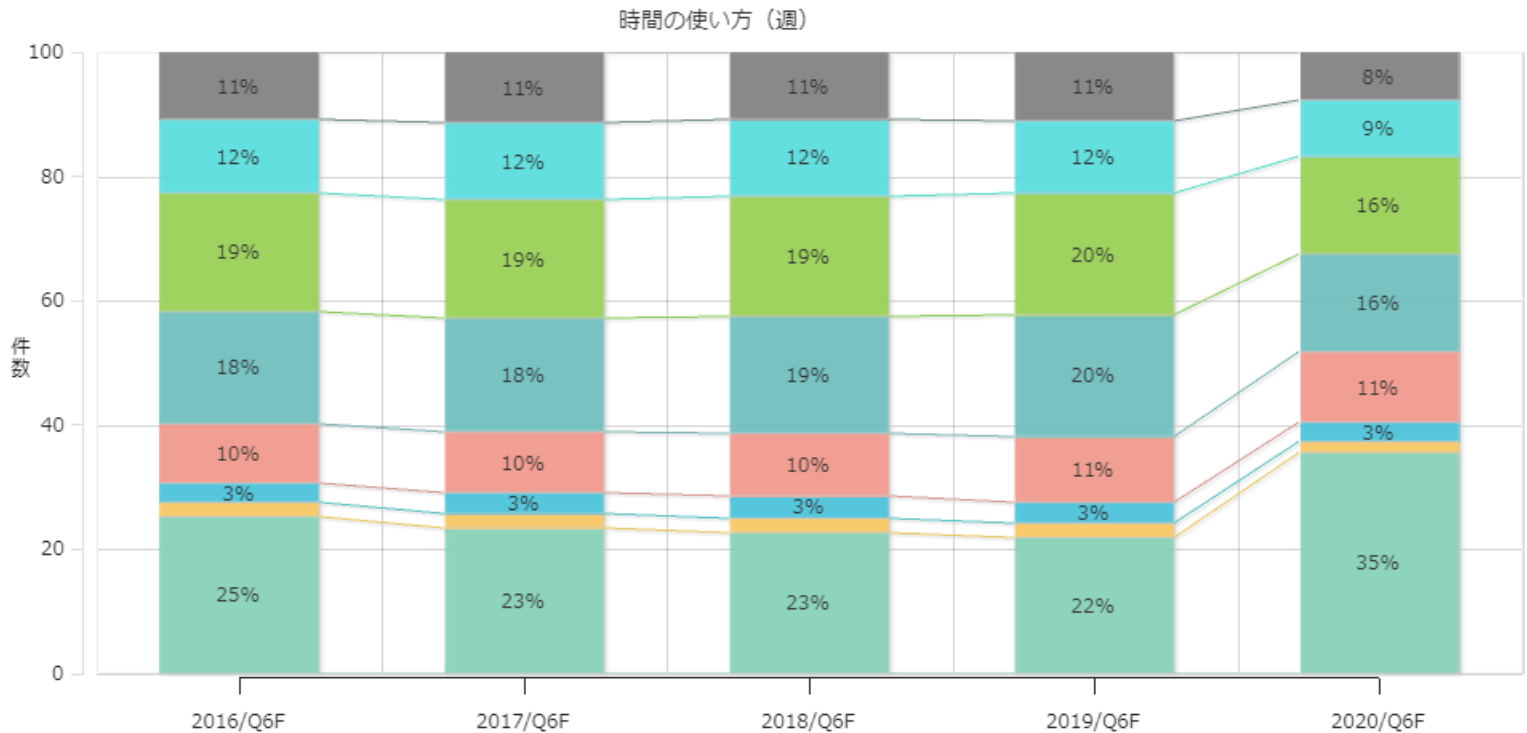
- 大学の感染拡大防止策により課外活動も影響を受けている



調査年度		2016	2017	2018	2019	2020
20時間以上	○ 件数	2,291	2,600	2,714	2,690	721
16~20時間	○ 件数	1,023	1,164	1,256	1,252	445
11~15時間	○ 件数	1,971	2,273	2,399	2,535	918
6~10時間	○ 件数	4,176	4,743	5,306	5,577	2,039
3~5時間	○ 件数	5,912	6,573	7,373	7,466	3,112
1~2時間	○ 件数	4,950	5,891	6,689	7,073	3,266
1時間未満	○ 件数	2,922	3,533	3,920	4,142	2,329
全然ない	○ 件数	10,580	12,572	13,637	14,860	25,413

時間の使い方（週）（一年生） 大学外でアルバイトや仕事をする

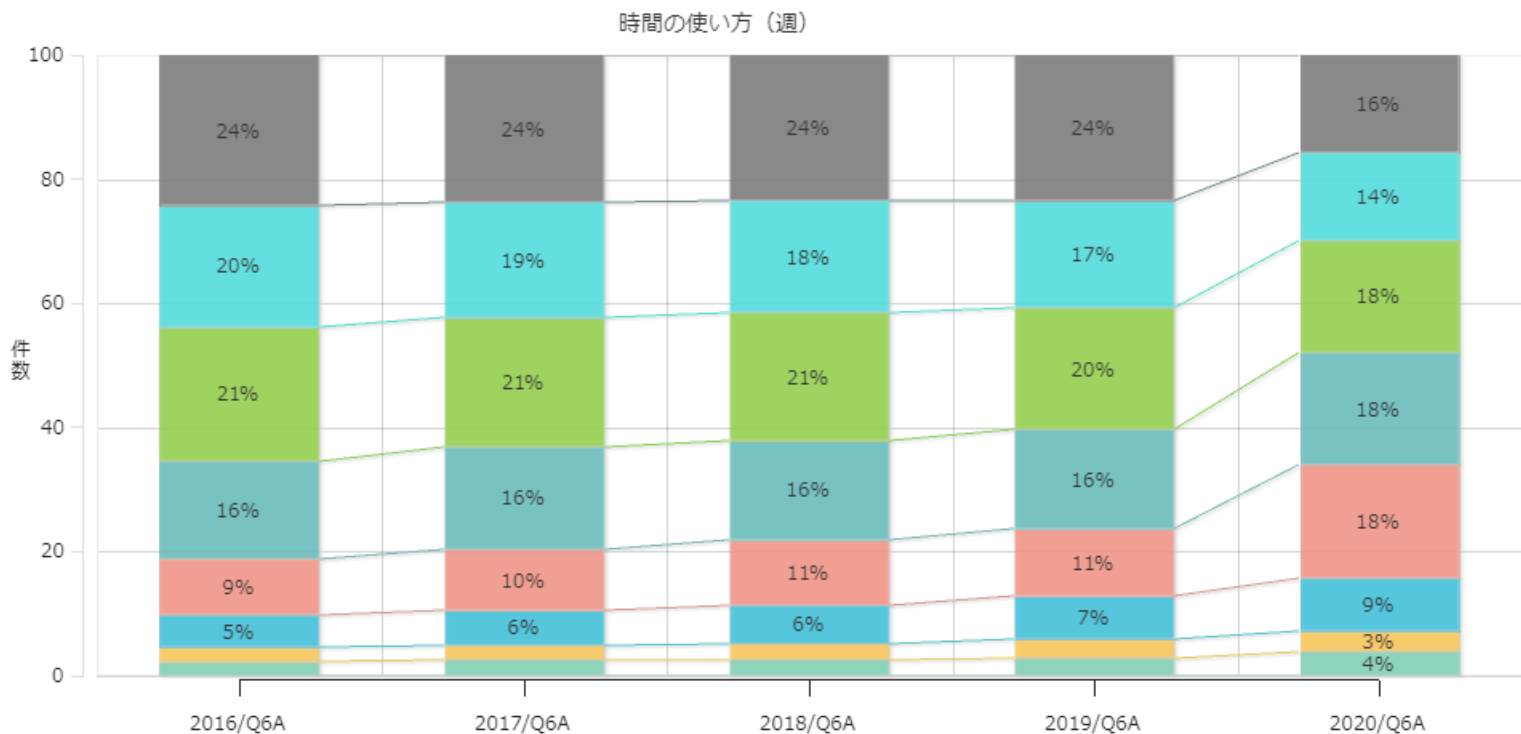
。ある程度は仕事ができているとも言える・・・



調査年度		2016	2017	2018	2019	2020
20時間以上	件数	3,695	4,507	4,785	5,079	2,960
16~20時間	件数	4,041	4,879	5,336	5,368	3,532
11~15時間	件数	6,439	7,530	8,327	8,943	5,983
6~10時間	件数	6,091	7,131	8,169	8,930	5,966
3~5時間	件数	3,222	3,915	4,397	4,800	4,378
1~2時間	件数	1,063	1,345	1,481	1,509	1,183
1時間未満	件数	760	901	1,048	1,030	666
全然ない	件数	8,545	9,155	9,751	9,975	13,574

時間の使い方（週）（上級生） 授業や実験に出る

- 1年生ほど20時間以上の減少が大きくない＝“授業”とは？

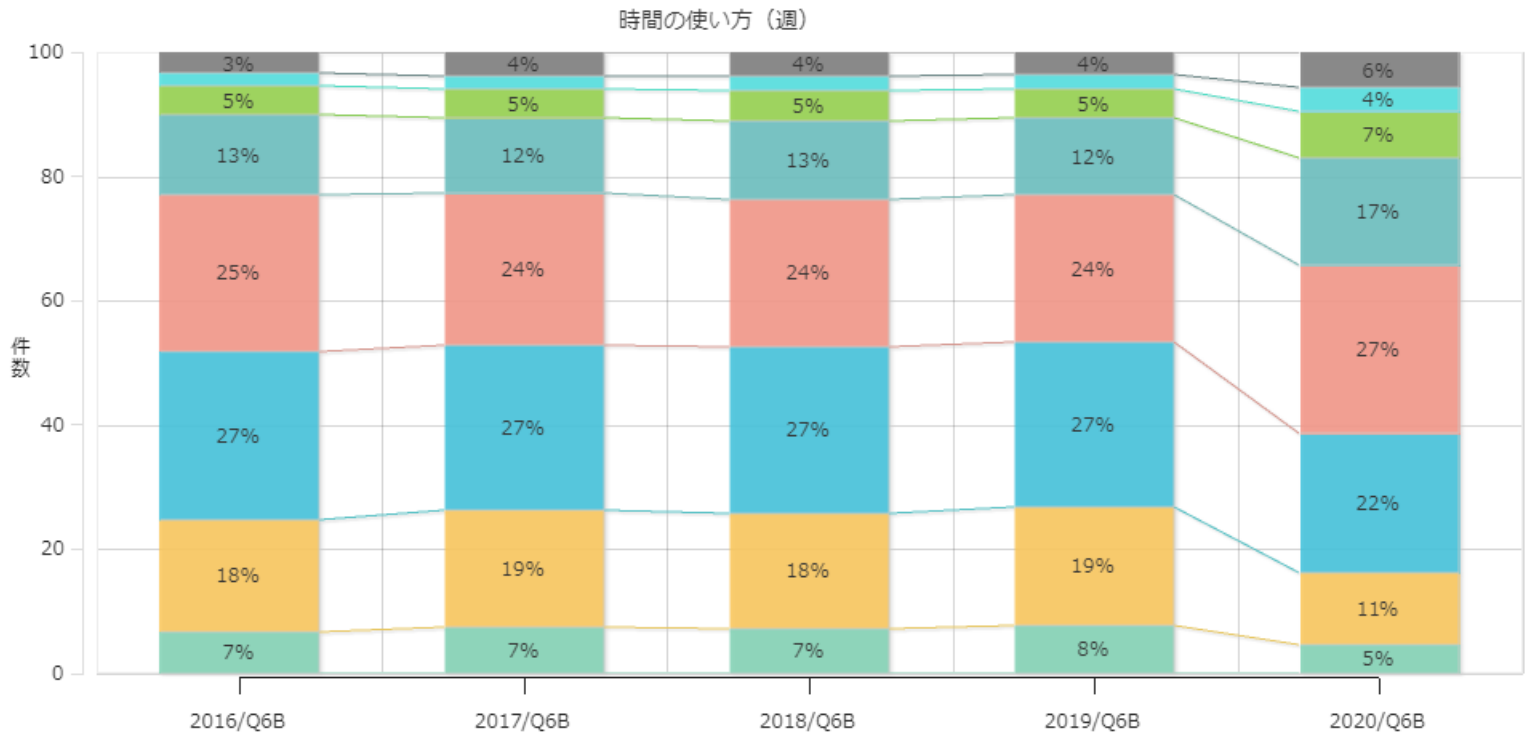


	調査年度	2016	2017	2018	2019	2020
20時間以上	● 件数	9,781	10,122	11,461	13,264	6,631
16~20時間	○ 件数	7,839	7,907	8,842	9,581	5,910
11~15時間	● 件数	8,594	8,811	10,082	10,968	7,535
6~10時間	○ 件数	6,312	6,987	7,784	9,025	7,573
3~5時間	● 件数	3,651	4,191	5,121	6,071	7,628
1~2時間	○ 件数	2,099	2,364	2,993	3,884	3,606
1時間未満	● 件数	923	987	1,259	1,704	1,320
全然ない	○ 件数	835	1,032	1,203	1,492	1,591

時間の使い方（週）（上級生）

授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする

◦ 3時間以上の層が増加しているが1年生ほど顕著ではない

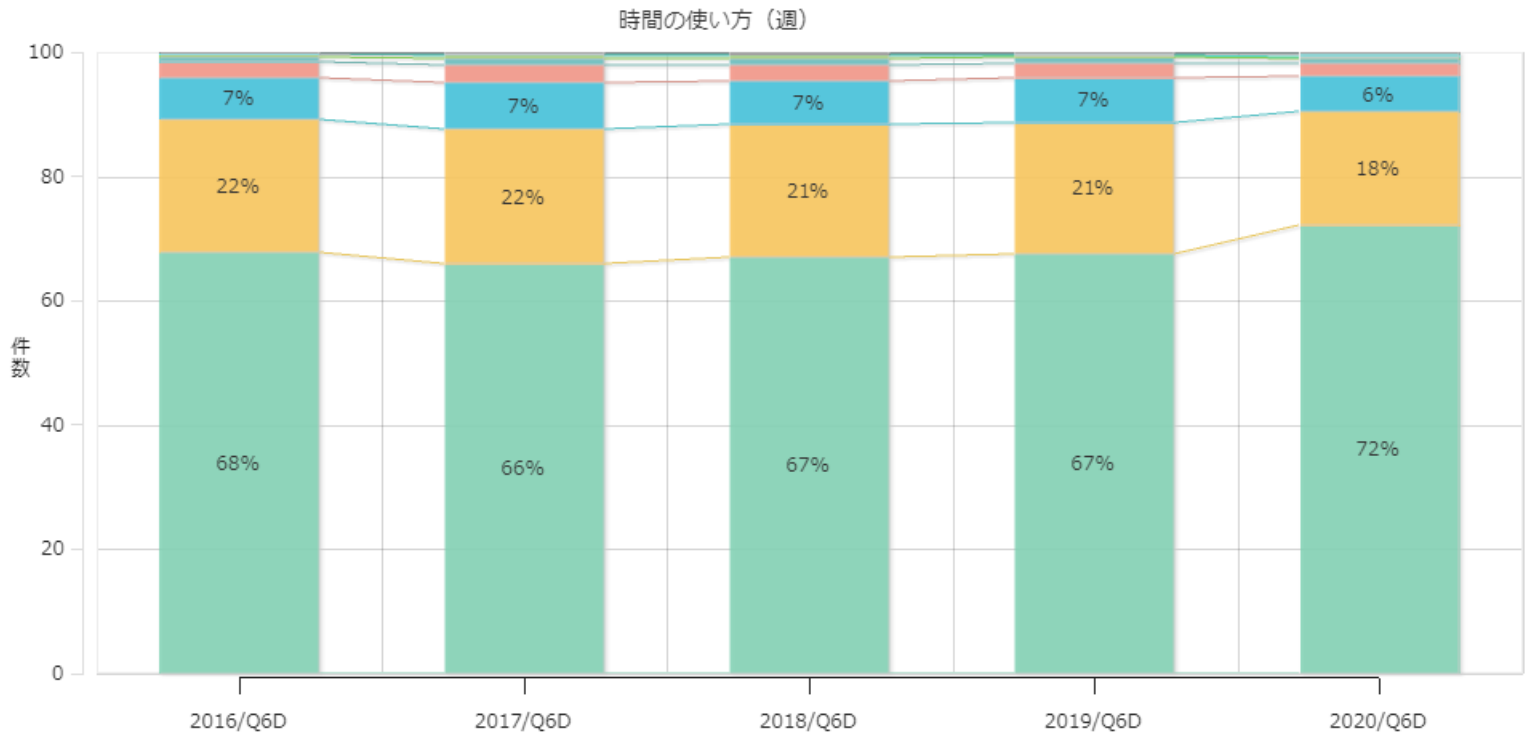


調査年度	2016	2017	2018	2019	2020
20時間以上	1,346	1,651	1,938	2,109	2,378
16~20時間	846	932	1,135	1,213	1,705
11~15時間	1,882	1,974	2,328	2,624	3,105
6~10時間	5,146	5,128	6,221	6,948	7,222
3~5時間	10,039	10,305	11,521	13,316	11,315
1~2時間	10,836	11,223	13,017	14,859	9,354
1時間未満	7,183	7,968	8,984	10,625	4,784
全然ない	2,653	3,135	3,478	4,298	1,928

時間の使い方（週）（上級生）

オフィスアワーなど、授業時間外に教員と面談する

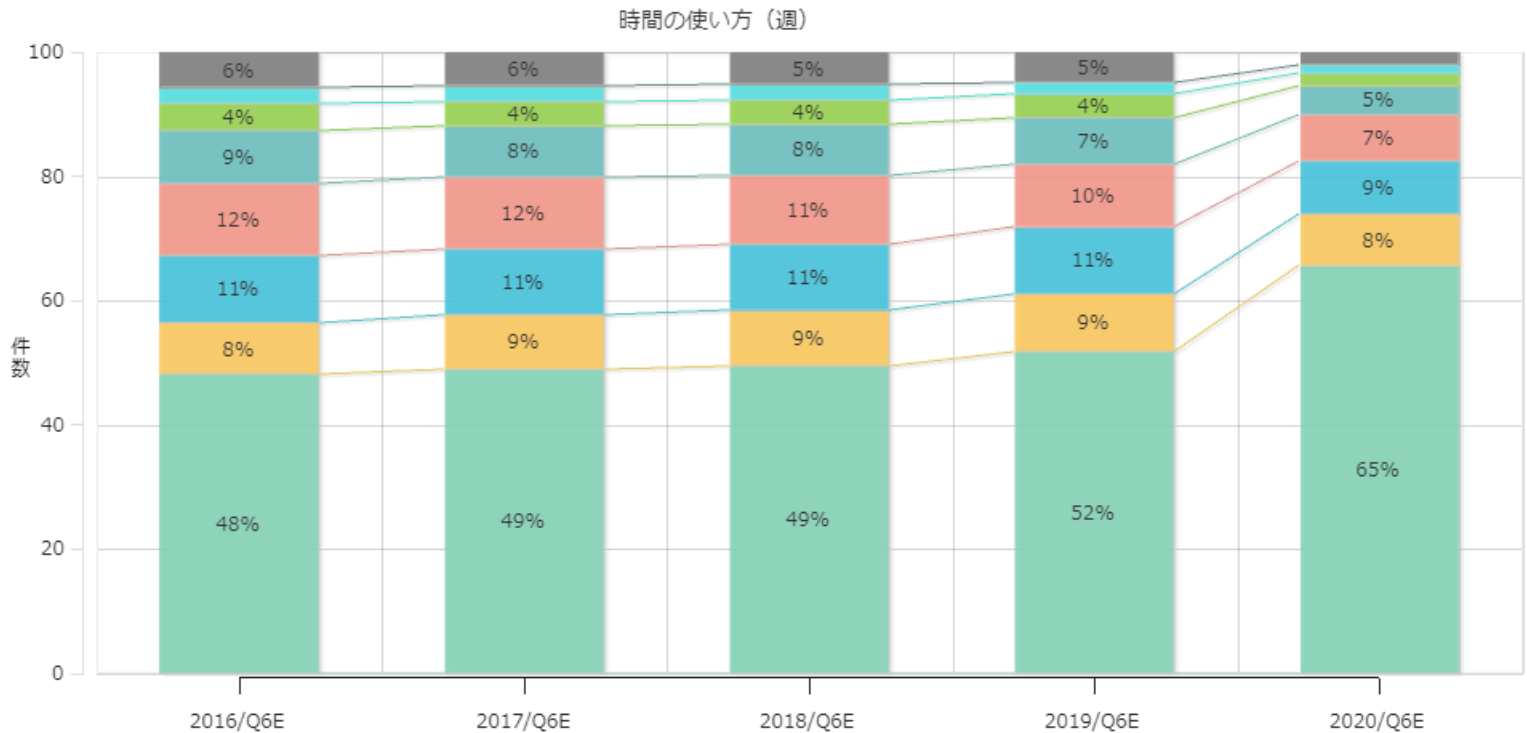
○ 1年生同様、コミュニケーション関係は減少



調査年度	2016	2017	2018	2019	2020
20時間以上	120	164	223	207	135
16～20時間	67	85	106	98	239
11～15時間	157	192	205	251	129
6～10時間	376	475	545	524	304
3～5時間	969	1,184	1,246	1,359	817
1～2時間	2,660	3,164	3,439	4,021	2,408
1時間未満	8,599	9,246	10,379	11,806	7,701
全然ない	27,033	27,846	32,532	37,711	30,051

時間の使い方（週）（上級生） 部活動や同好会に参加する

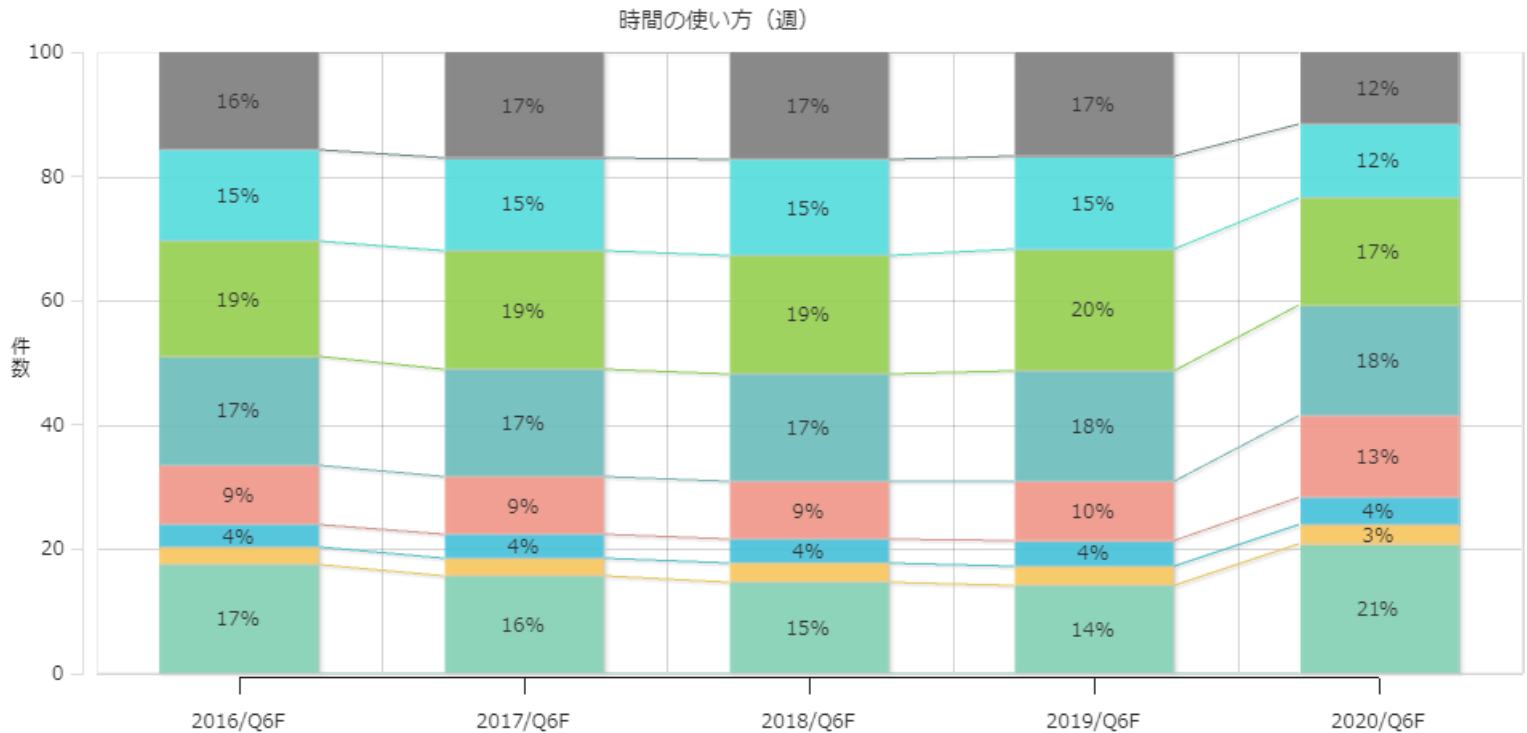
- 1年生と同様課外活動の機会は減少



調査年度	2016	2017	2018	2019	2020
20時間以上	2,364	2,374	2,612	2,771	938
16~20時間	974	1,024	1,170	1,090	568
11~15時間	1,714	1,721	1,962	2,082	862
6~10時間	3,426	3,424	3,989	4,155	1,910
3~5時間	4,669	4,900	5,354	5,746	3,048
1~2時間	4,271	4,529	5,213	5,997	3,621
1時間未満	3,321	3,690	4,366	5,155	3,474
全然ない	19,223	20,682	24,004	28,927	27,363

時間の使い方（週）（上級生） 大学外でアルバイトや仕事をする

- ある程度は仕事ができているとも言える・・・



調査年度	2016	2017	2018	2019	2020
20時間以上	6,293	7,289	8,419	9,495	4,925
16~20時間	5,887	6,277	7,539	8,381	4,887
11~15時間	7,491	8,088	9,267	10,921	7,292
6~10時間	6,968	7,295	8,410	9,935	7,335
3~5時間	3,775	3,978	4,544	5,388	5,555
1~2時間	1,472	1,615	1,860	2,226	1,823
1時間未満	1,113	1,220	1,502	1,720	1,327
全然ない	6,995	6,599	7,139	7,901	8,626

(7) 大学生生活

【質問項目】

- 本学に入学してから、あなたにとって次のことがらはどれくらいうまくいきましたか。(7項目の質問)

【まとめ】

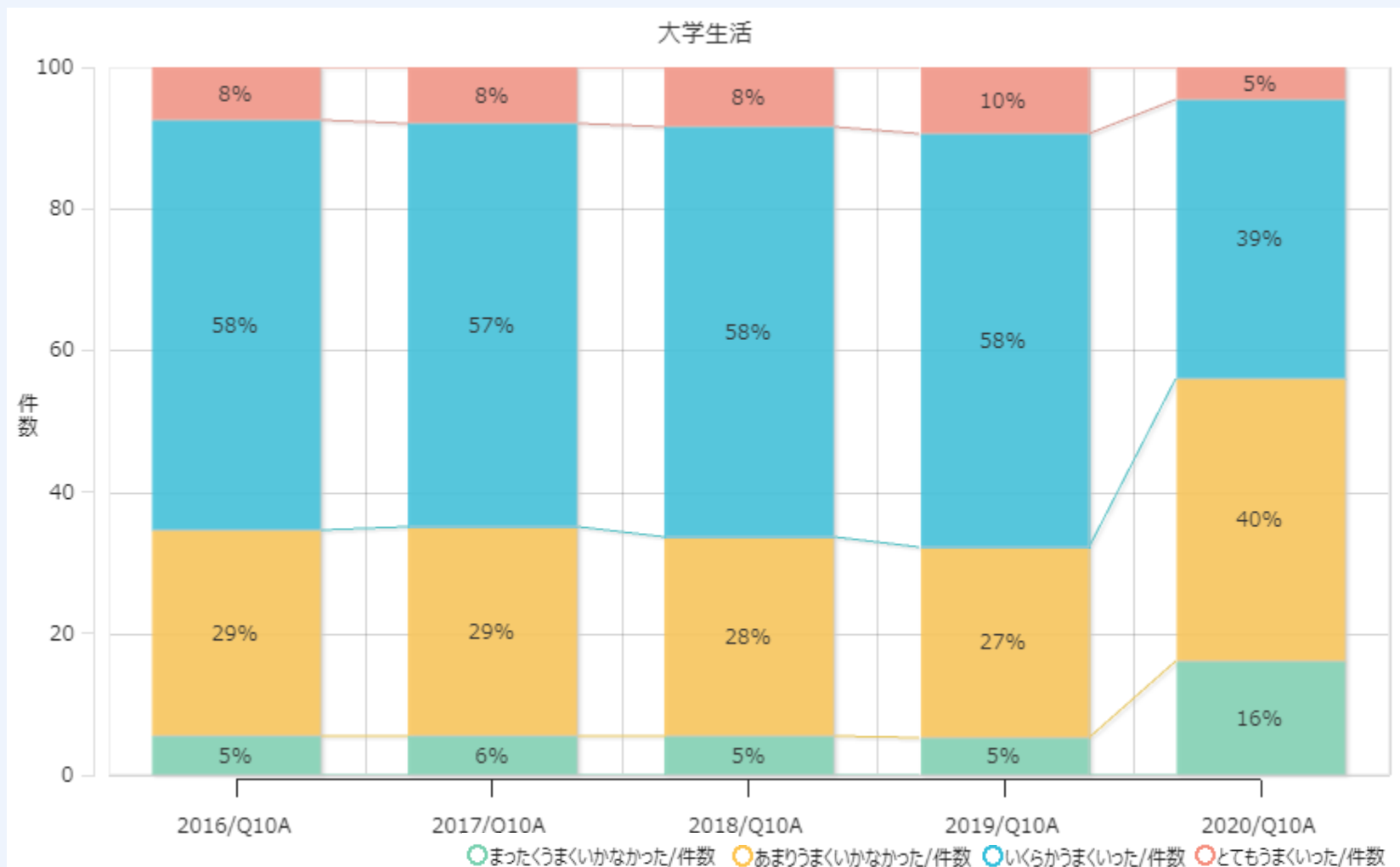
	1年生	上級生
大学の学生向けサービスを上手に利用する	↓	
大学教員と顔見知りになる	↓	↓
他の学生との友情を深める	↓	

1年生の大学生生活では、大学のサービスを利用する、教員と知り合う、他の学生と交流する、が減少した。上級生では教員と知り合うのみ低下した。

大学生活（一年生）

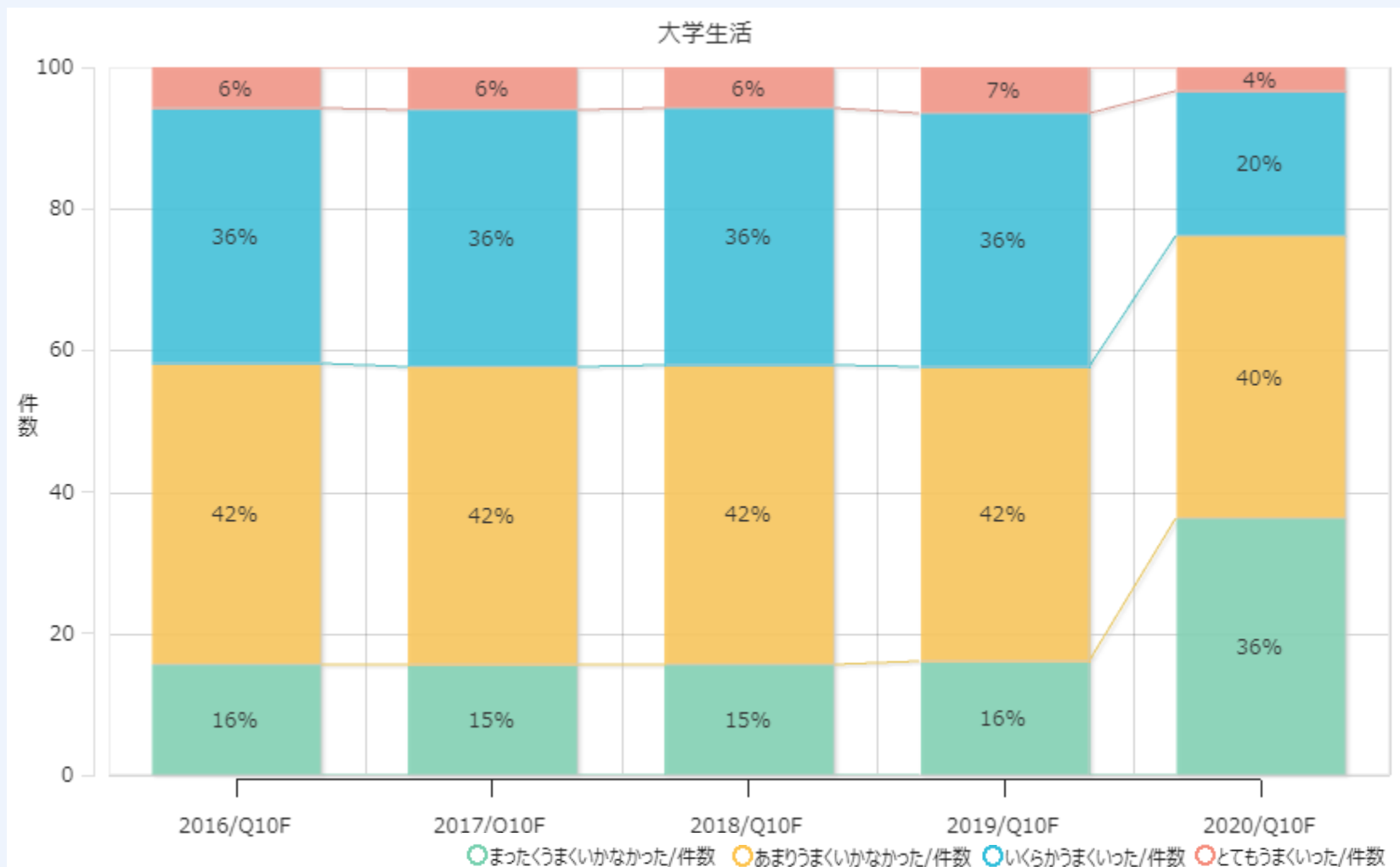
大学の学生向けサービスを上手に利用する

- 。登学機会の減少と大学発信の情報が理解できなかったのか



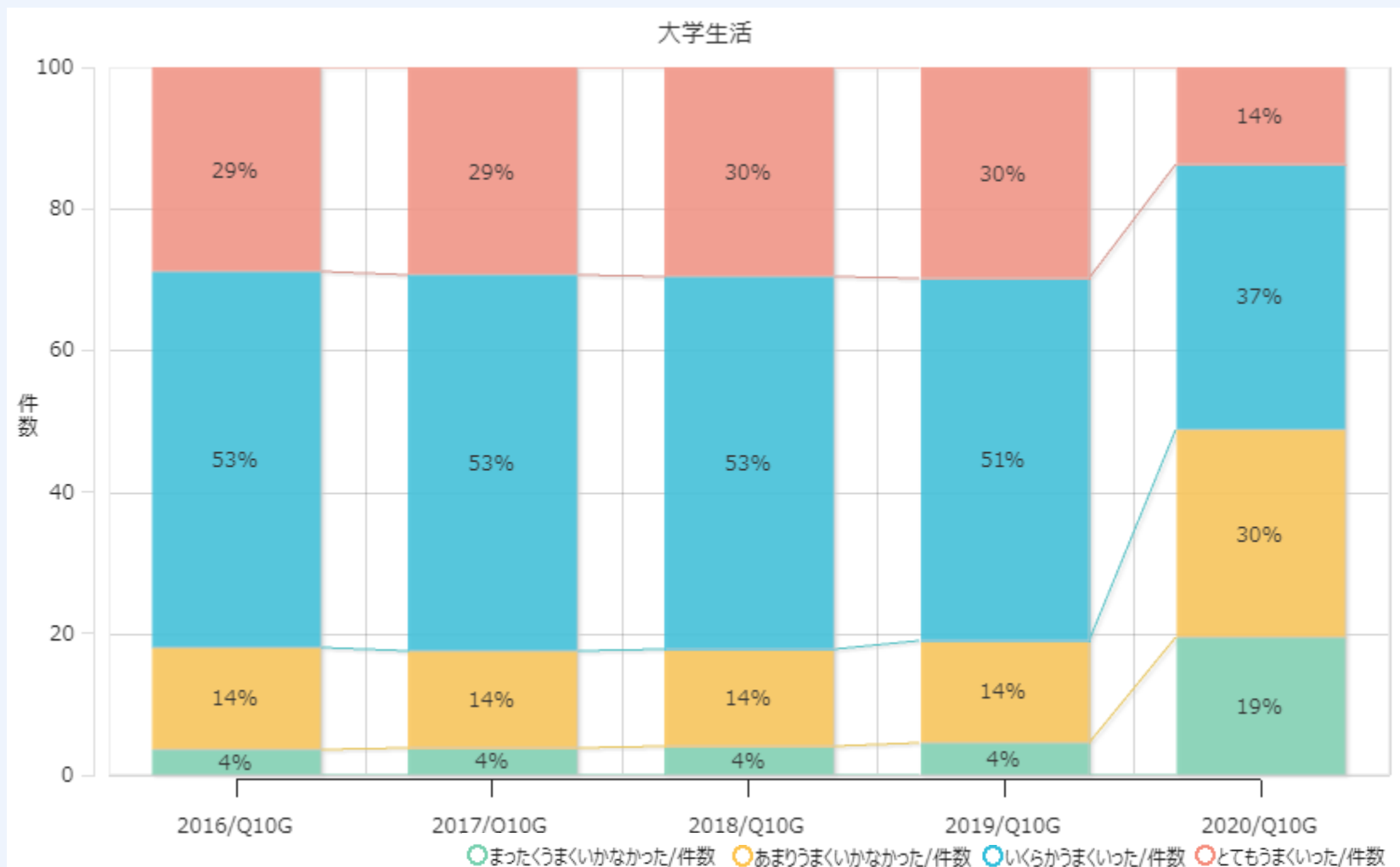
大学生活（一年生） 大学教員と顔見知りになる

- 他の質問同様、コミュニケーション関係は減少



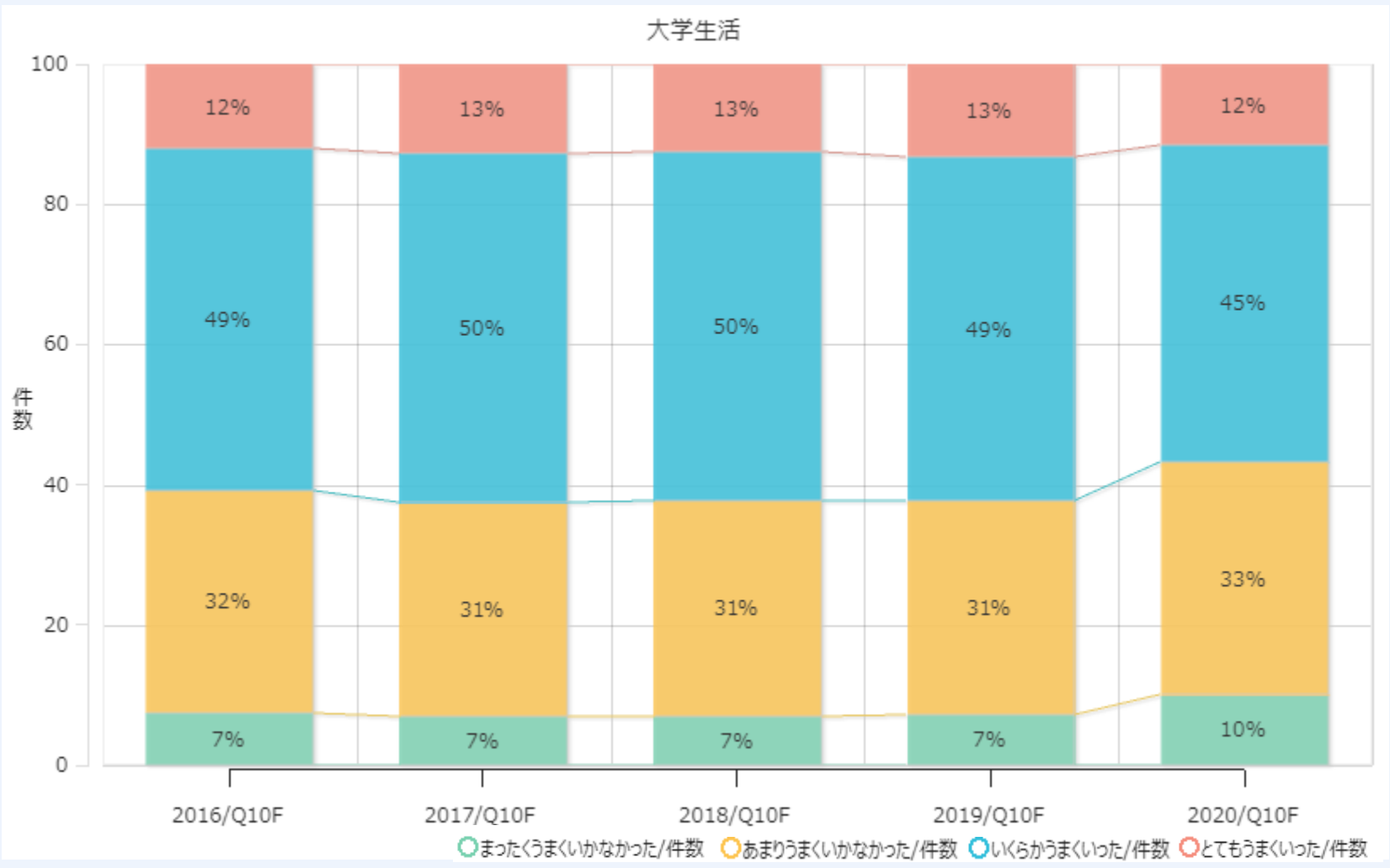
大学生活（一年生） 他の学生との友情を深める

- 他の質問同様、コミュニケーション関係は減少



大学生活（上級生） 大学教員と顔見知りになる

◦ 1年生ほどではないが、コミュニケーション関係は減少



(8) 教育への満足度

【質問項目】

- あなたは、本学の教育内容・環境にどれくらい満足していますか。
(12項目の質問)

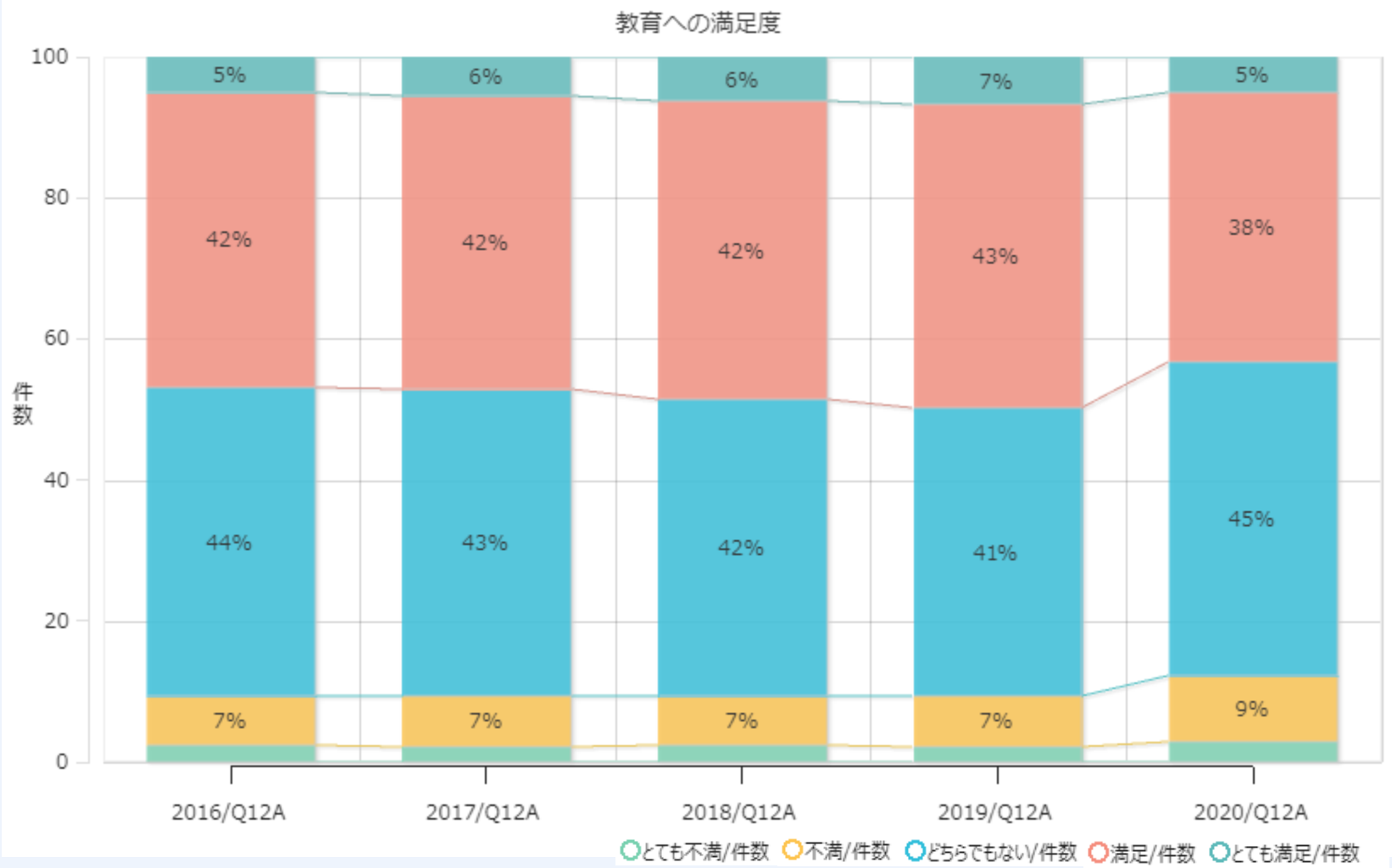
【まとめ】

	1年生	上級生
共通教育あるいは教養教育の授業	↓	
初年次生を対象とした教育プログラム内容	↓	
教員と話をする機会	↓	
学習支援や個別の学習指導	↓	
他の学生と話をする機会	↓	↓
大学のなかでの学生同士の一体感	↓	
大学での経験全般について	↓	

1年生の満足度調査では、初年次教育、教員と話す、学習支援、他の学生と話す、学生同士の一体感、経験全般で低下した。上級生では他の学生と話すのみ低下した。

教育への満足度（一年生） 共通教育あるいは教養教育の授業

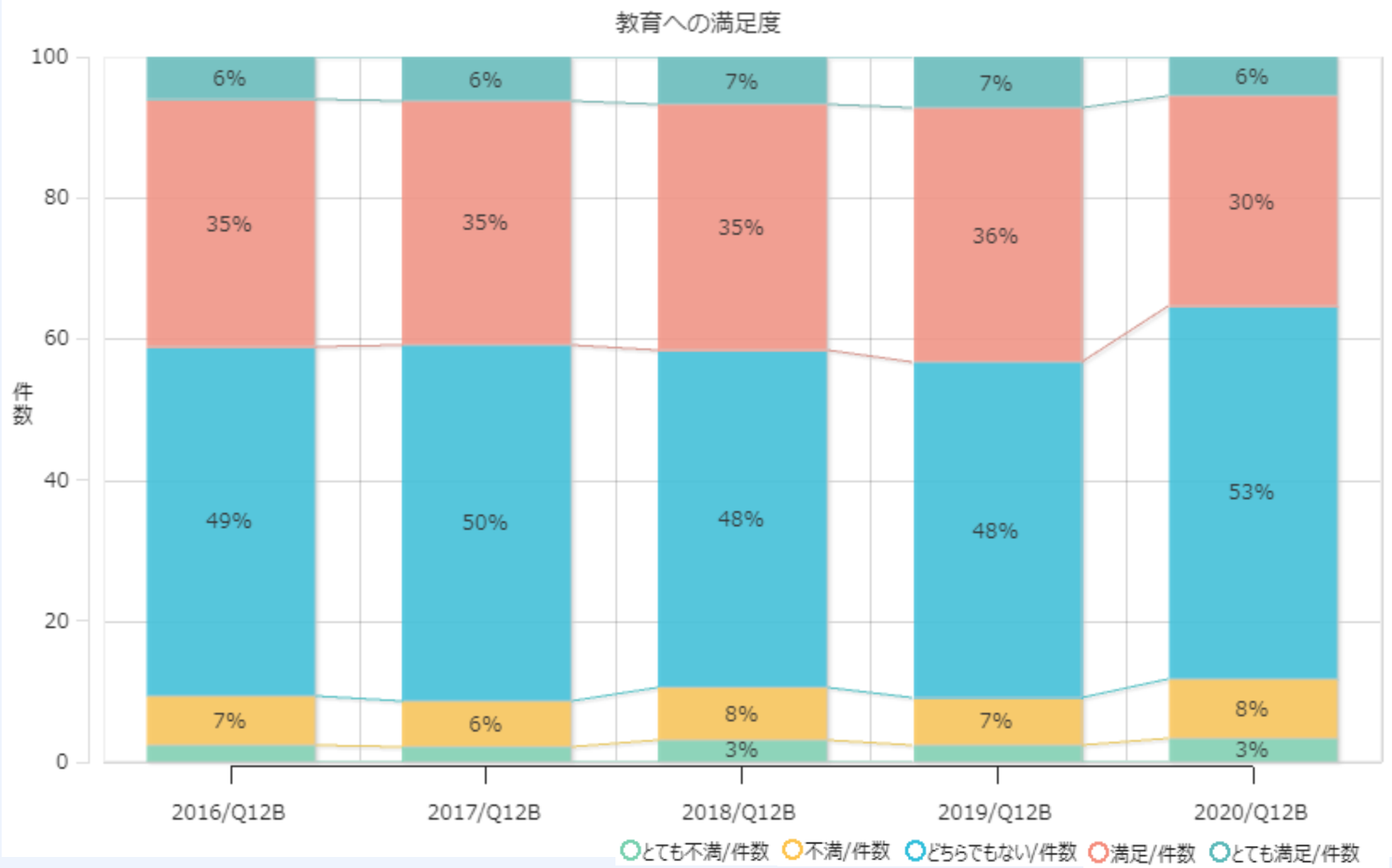
。満足層は減少しているが、その幅は想定内なのか



教育への満足度（一年生）

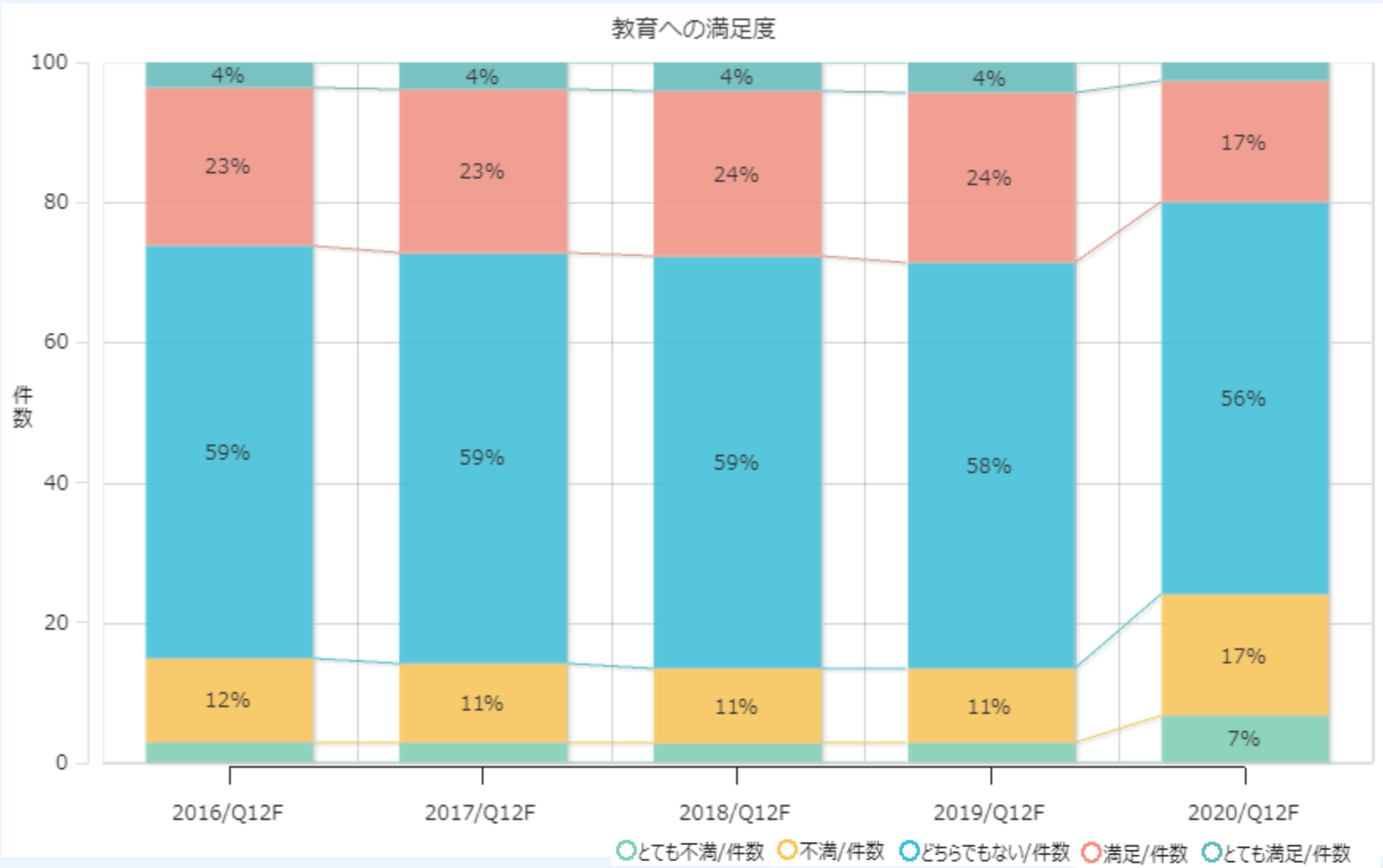
初年次生を対象とした教育プログラム内容 （フレッシュマンセミナー、基礎ゼミなど）

◦ 前項と同様



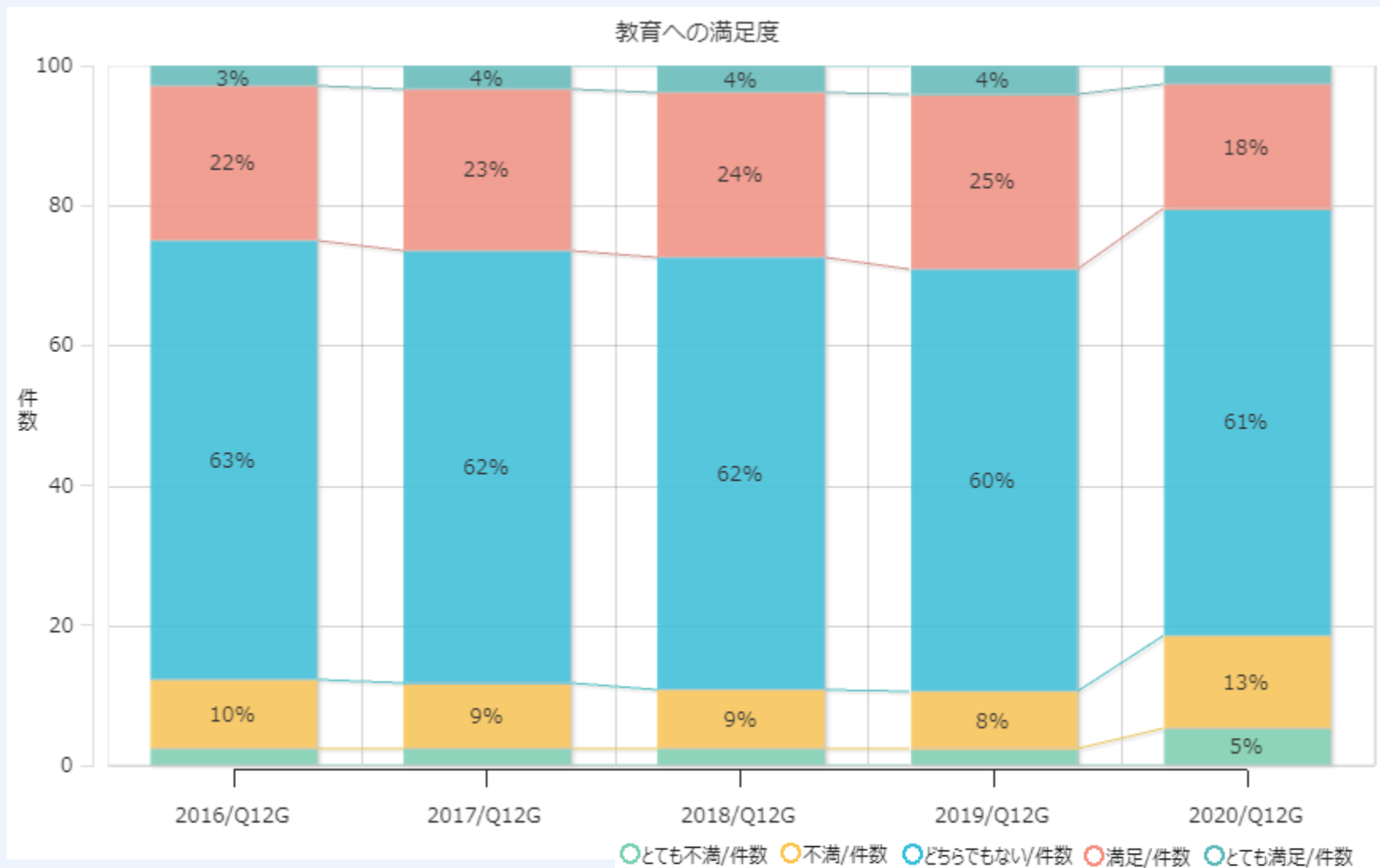
教育への満足度（一年生） 教員と話をする機会

○ 不満足層が増加



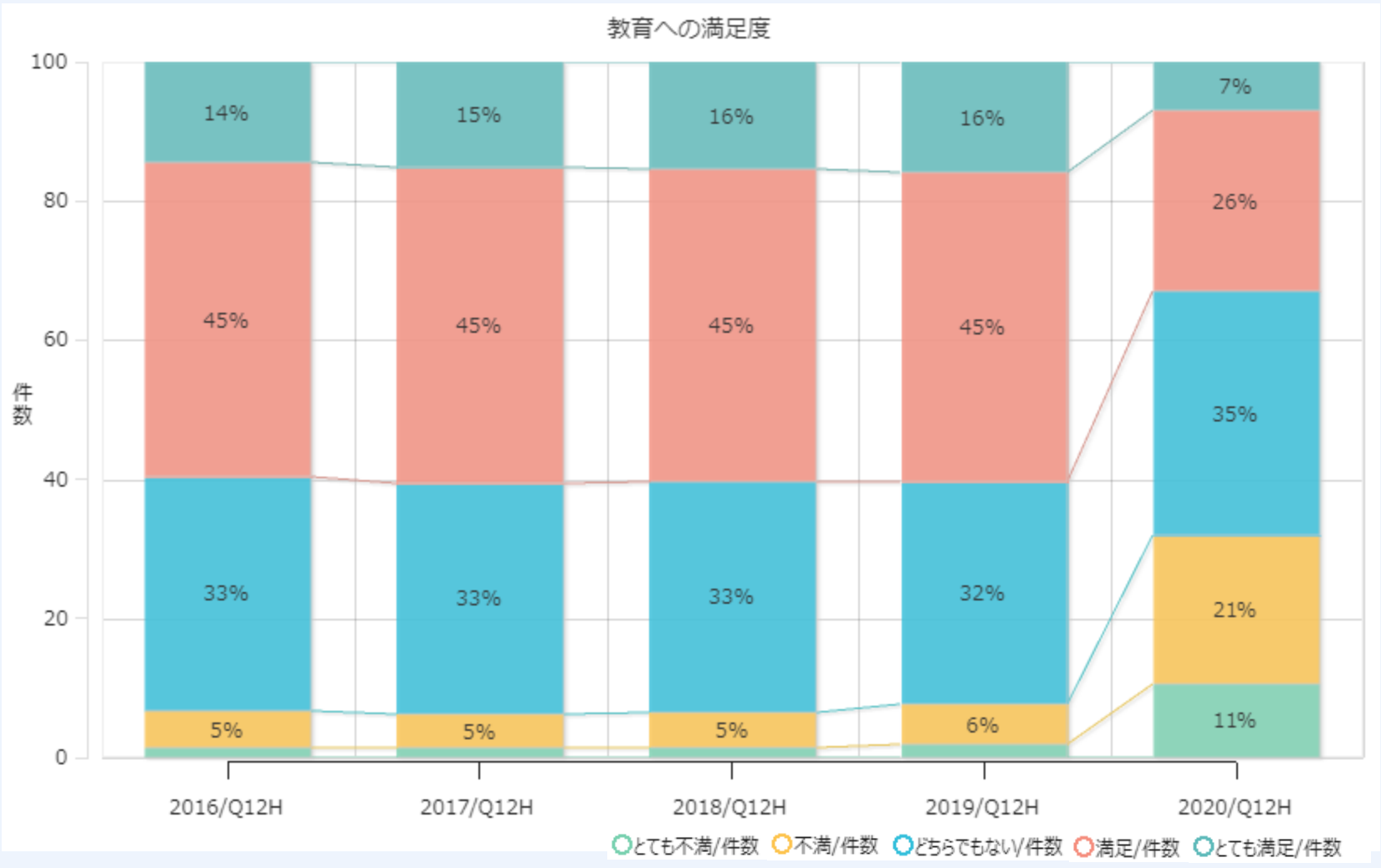
教育への満足度（一年生） 学習支援や個別の学習指導

- オンライン授業による“指導”の内容や程度の差か



教育への満足度（一年生） 他の学生と話をする機会

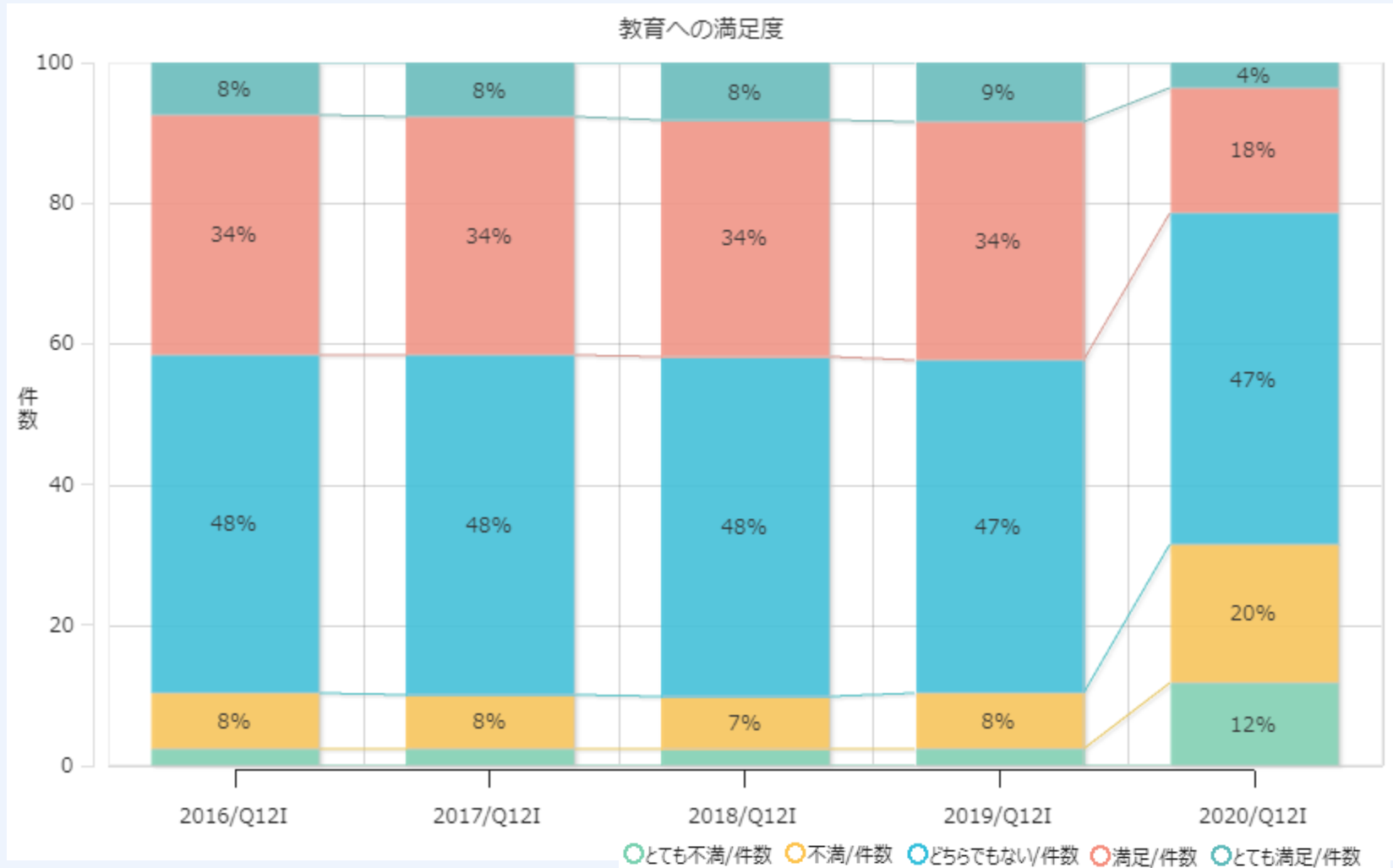
◦ 友人とのコミュニケーションへの期待に対する反動か



教育への満足度（一年生）

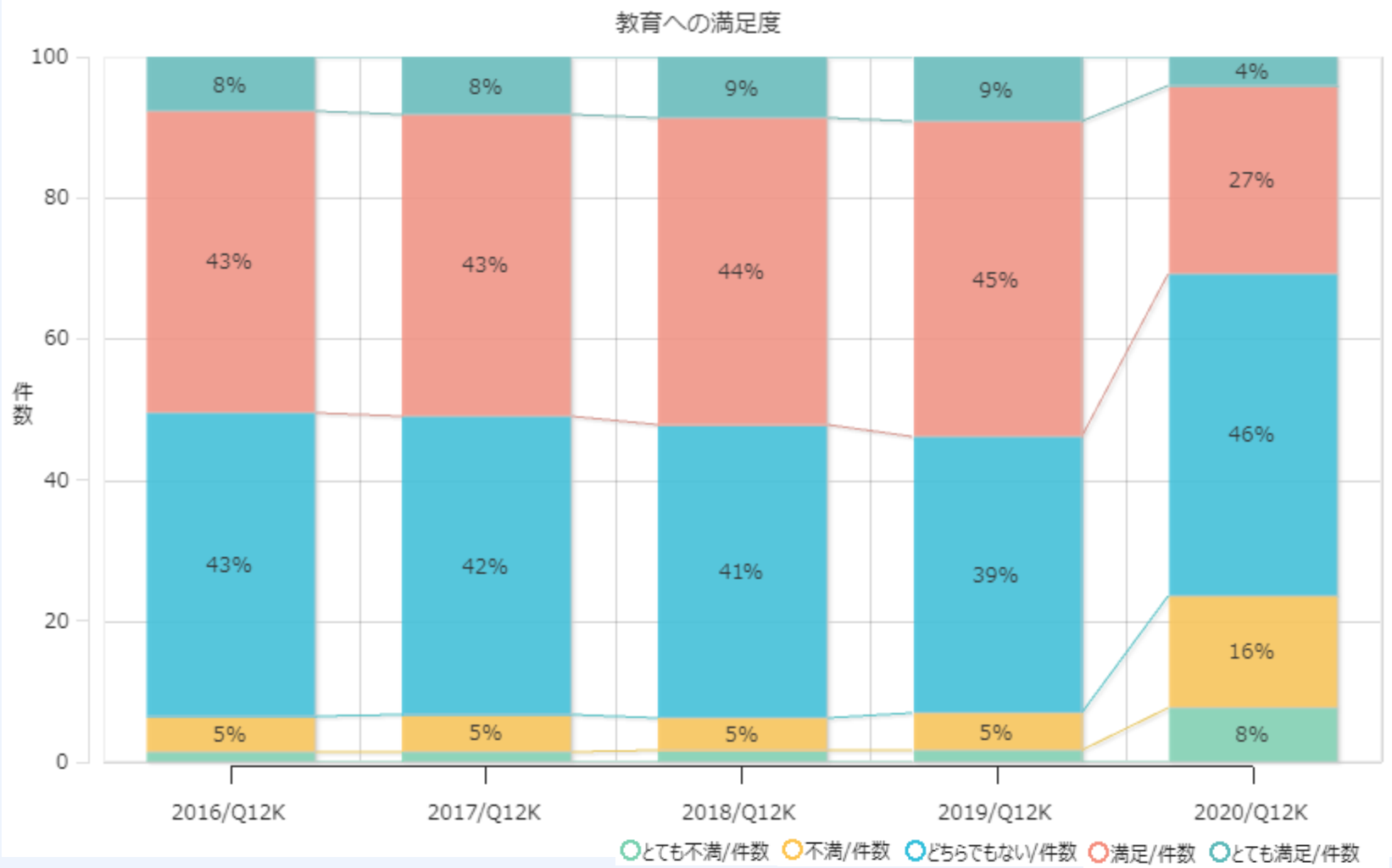
大学のなかでの学生同士の一体感

- 登学機会が減少しているため感じようがない



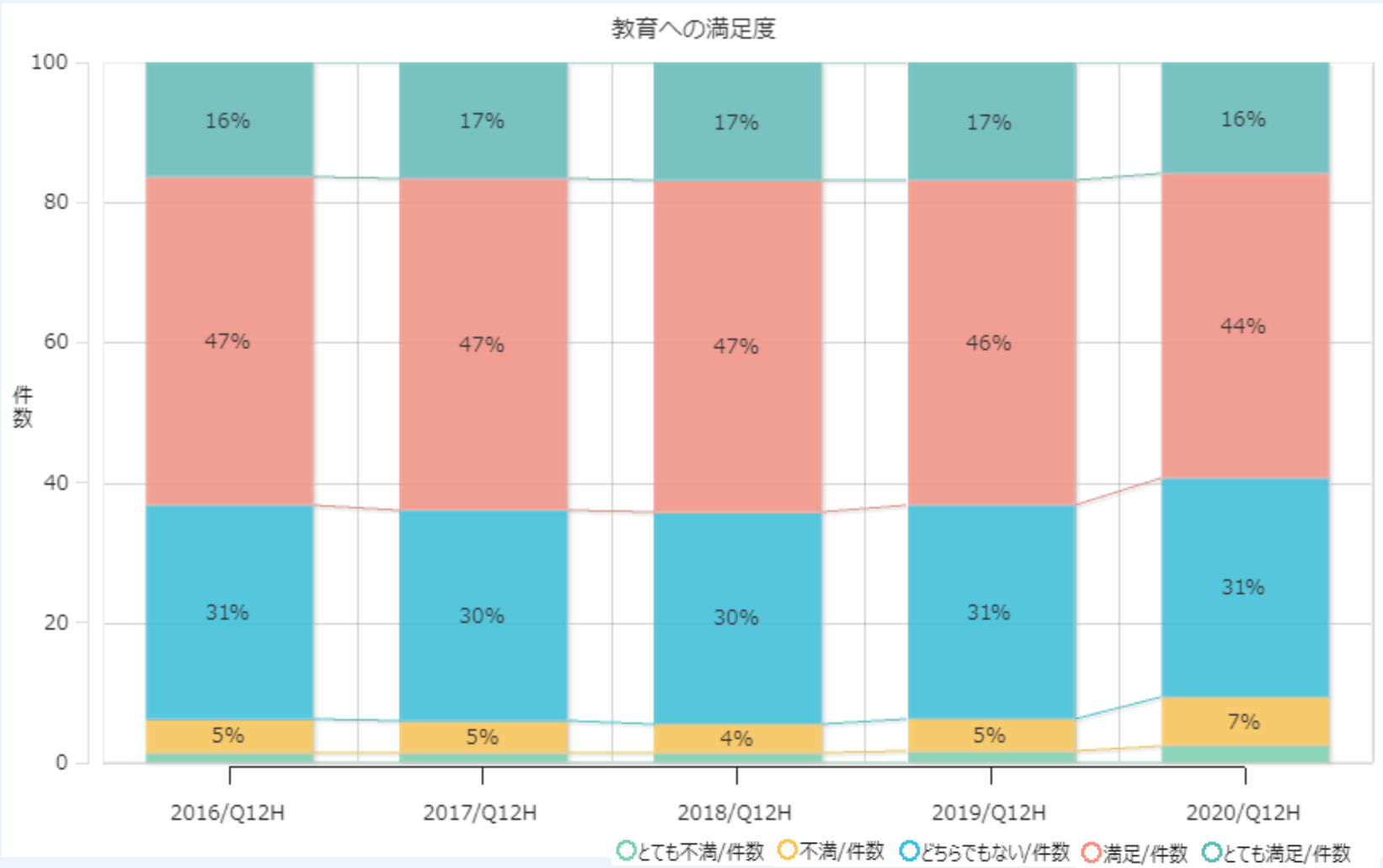
教育への満足度（一年生） 大学での経験全般について

◦ 各項目を総括するような質問なので、減少は当然の結果



教育への満足度（上級生） 他の学生と話をする機会

◦ 減少こそしているが1年生ほどではない



(9) 設備・制度への満足度

【質問項目】

- あなたは、本学の設備や学生支援制度にどの程度満足していますか。
(9項目の質問)

【まとめ】

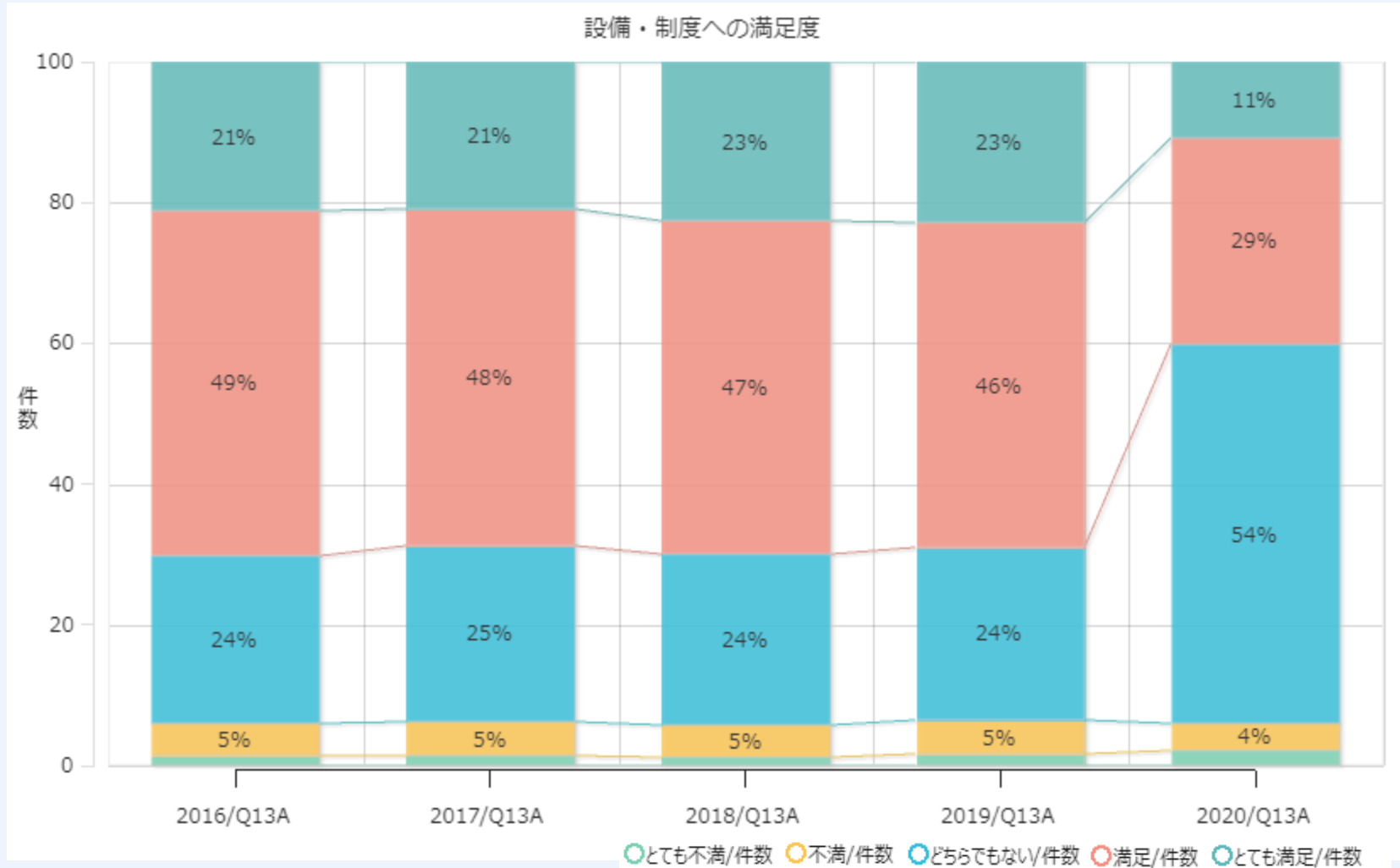
	1年生	上級生
図書館の設備（蔵書やレファレンスサービス）	↓	
実験室の設備や器具	↓	
コンピュータの施設や設備	↓	
コンピュータの訓練や援助	↓	
インターネットの使いやすさ	↓	
健康・保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談）	↓	
レクリエーション施設（ジムの設備など）	↓	
キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	↓	

1年生の設備への満足度では、図書館、実験、IT設備、IT支援、インターネット、保険サービス、レクリエーション設備、キャリアカウンセリングで低下した。上級生には大きな変化はない。

設備・制度への満足度（一年生）

図書館の設備（蔵書やレファレンスサービス）

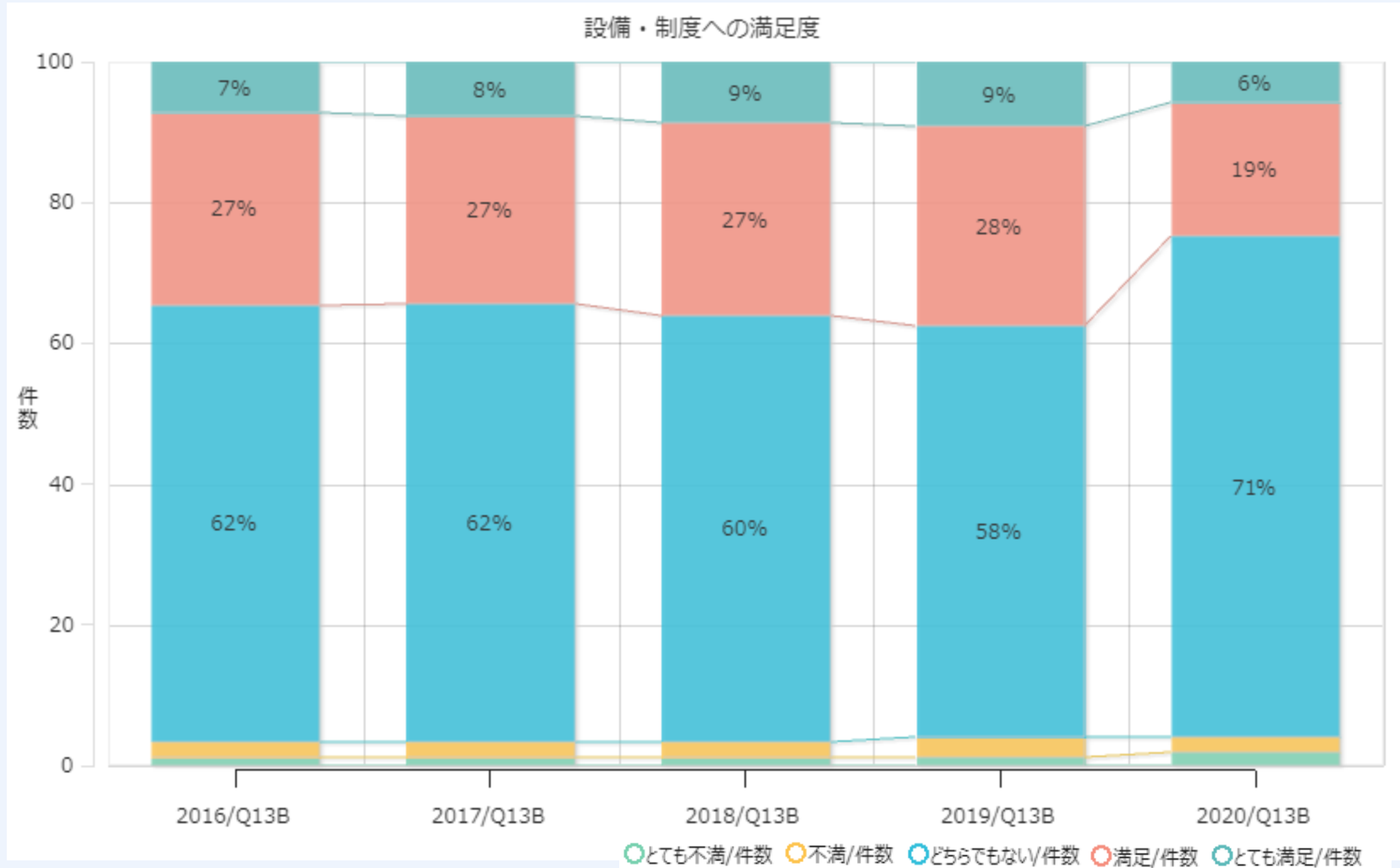
- どちらでもないが増加 = 利用できていないと考えられる



設備・制度への満足度（一年生）

実験室の設備や器具

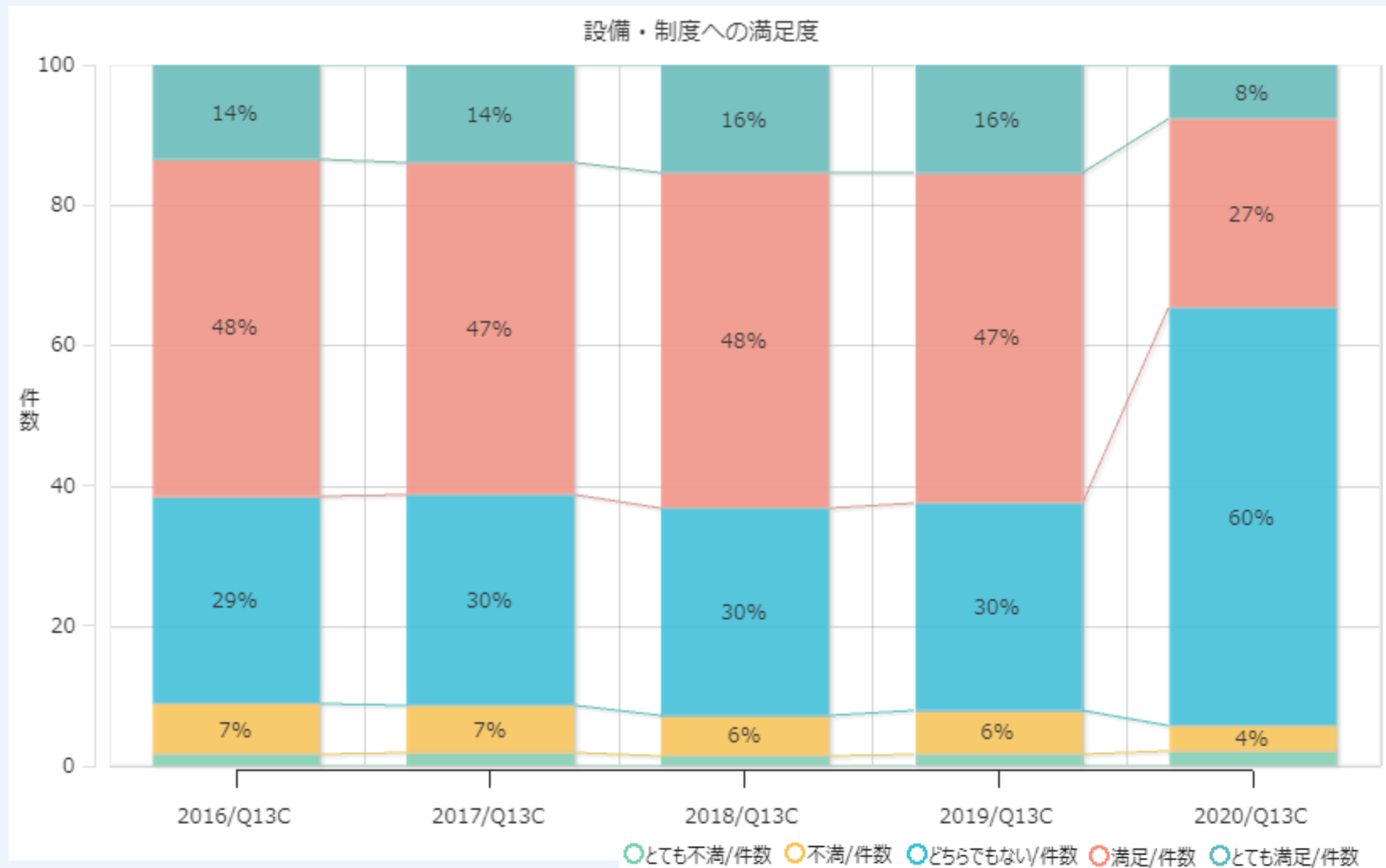
- 前項同様、どちらでもないが増加＝利用できていない



設備・制度への満足度（一年生）

コンピュータの施設や設備

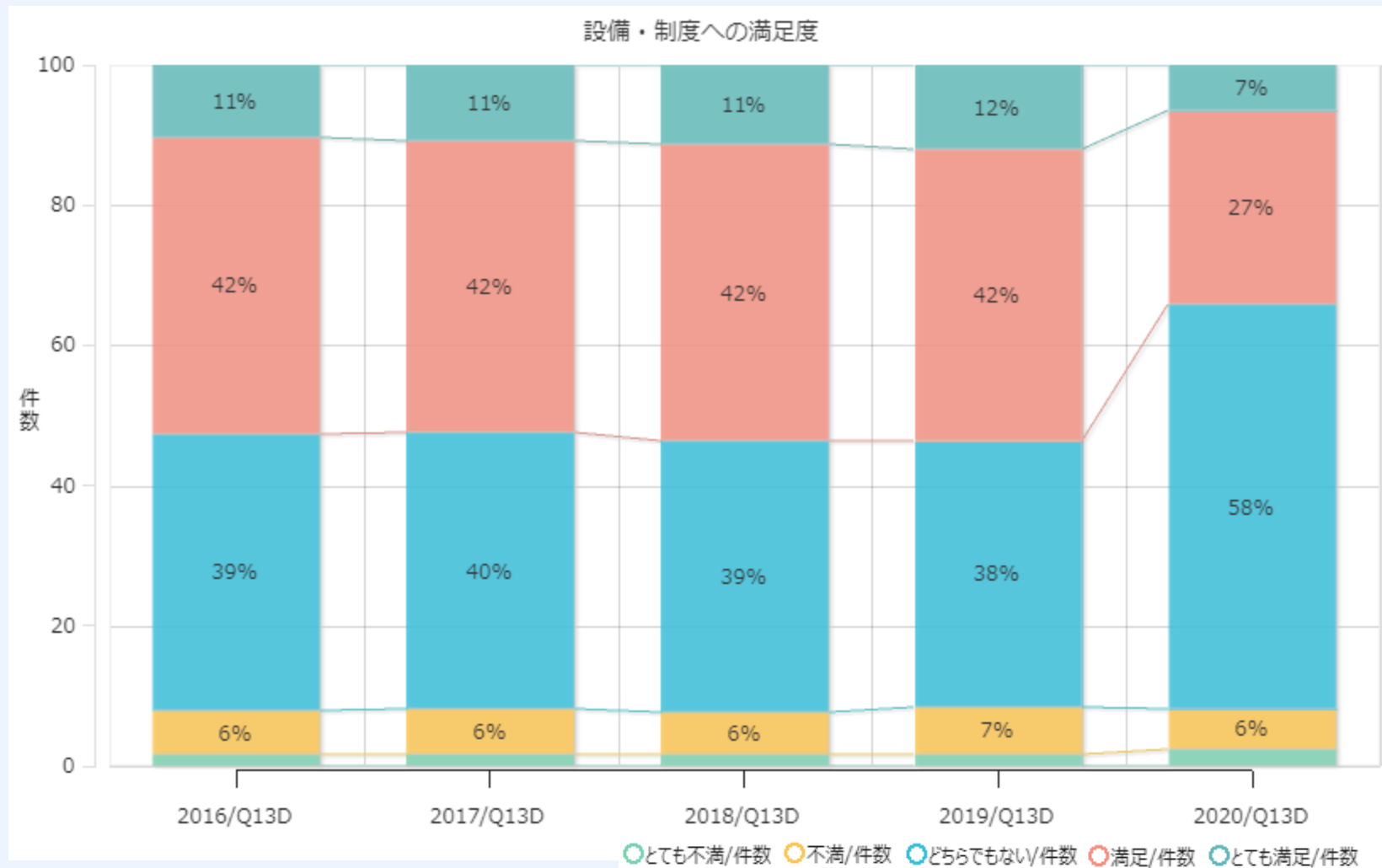
- 前項同様、どちらでもないが増加＝利用できていない



設備・制度への満足度（一年生）

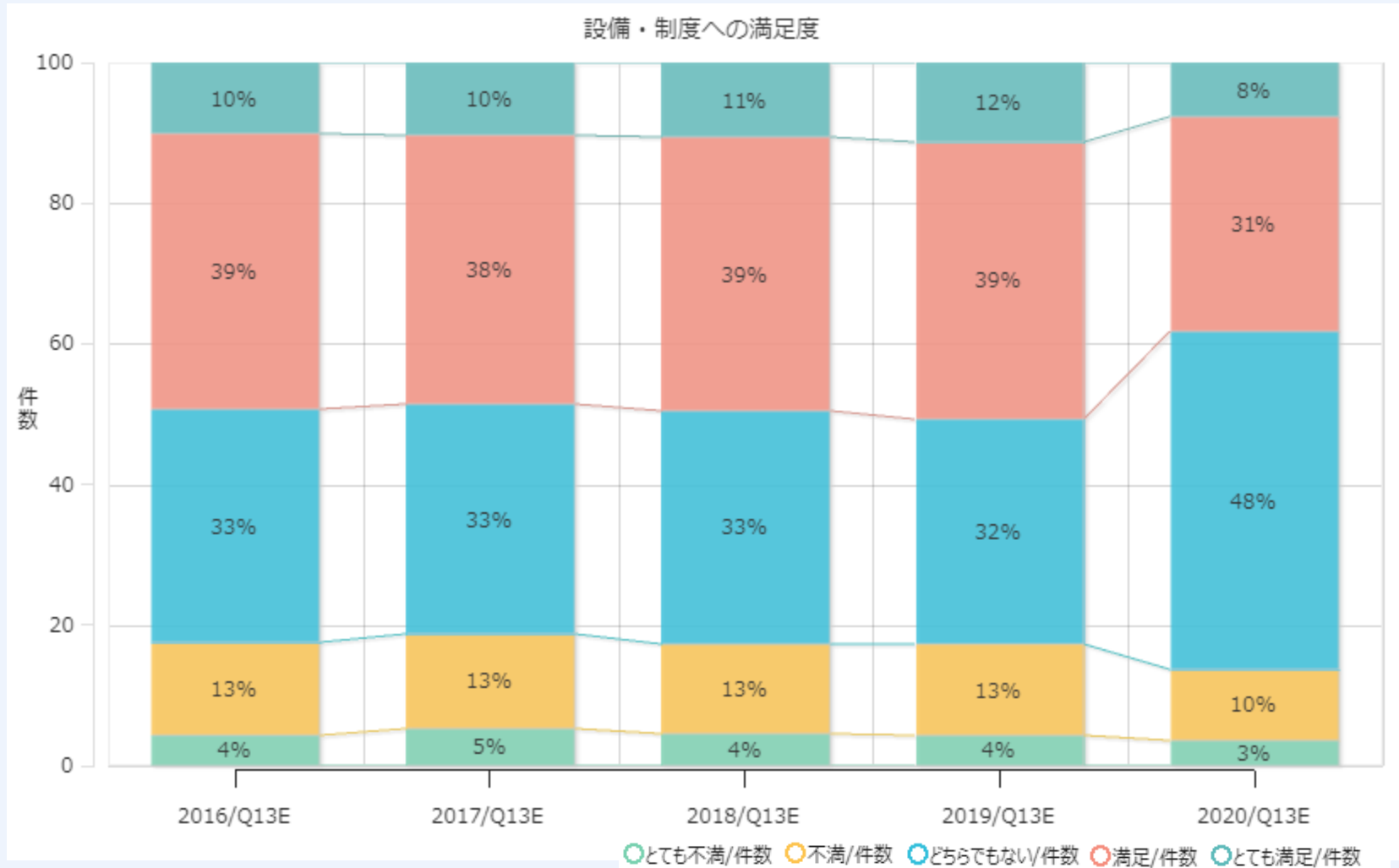
コンピュータの訓練や援助

- 前項同様、どちらでもないが増加＝利用できていない



設備・制度への満足度（一年生） インターネットの使いやすさ

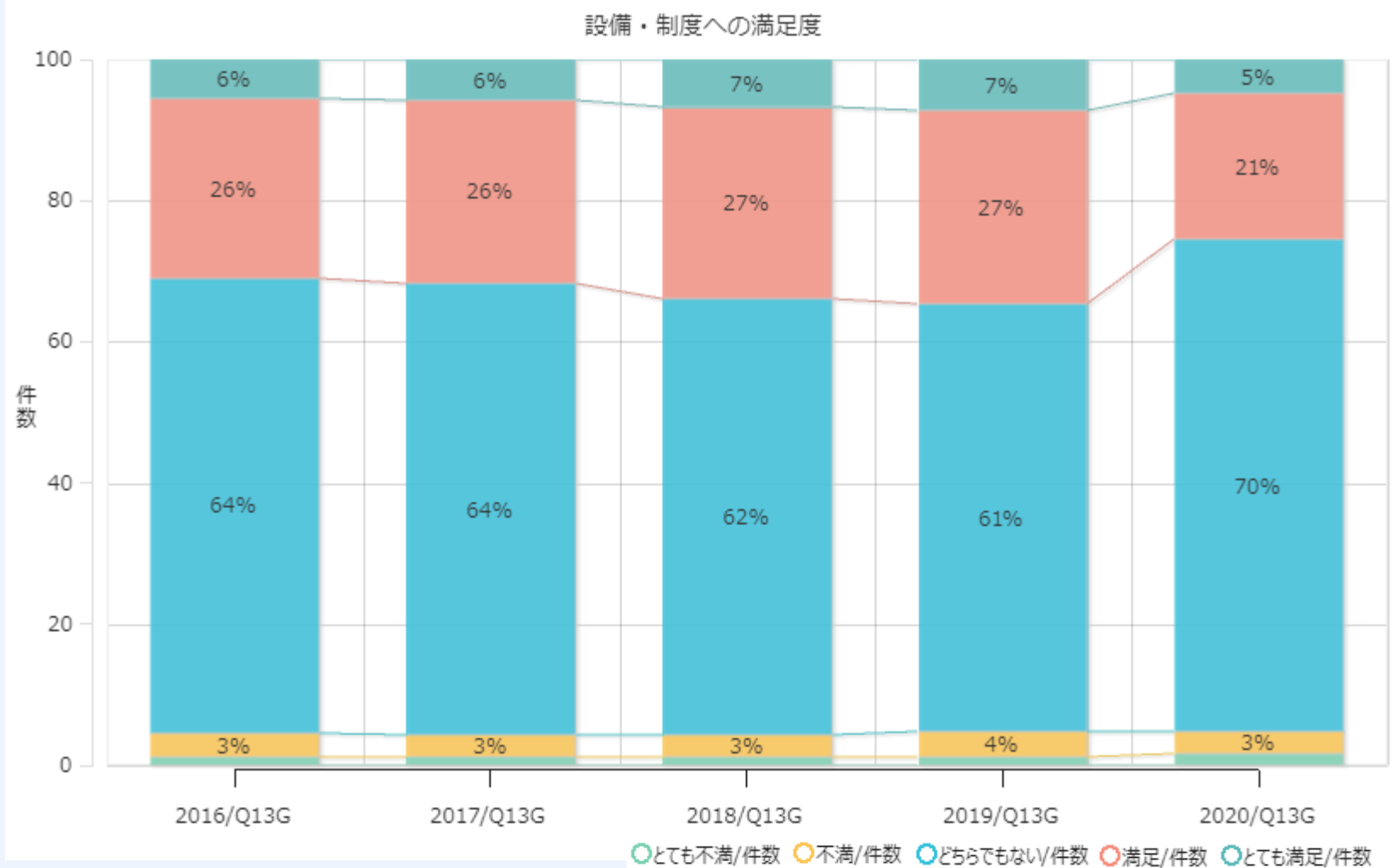
- どちらでもないが増加、「大学」or「自宅」が区別できず



設備・制度への満足度（一年生）

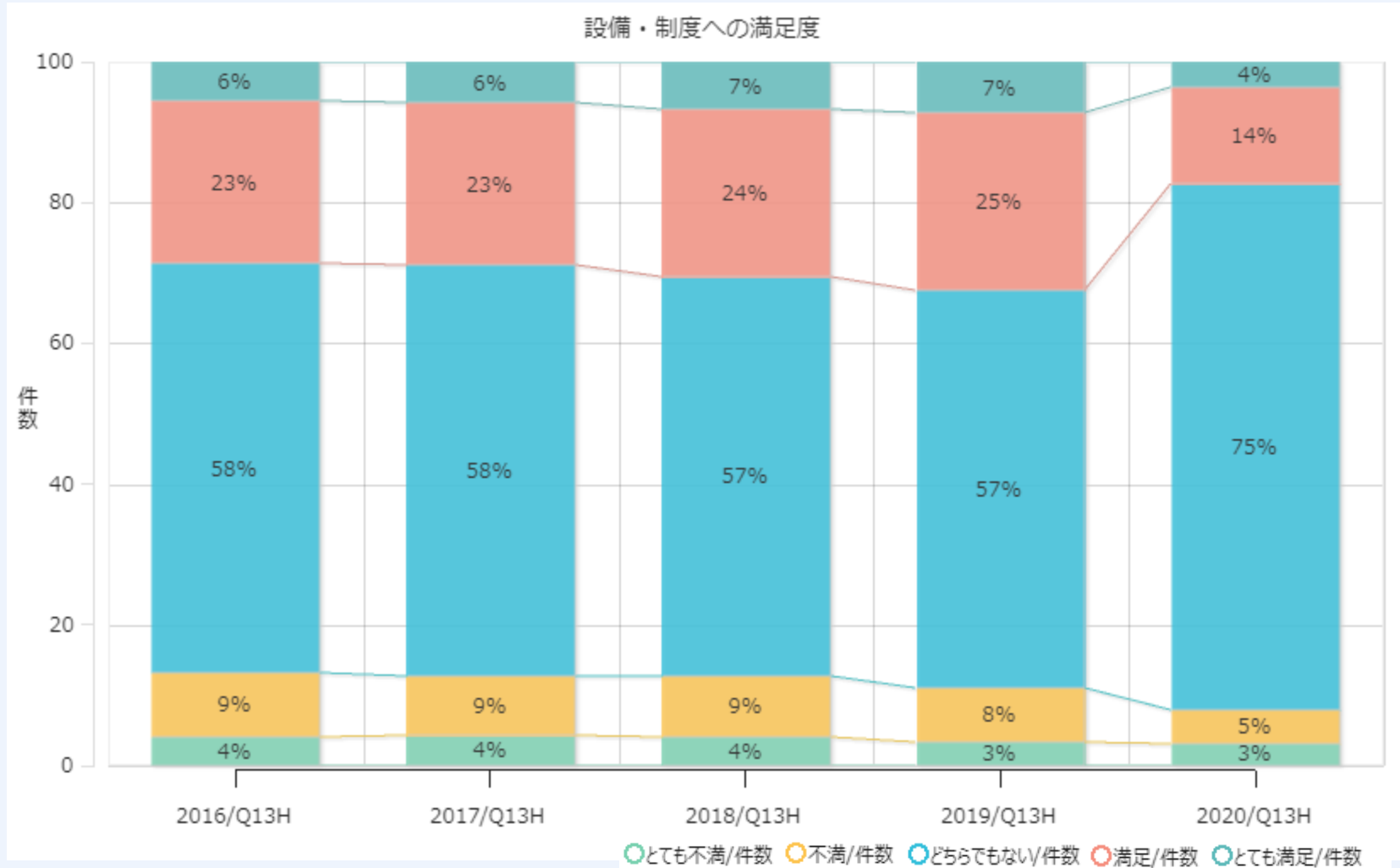
健康・保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談）

- 誰もが利用する項目ではないが、例年との差がある



設備・制度への満足度（一年生） レクリエーション施設（ジムの設備など）

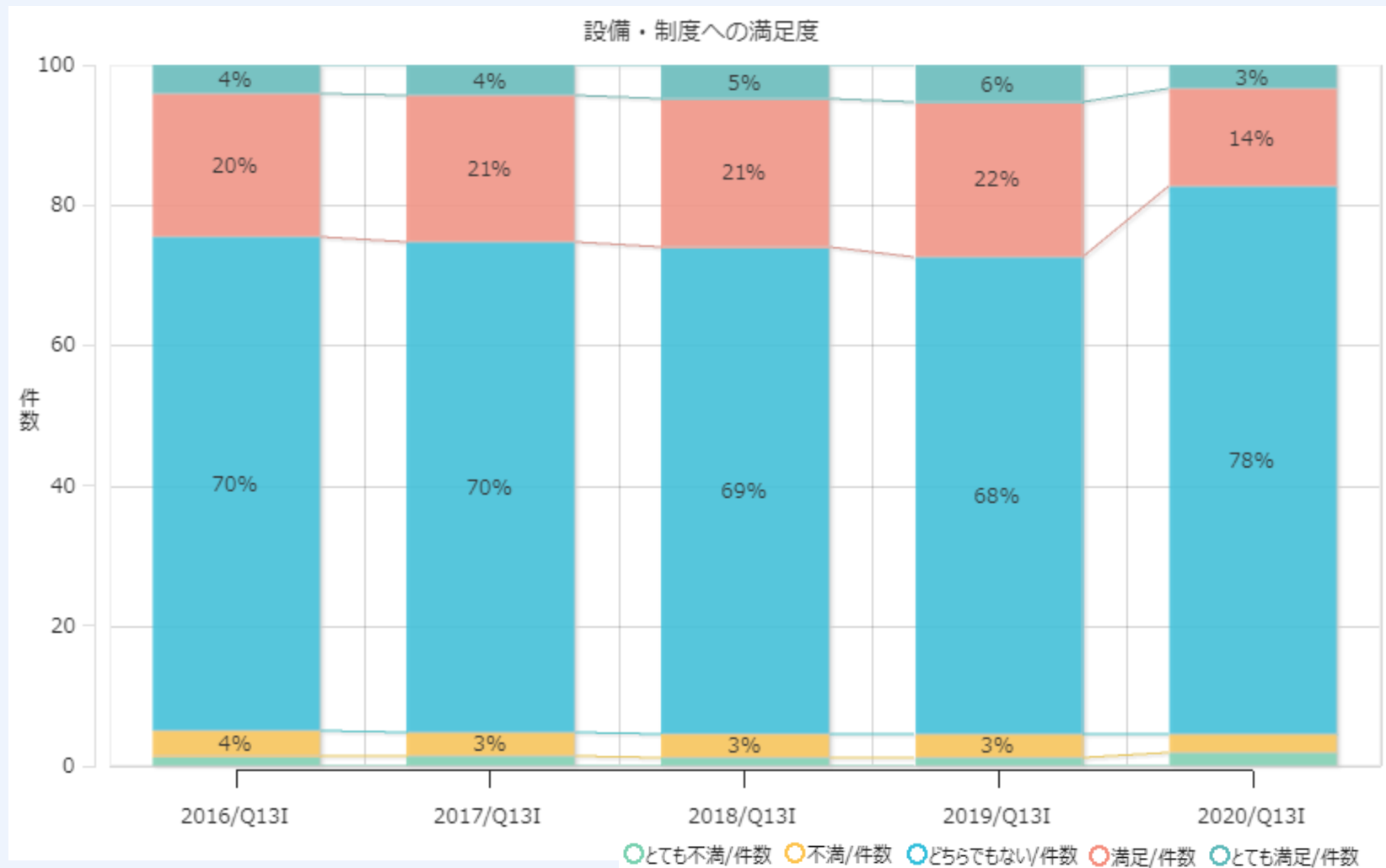
- 他項同様、どちらでもないが増加＝利用できていない



設備・制度への満足度（一年生）

キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）

- 初年次としての利用頻度は高くないが、例年との差はある



(10) 能力の変化（教育成果の自己評価に関する比較）

【質問項目】

- 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。（20項目の質問）

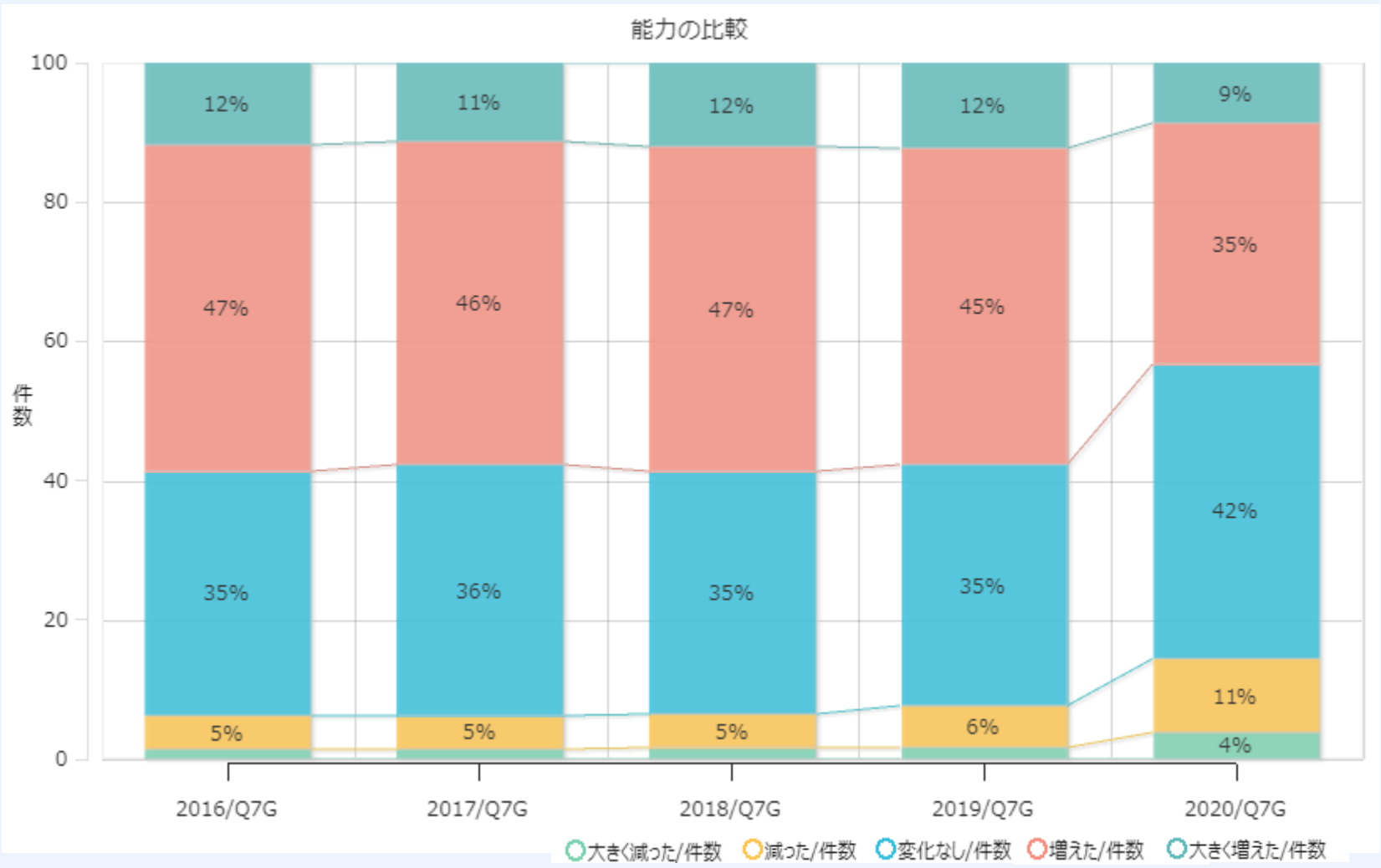
【まとめ】

	1年生	上級生
人間関係を構築する能力	↓	↓
他の人と協力して物事を遂行する能力	↓	↓
文章表現の能力	↑	↑
コミュニケーションの能力	↓	↓
プレゼンテーションの能力	↓	↓
コンピュータの操作能力	↑	↑

1年生の能力に関しては、人間関係の構築、協力して作業する、コミュニケーション力、プレゼンテーション力が低下し、一方で文書能力とコンピュータを扱う能力は増大した。上級生もほぼ類似の傾向であった。

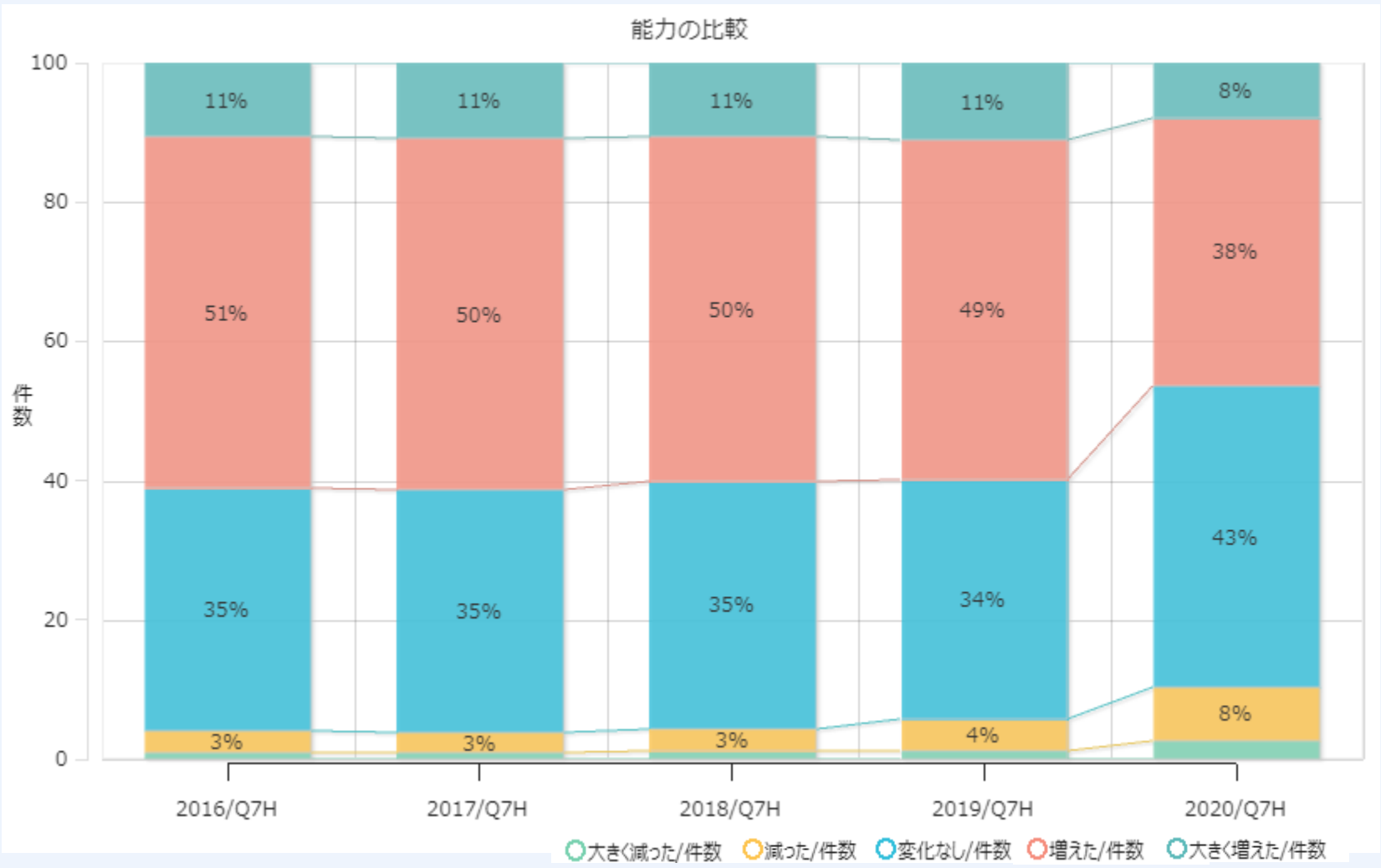
能力の変化（一年生） 人間関係を構築する能力

。経験する機会の減少により、全般的に能力減と評価



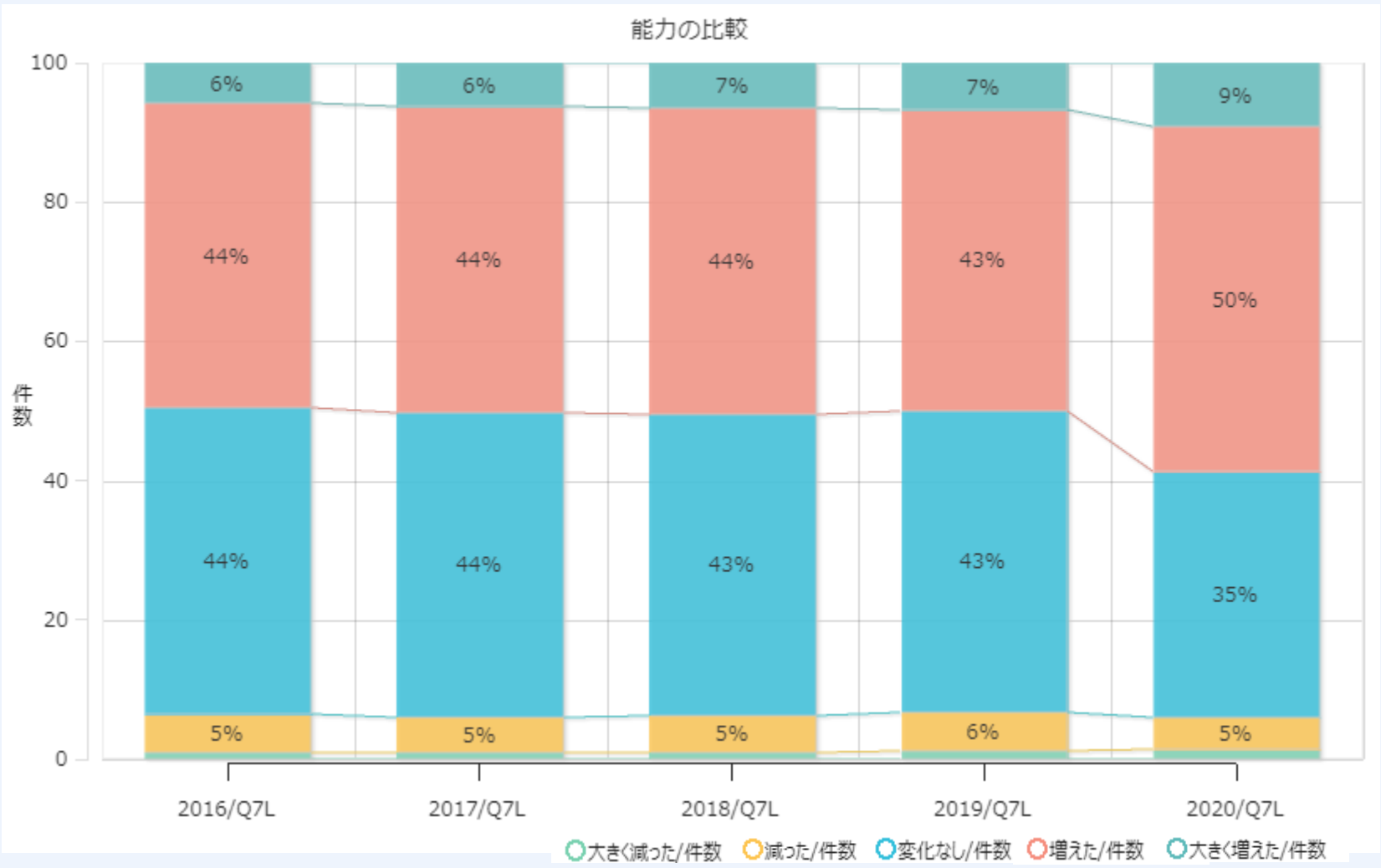
能力の変化（一年生） 他の人と協力して物事を遂行する能力

◦ 前項同様、経験する機会の減少により、全般的に能力減



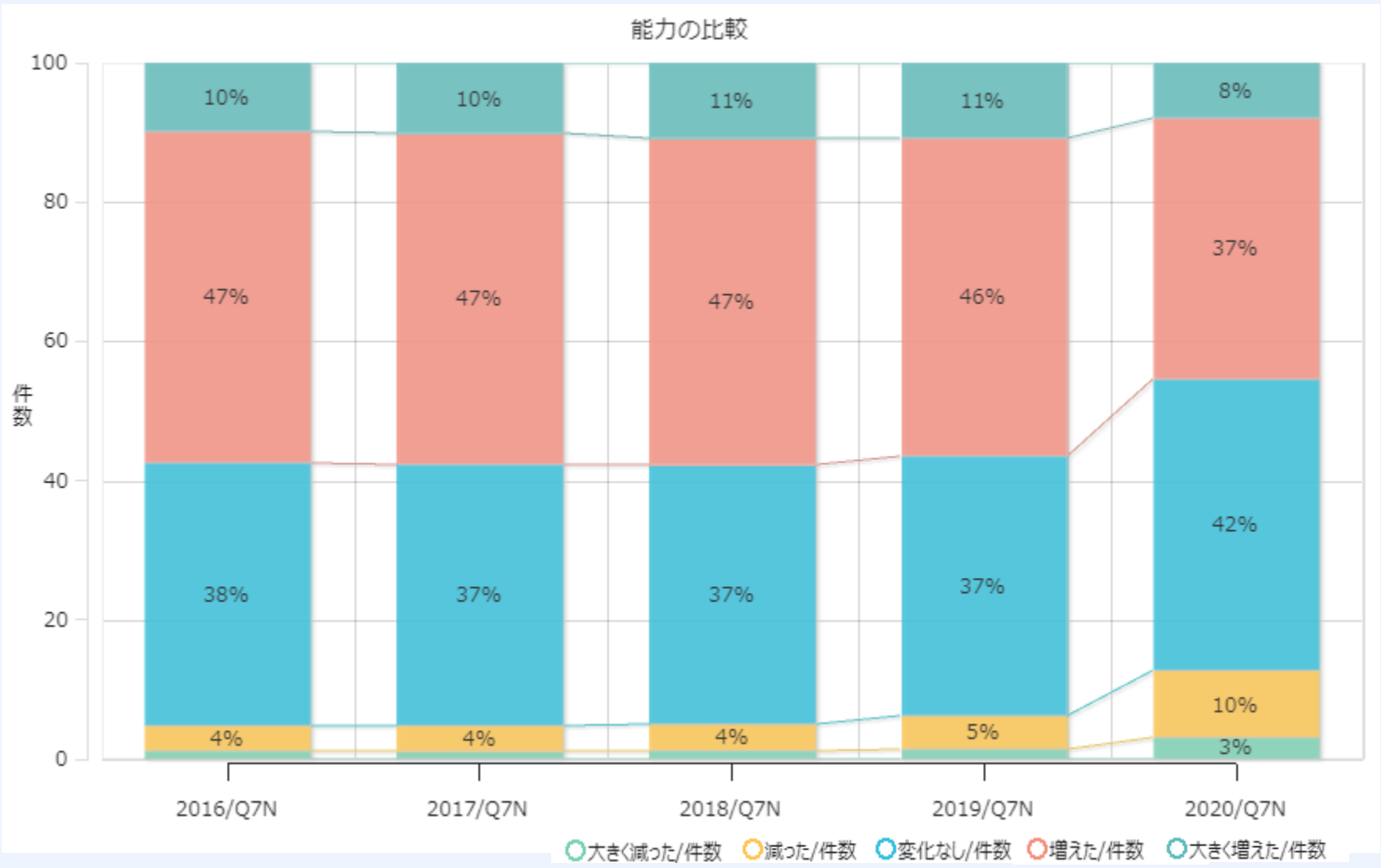
能力の変化（一年生） 文章表現の能力

。オンライン授業で課題に取り組んだことが影響か



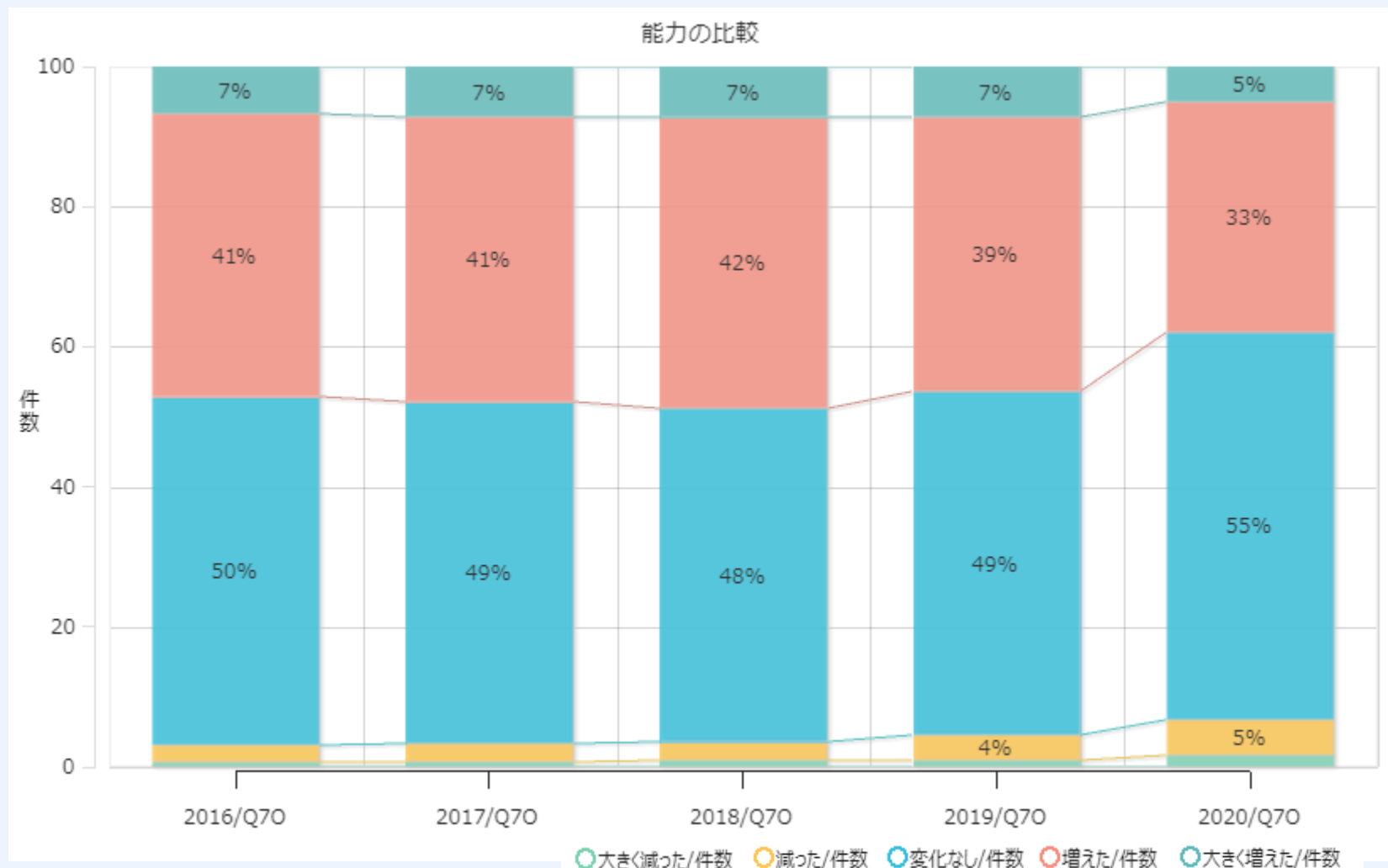
能力の変化（一年生） コミュニケーションの能力

◦ 他項同様、経験する機会の減少により、全般的に能力減



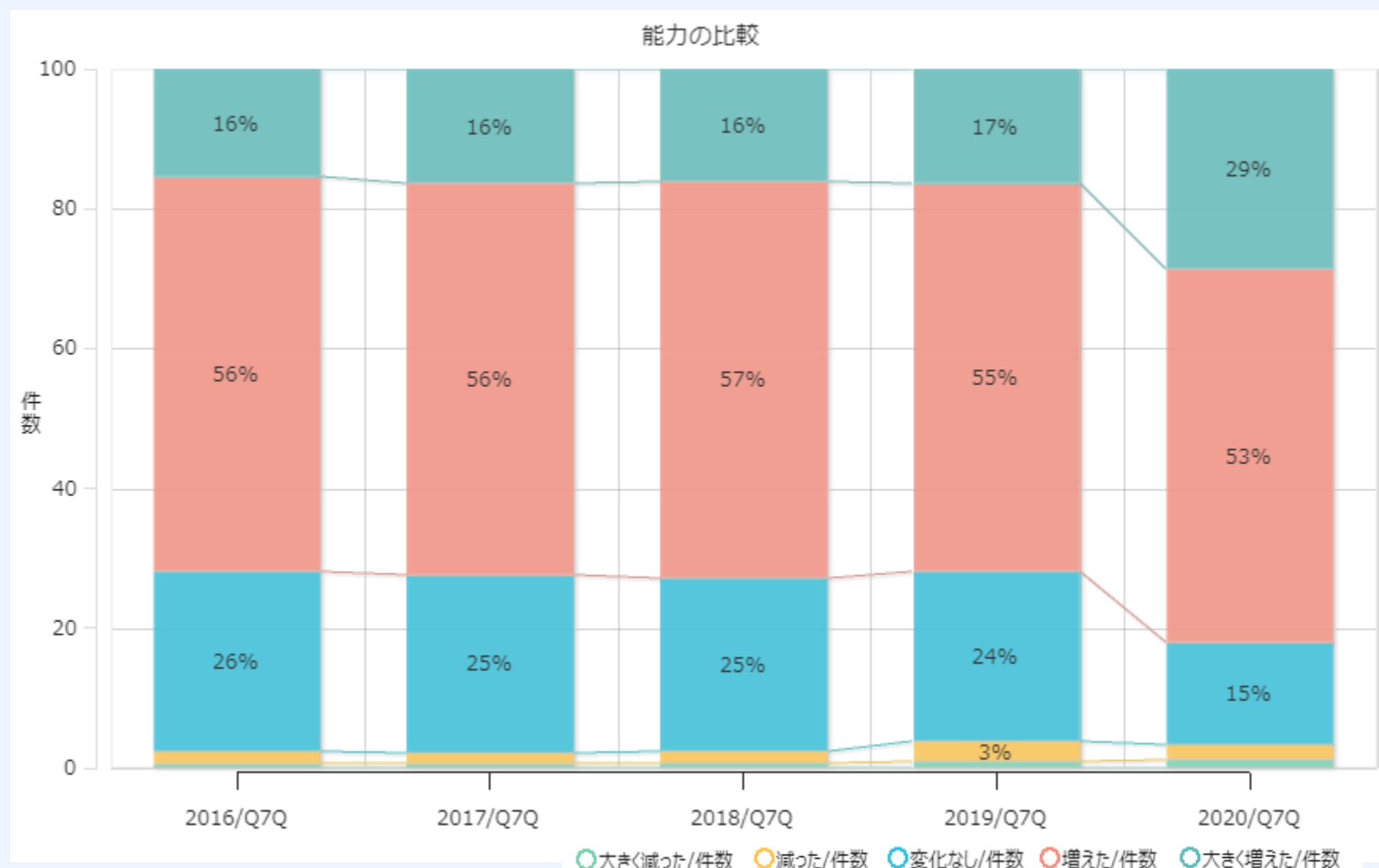
能力の変化（一年生） プレゼンテーションの能力

- 他項同様、経験する機会の減少により、全般的に能力減



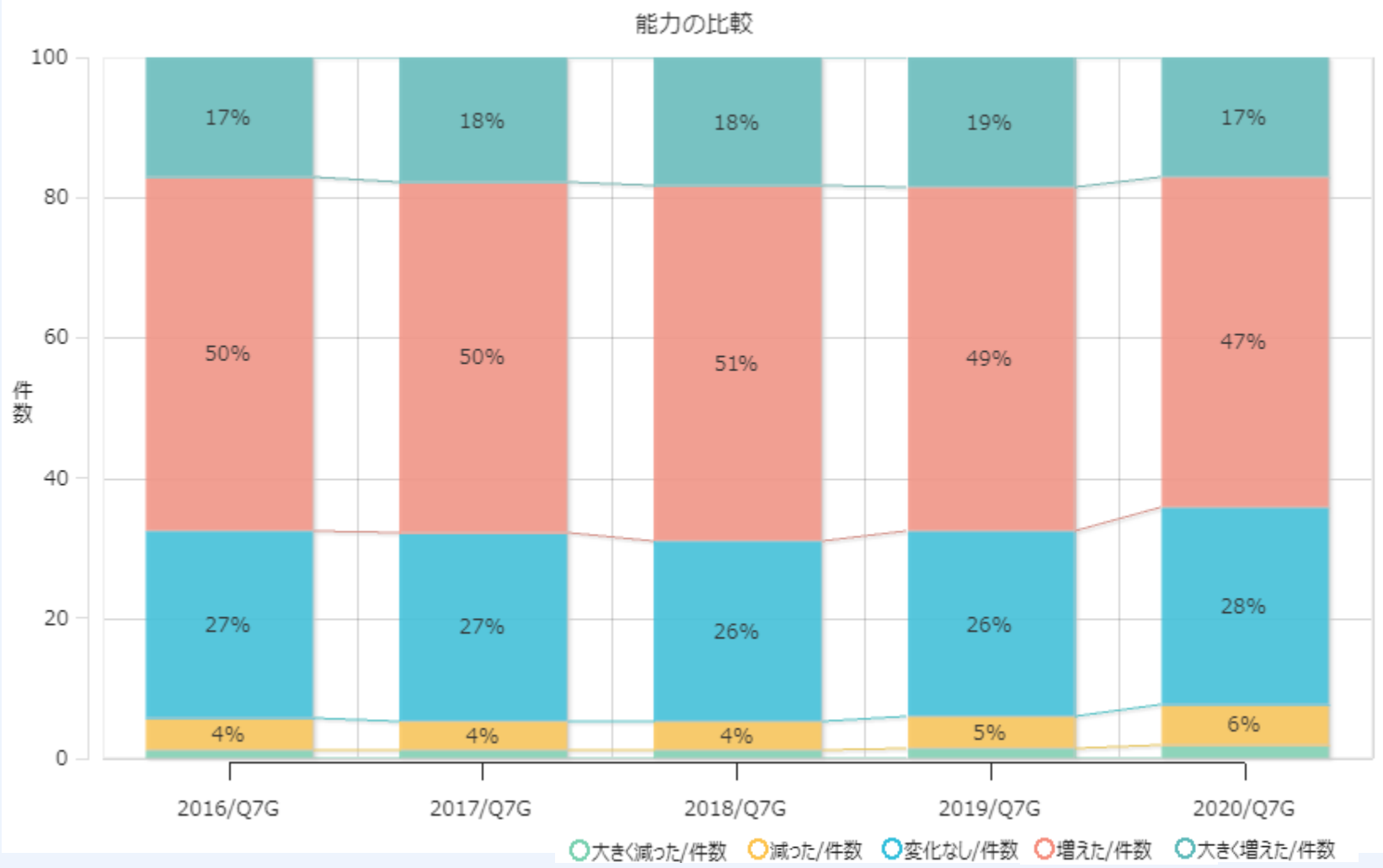
能力の変化（一年生） コンピュータの操作能力

。オンライン授業に取り組んだことが影響か



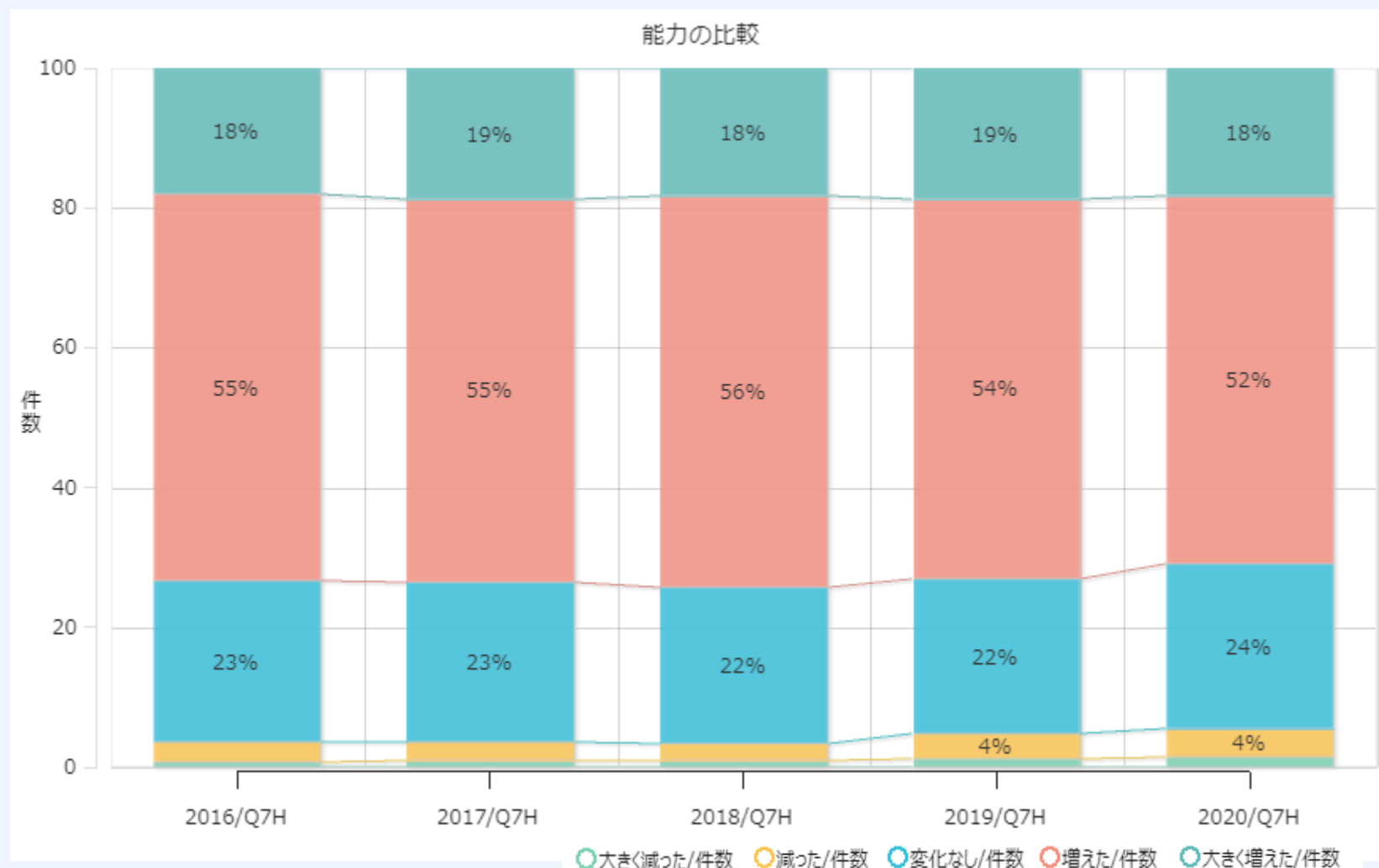
能力の変化（上級生） 人間関係を構築する能力

◦ 1年生ほどではないが、減少傾向



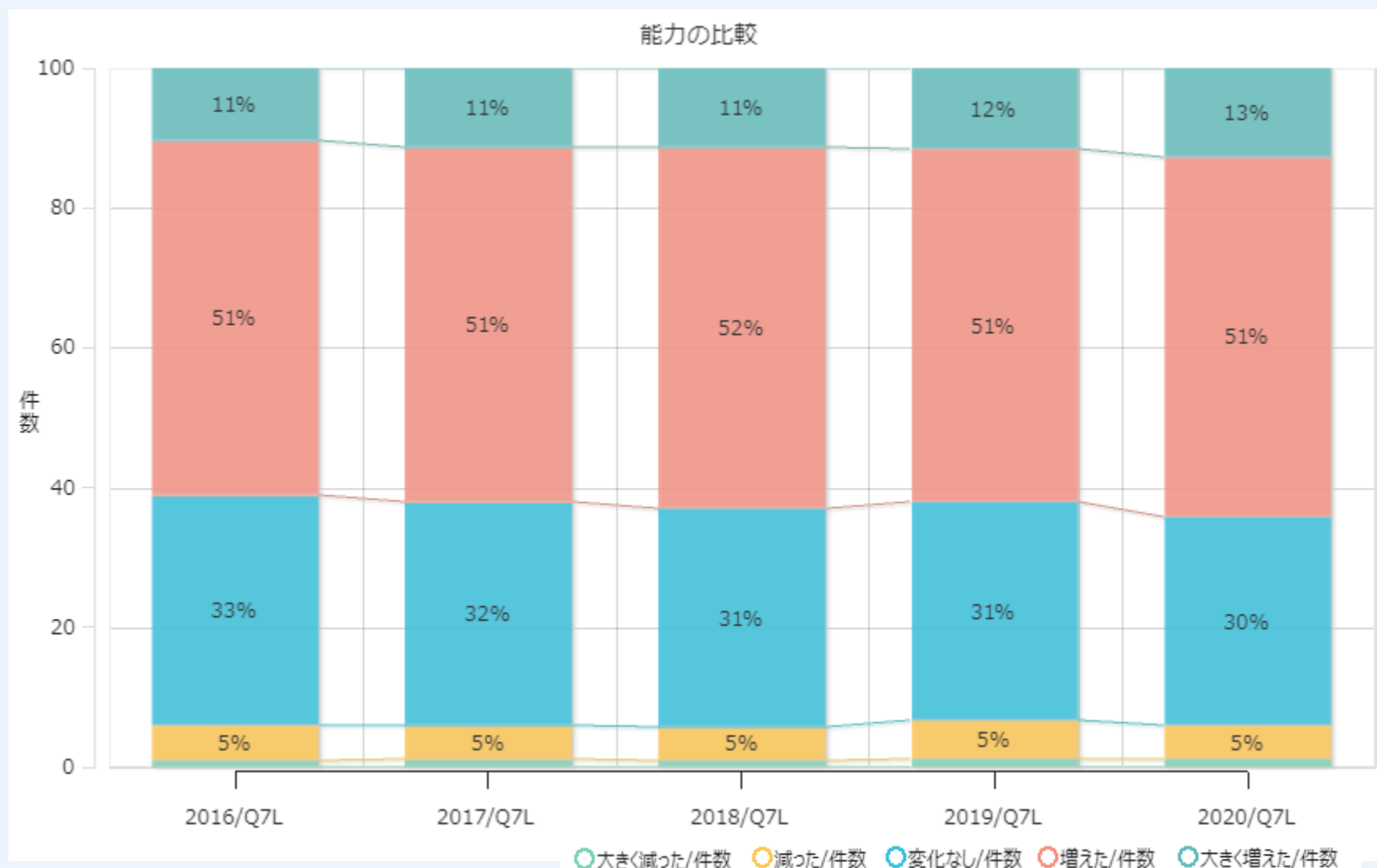
能力の変化（上級生） 他の人と協力して物事を遂行する能力

- 前項同様、1年生ほどではないが、減少傾向



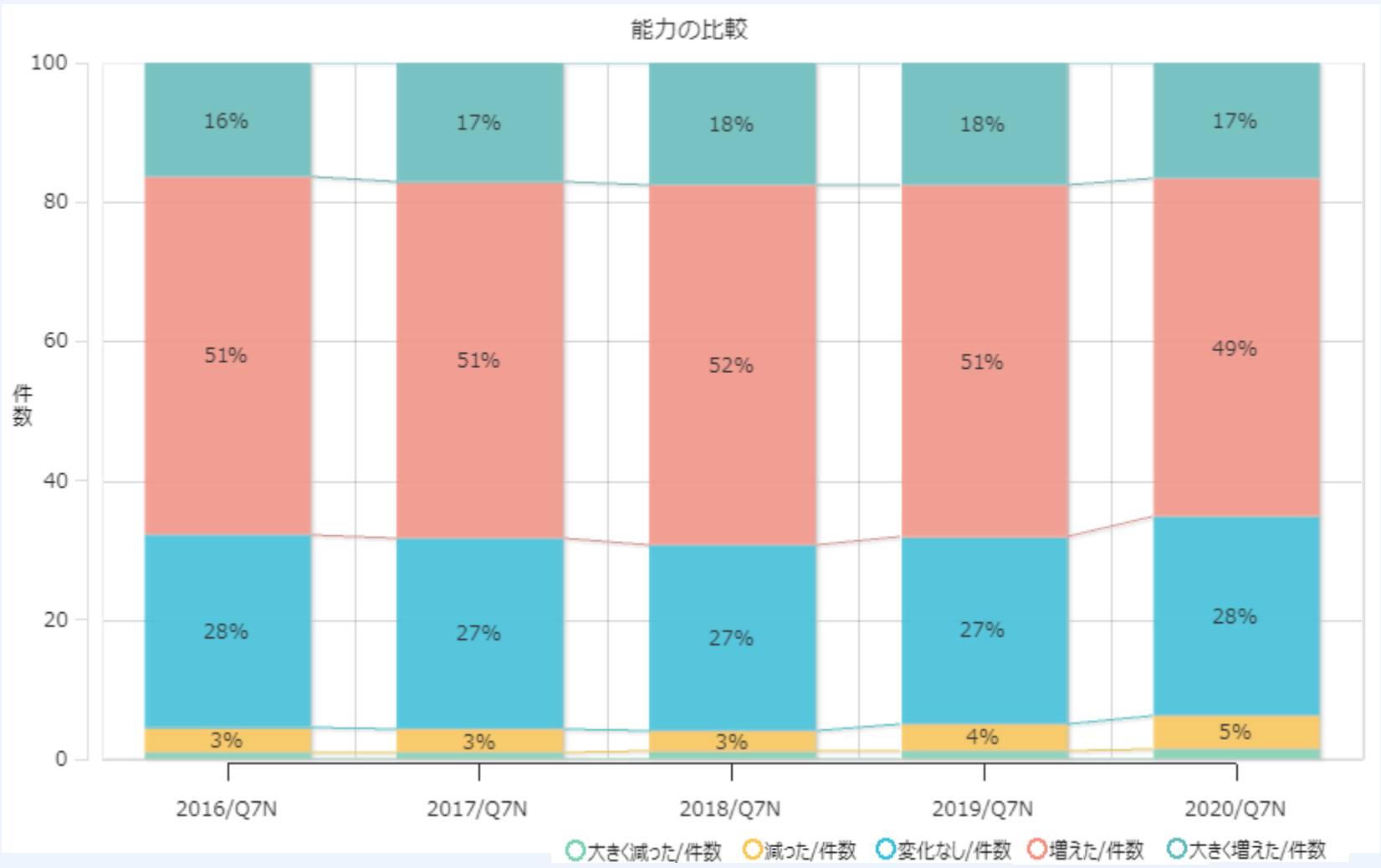
能力の変化（上級生） 文章表現の能力

◦ 1年生ほどではなく、微増



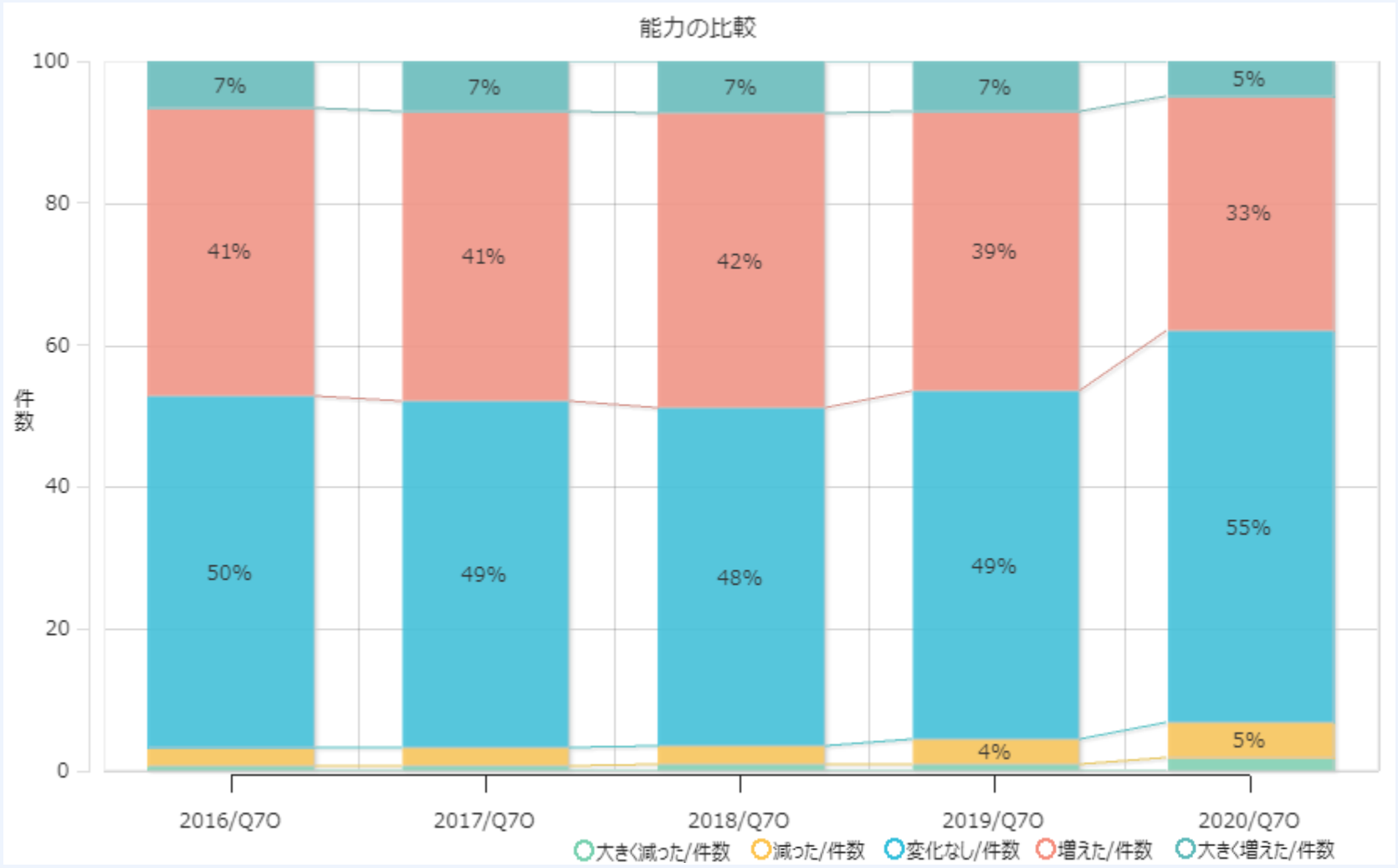
能力の変化（上級生） コミュニケーションの能力

◦ 前項同様、1年生ほどではないが、減少傾向



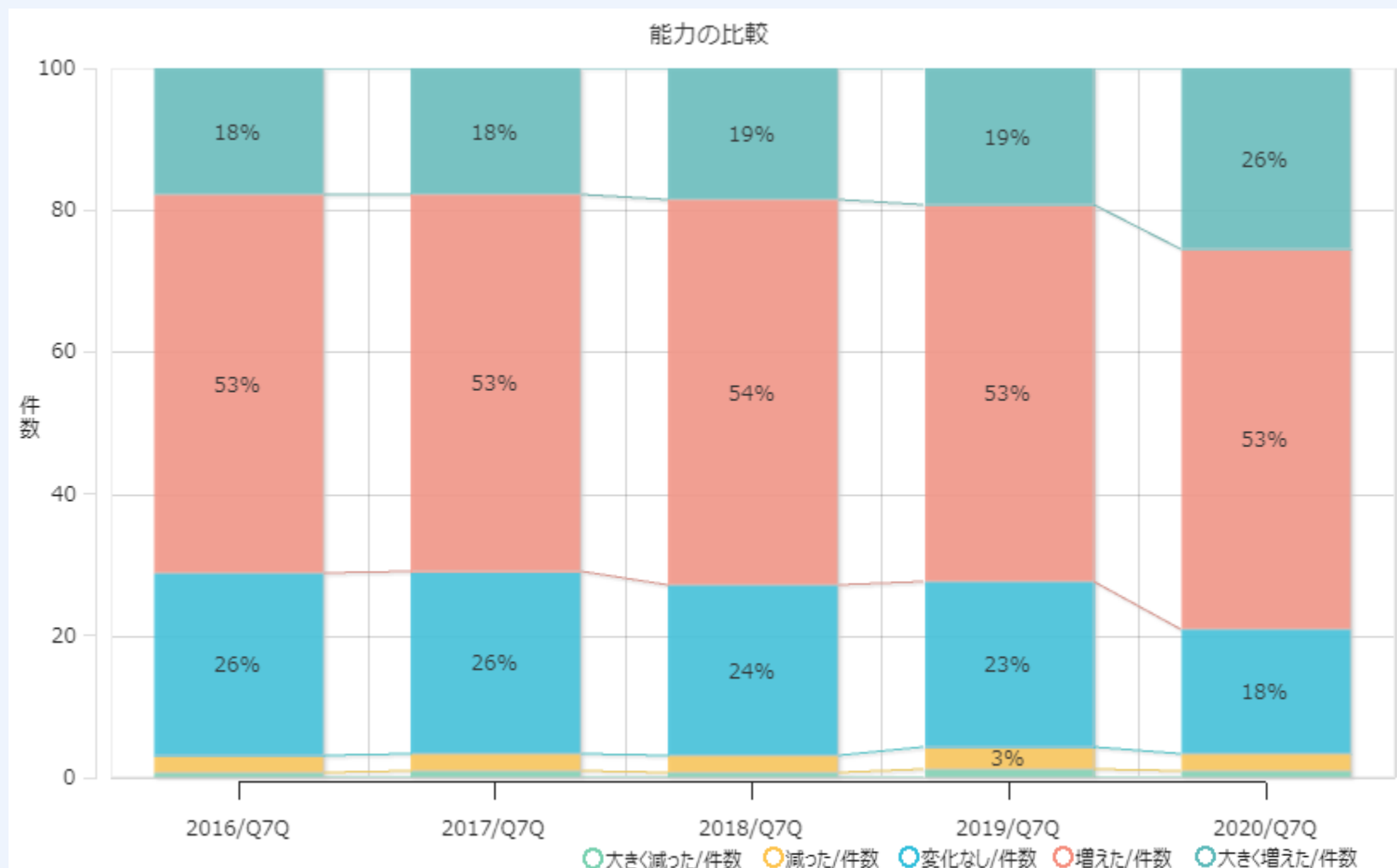
能力の変化（上級生） プレゼンテーションの能力

◦ 前項同様、1年生ほどではないが、減少傾向



能力の変化（上級生） コンピュータの操作能力

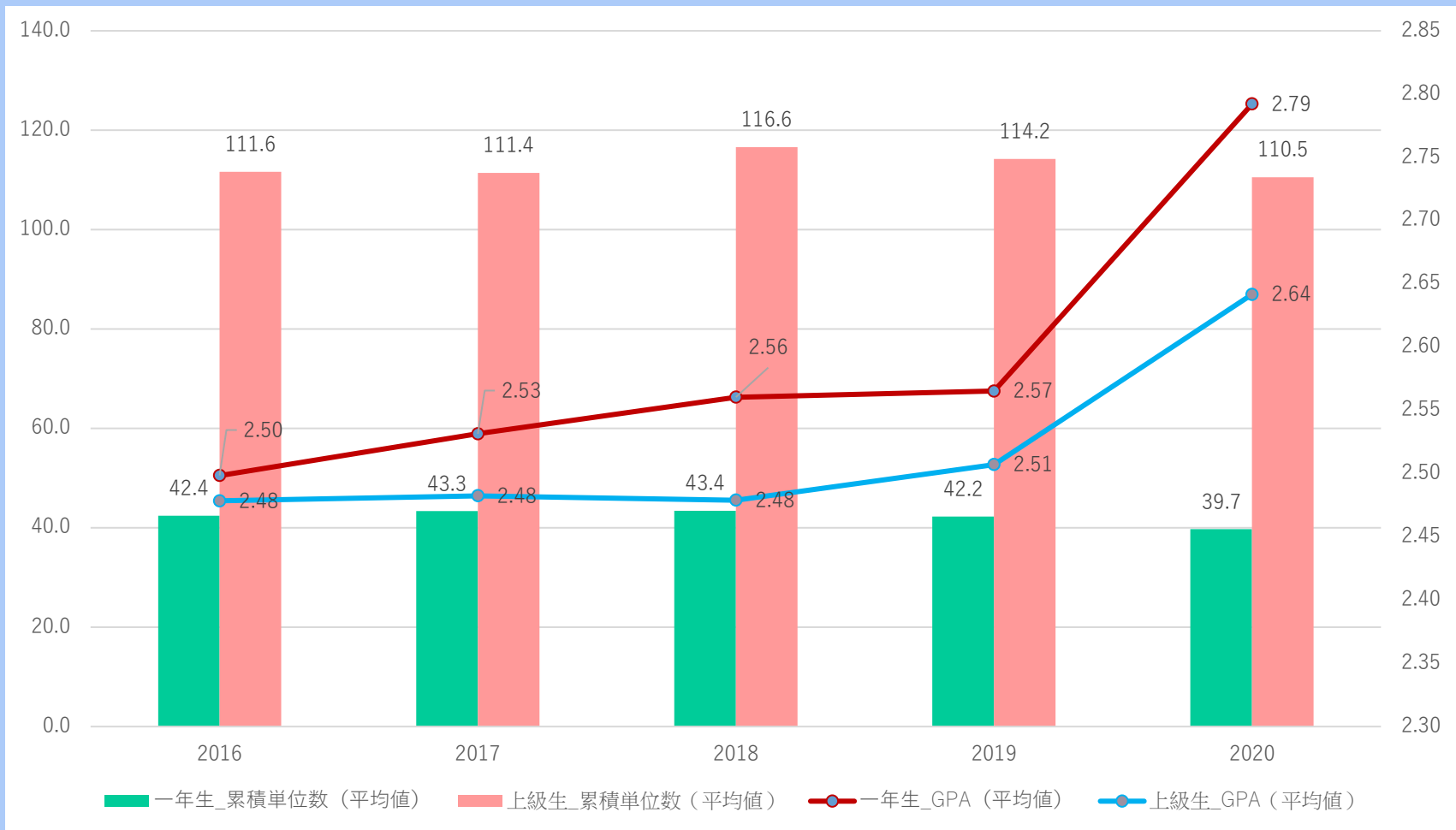
- 1年生ほどではないが、増加傾向



(11) クロス集計（共通調査データと学生データ(教務情報等)）

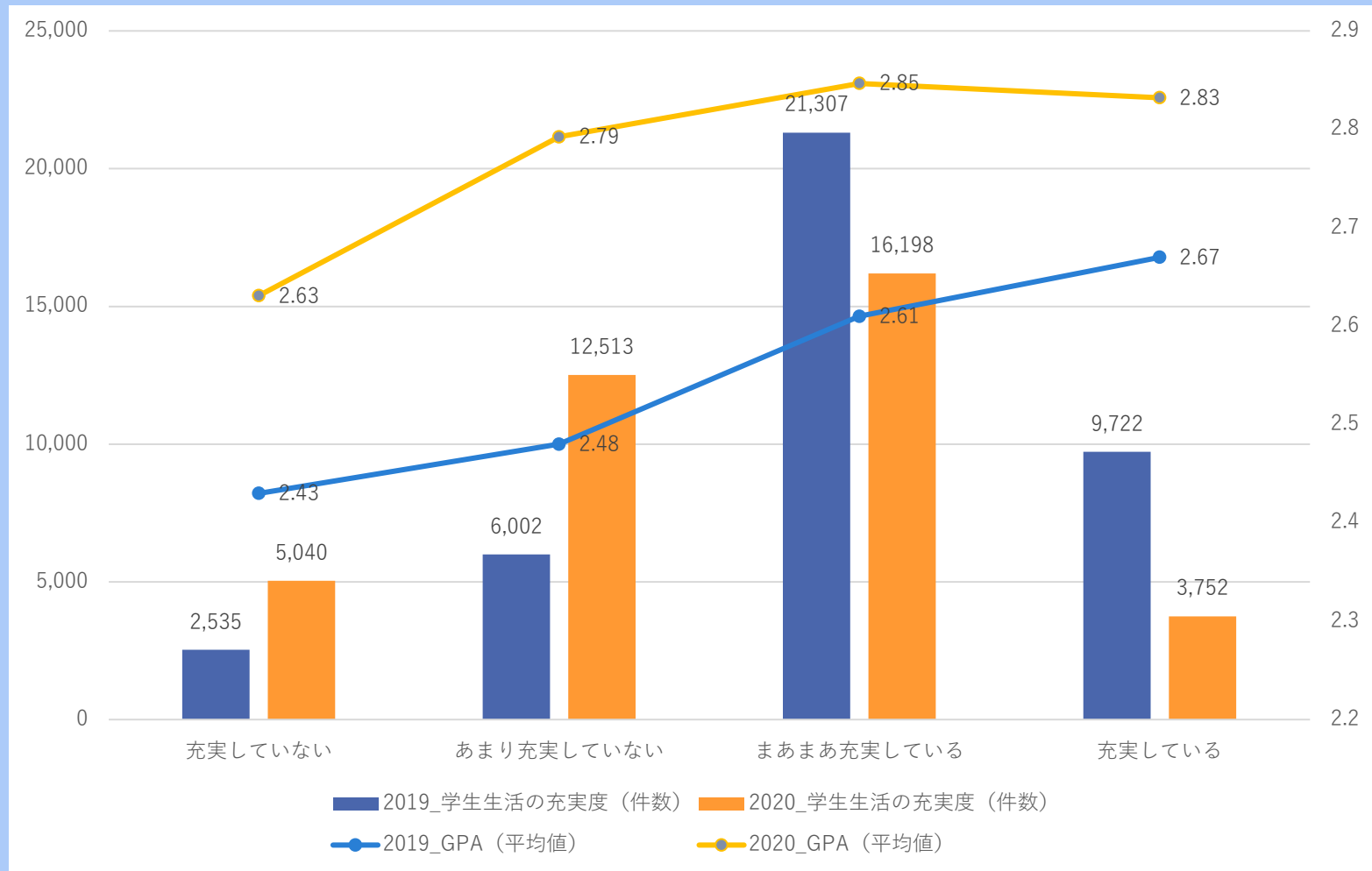
- ① GPA平均値と累積単位数（平均）の推移（一年生と上級生）
- ② 学生生活の充実度とGPA平均値（一年生）
- ③ 週当たり授業外学習時間とGPA平均値（一年生）
- ④ 学生生活の充実度と累積単位数の平均（一年生）
- ⑤ 週当たり授業時間と累積単位数の平均（一年生）
- ⑥ 週当たり授業外学習時間と累積単位数の平均（一年生）

① GPA平均値と累積単位数（平均）の推移 （一年生と上級生）



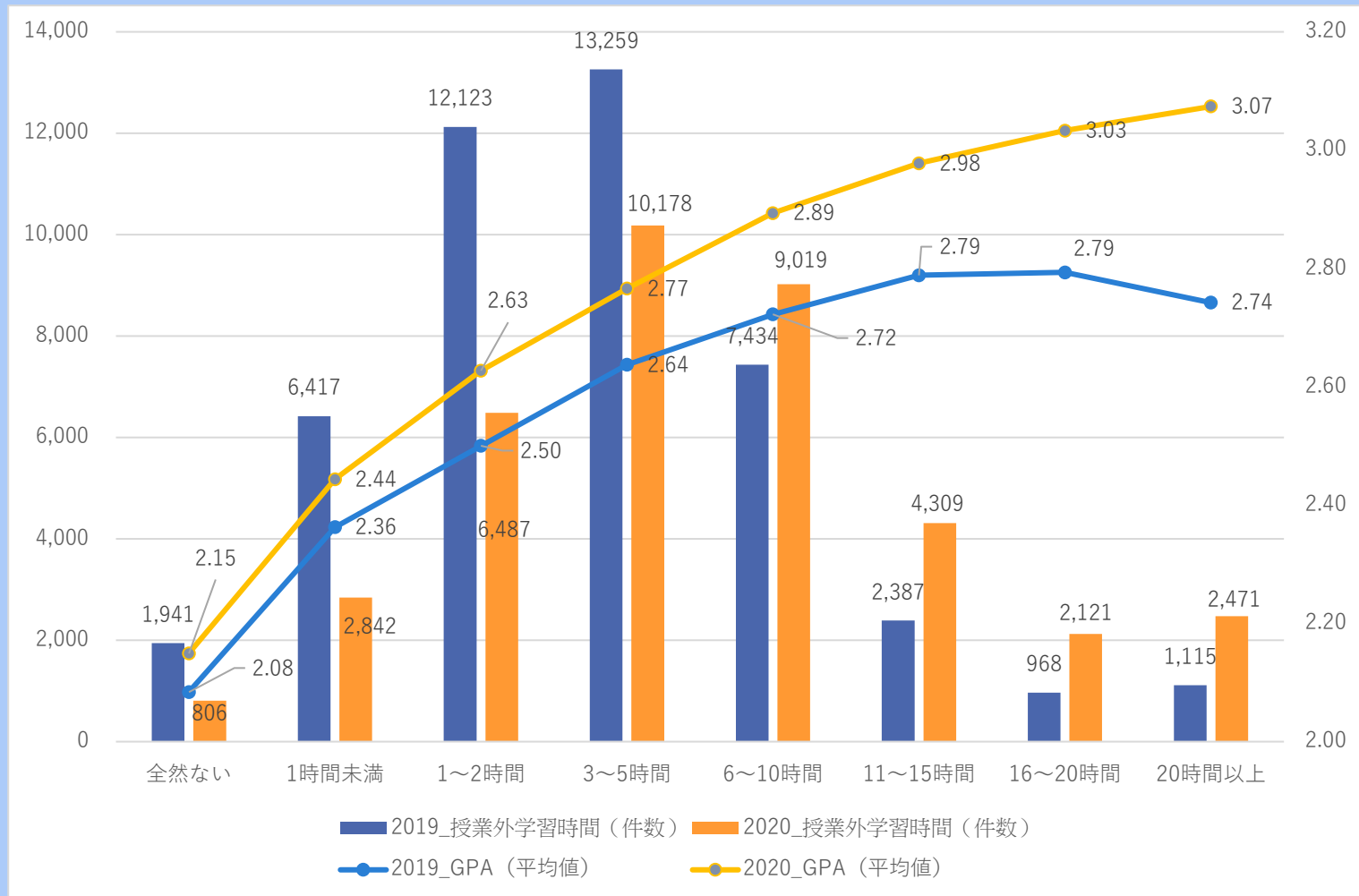
2020年度は累積単位数が減少し、GPA平均値は上昇した。

② 学生生活の充実度とGPA平均値（一年生）



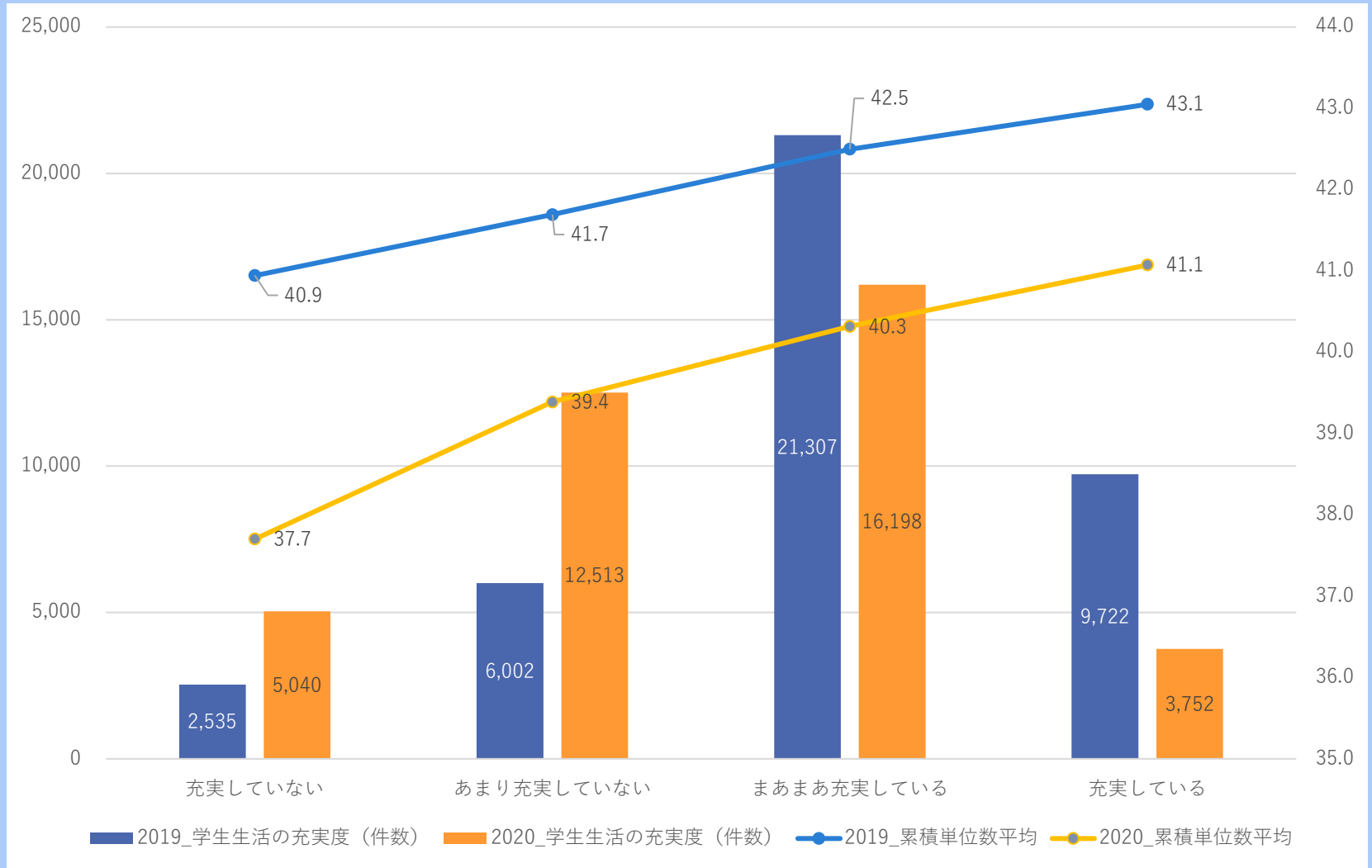
GPA平均値が高い学生は充実度も高い傾向がある。

③ 週あたり授業外学習時間とGPA平均値（一年生）



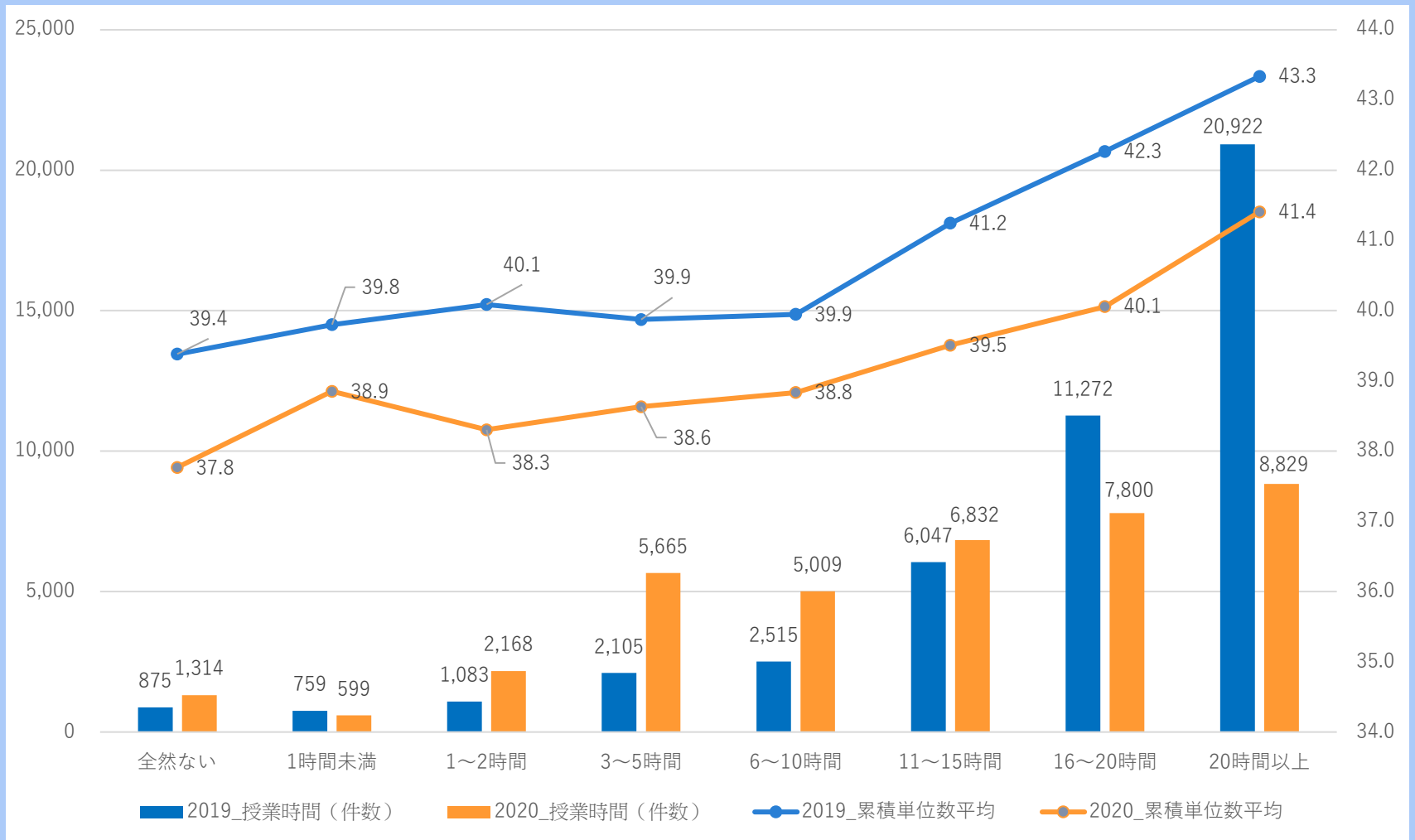
週あたり授業外学習時間が長い学生はGPA平均値が高い傾向がある。

④ 学生生活の充実度と累積単位数の平均（一年生）



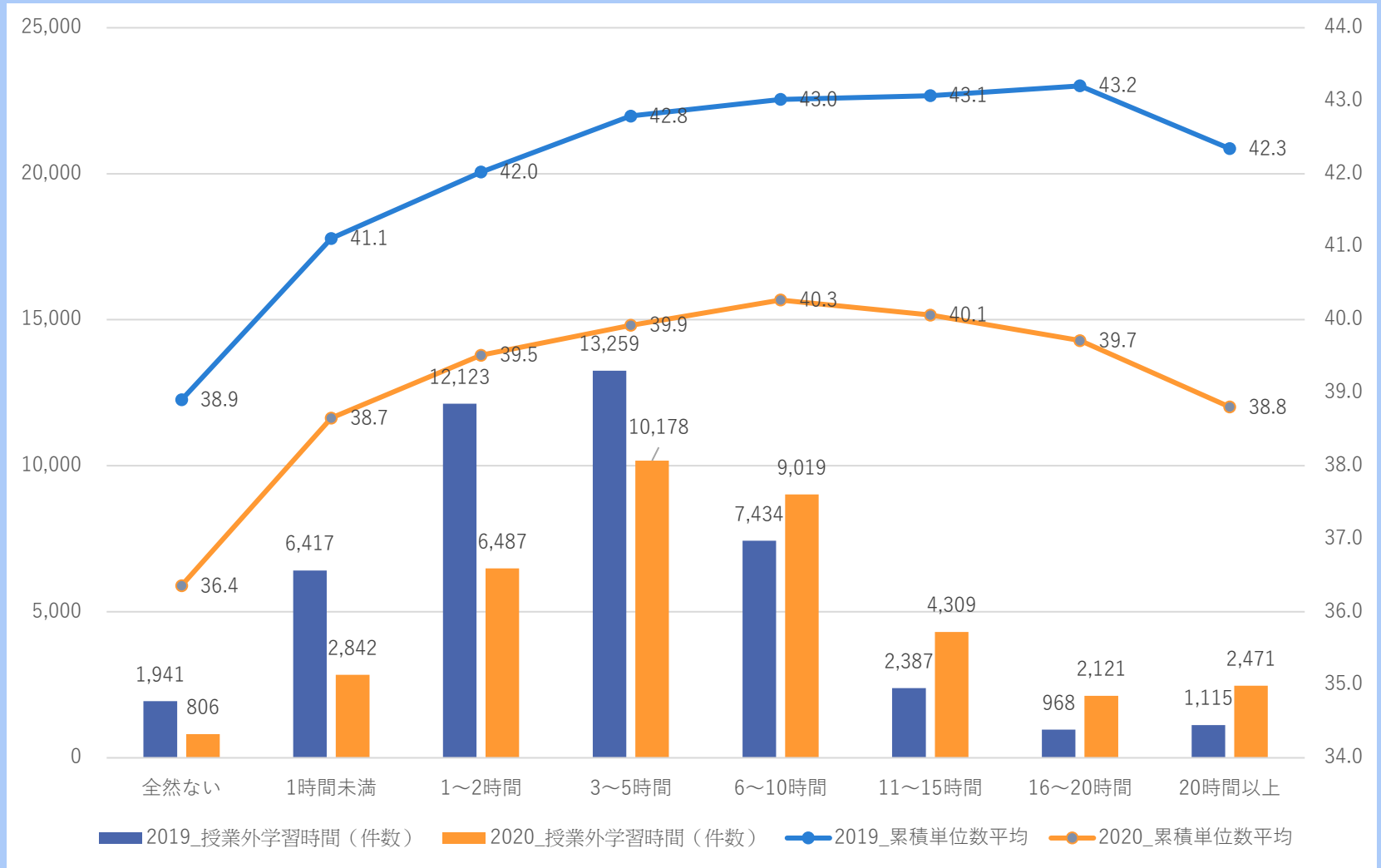
累積単位数が多い学生は充実度が高い傾向がある。

⑤ 週当たり授業時間と累積単位数の平均（一年生）



週あたり授業時間が長いと累積単位数は増加する傾向にある。

⑥ 週当り授業外学習時間と累積単位数の平均（一年生）



授業外学習時間と累積単位数は必ずしも関係しない。

クロス集計まとめ

- ✓2020年度は累積単位数が減少し、GPA平均値は上昇した。
- ✓GPA平均値が高い学生は充実度も高い傾向がある。
- ✓週あたり授業外学習時間が長い学生はGPA平均値が高い傾向がある。
- ✓累積単位数が多い学生は充実度が高い傾向がある。
- ✓週あたり授業時間が長いと累積単位数は増加する傾向にある。
- ✓授業外学習時間と累積単位数は必ずしも関係しない。

3. コロナ禍における教育成果の考察

全体のまとめ

- 1年生の大学生活では、大学のサービスを利用する、教員と知り合う、他の学生と交流する、が減少した。上級生では教員と知り合うのみ低下した。
- 1年生の満足度調査では、初年次教育、教員と話す、学習支援、他の学生と話す、学生同士の一体感、経験全般で低下した。上級生では他の学生と話すのみ低下した。
- 1年生の設備への満足度では、図書館、実験、IT設備、IT支援、インターネット、保険サービス、レクリエーション設備、キャリアカウンセリングで低下した。上級生には大きな変化はない。
- 1年生の能力に関しては、人間関係の構築、協力して作業する、コミュニケーション力、プレゼンテーション力が低下し、一方で文書能力とコンピュータを扱う能力は増大した。上級生もほぼ類似の傾向であった。
- 2020年度は累積単位数が減少し、GPA平均値は上昇した。
- 授業外学習時間が長い学生はGPA平均値が高い傾向がある。

総じて、大学に不慣れな1年生が大きな影響を受けたことと、他人との交流が減り、予復習などの準備学習の時間が増えたことが2020年度の学生調査結果の特徴である。

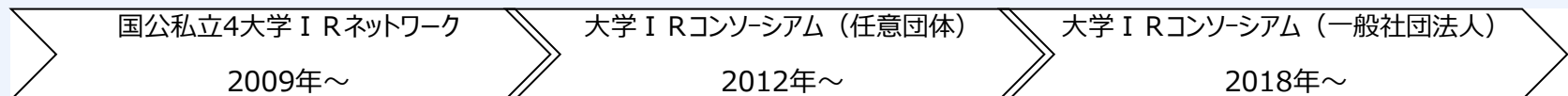
4. 大学IRコンソーシアムについて

一般社団法人 大学IRコンソーシアム

- 名称
一般社団法人 大学IRコンソーシアム
※一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（一般法人法）に基づく非営利型一般社団法人
- 設立日
2018年4月1日
- 目的
学生調査分析を軸とするIR機能の開発を基盤として、IRを通じた会員間での相互評価の結果を学士課程教育の質的向上に結びつける質保証システムの創出と全国規模のIRコミュニティの育成
- 役員

代表理事	中村 好雄	(玉川大学)
理事	高橋 哲也	(大阪府立大学)
理事	細川 敏幸	(北海道大学)
理事	福島 真司	(大正大学)
理事	相生 芳晴	(上智大学)
理事	小谷 正登	(関西学院大学)
監事	千葉 美保子	(甲南大学)
監事	相原 総一郎	(芝浦工業大学)

組織の変遷



大学IRコンソーシアムとは

- 2012年9月25日任意団体として発足
 - 平成21年度文部科学省 戦略G事業の発展的継承
 - 「相互評価に基づく学士課程教育質保証システムの創出
－国公私立4大学IRネットワーク」
 - ✓その連携校（同志社、北海道、大阪府立、甲南）が設置準備
 - ✓連携事業は、平成24年度文部科学省大学間連携共同教育推進事業「教学評価体制（IRネットワーク）による学士課程教育の質保証」として、8大学（上記に加え、玉川、お茶の水女子、関西学院、琉球）に継承された（平成28年度まで）
- 入会単位は「大学」だが、特定学部のみでの参加も可能
- 全国規模の大学IRコミュニティ育成を目指す
 - ✓大学に客観的なデータに基づいた現状評価文化を普及・定着
 - ✓独自開発したIRシステム、容易にデータを分析できるシステムを利用し、分析できるIR人材を育成
 - ✓高等教育機関における内部質保証システムの構築に寄与

大学IRコンソーシアムとは

おもな活動内容

- 学生調査の実施：毎年原則10月から12月
共通調査と学生データの2つをセットで学生調査としている
 - ✓ 共通調査：1年生と上級生の2種類のアンケート調査
 - ✓ 学生データ：GPAやTOEIC換算の英語能力テスト、入試制度等
- IRシステムを通じた、「集計」「簡易分析」「設置区分・規模・分野別比較」「大学間比較」
 - ✓ 3月に学生調査の基礎集計公開、7月に成績等を加えた結果公開
 - ✓ 大学間比較は学生調査のみ
 - ✓ 大学比較を希望する場合は、自大学の集計結果も公開される仕組み（お互いさまの精神）
- 卒業生調査の実施
- 会員相互の情報交換の場の提供
 - ✓ シンポジウムやセミナー、会員限定のワークショップ・情報交換会・講習会の実施
- 他団体とのIR関連の交流・情報交換・講師派遣